

大分県の国際交流・協力の現状

令和5年度版

大分県企画振興部
国際政策課

目 次

○県・市町村の国際化推進の取組	
1 大分県の国際化関連事業（令和5年度）	1
2 市町村の国際化関連事業（令和5年度）	11
○多文化共生社会づくりの状況	
3 在留外国人登録の状況	43
4 留学生の状況	44
5 大分県芸術文化スポーツ振興財団（おおいた国際交流プラザ）の事業	46
6 大分県外国人総合相談センター概要	49
7 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいたの令和5年度事業	50
8 おおいた留学生ビジネスセンター概要	51
○国際交流の状況	
9 姉妹都市・友好都市提携交流、友好交流提携の状況	52
10 教育機関の姉妹校・協定校提携の状況	55
11 語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）の状況	56
12 海外の大分県人会の状況	58
13 大分県海外親善大使、めじろんサポーターの状況	59
14 大分県の地域間交流の状況	
アジア	60
北米	75
中南米	76
欧州	78
大洋州	82
中東	84
アフリカ	84
15 多様な分野での国際交流の状況	
①芸術・文化交流	86
②スポーツ交流	
・日独スポーツ少年団交流事業	89
・高校生日韓スポーツ活動交流事業	89
・大分国際車いすマラソン大会	89
③教育・学術交流等	
・高校生の海外留学等	90
・教職員の海外派遣	91
④青少年交流	
・訪日教育旅行に伴う学校交流等	92
○国際協力・国際貢献の状況	
16 独立行政法人 国際協力機構（JICA）事業の状況	93
○産業・経済交流の状況	
17 貿易の状況	
①輸入	95
②輸出	95
③国際見本市への参加	97
18 産業技術交流の状況	
①海外技術・文化研修員受入事業等	98
②自治体職員協力交流事業	98
③海外派遣事業（農業関係）	99
19 観光の状況	
①外国人宿泊客数の動向	100
②旅券発行・海外渡航	101
〔付属資料〕	
1 国際交流関係機関等	
①国等の国際交流関係機関	104
②県内市町村の国際交流担当課	105
③県内国際交流団体	106
2 大分県海外戦略	116

県・市町村の 国際化推進の取組

1 大分県の国際化関連事業（令和5年度）

●総務部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
学事・私学振興課 (芸術文化短期大学)	中国・江漢大学との交流事業	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた江漢大学からの留学生受け入れを再開した。 期 間：令和5年3月～令和6年2月 留学生：4名
	サービスラーニング	フードバンクおおいた（大分県社会福祉協議会）が主催したイベントに参加し、大分県に居住する外国人留学生に対して食材を提供する活動をした。 実施日：4月29日 内 容：フードマルシェ 場 所：J：COMホルトホール大分 参加者：15名
	ボリビア・サンアンドレス大学との交流協定	サンアンドレス国立大学において開催された「技術移転を促進するための産学連携に関する国際セミナー」及び「日本文化祭（春祭り）」において、本学教員が講演をした。 ・実施日：8月22日 演 題：日本の産学連携の現状と仕組み ・実施日：8月29日 演 題：日本文化とサンアンドレス大学と行ってきた28年の活動内容
	韓国・釜山外国語大学との交流事業	①釜山外国語大学への編入 令和5年9月から1名が3年次編入 ②釜山外国語大学の留学説明会の開催 編入学留学担当者から学生・保護者向けの留学説明会（オンライン）を開催した。 実施日：10月23日 参加者：国際総合学科の学生・保護者32名
	国際交流イベントへの参加	大分県日中友好協会が主催したコンテストに学生が参加し、2名が「朗読の部」敢闘賞を、1名が「スピーチの部」優秀賞を受賞した。 実施日：10月29日 内 容：第8回大分県中国語スピーチコンテスト 参加者：学生3名
	国際交流イベントへの参加	江漢大学からの留学生が日本語スピーチコンテストに参加した。 実施日：11月5日 内 容：おおいたワールドフェスタ2023ー留学生による日本語スピーチコンテストー 参加者：国際総合学科留学生1名 場 所：お部屋ラボ祝祭の広場
	国際交流イベントへの参加	大分日米協会交流事業に運営補助として参加した。 実施日：11月5日～11月17日 内 容：アメリカ・オースチン市の研修生の歓迎会、交流会、送別会 参加者：学生10名
	国際的イベントでのボランティア活動	第42回記念大分国際車いすマラソンに、学生がボランティアとして参加した。また、本大会事務局から依頼を受け、教員1名が大会の関係資料の翻訳や式典の通訳を行った。 実施日：11月18日～11月19日 参加者：学生25名
	国際交流イベントへ	第4回大分・武漢大学生オンライン交流会に学生が参加した。

の参加	実施日：11月25日 参加者：学生2名 場 所：J：COMホルトホール大分（中国からオンライン）
国際交流イベントへの参加	大分日米協会講演会とクリスマス会へ参加し、司会、運営補助をした。 実施日：12月8日 参加者：学生10名
国際交流イベントの開催	アメリカ国立スミソニアン博物館学芸員 Deutsch 氏を招へいし、映画祭を実施した。 実施日：12月9日 内 容：ミニアメリカ映画祭 参加者：学生125名
海外語学実習	海外語学実習を全面的に再開し、参加希望のあった学校で実施した。 ・韓国 実施期間：令和5年8月 実 施 校：釜山外国語大学 参 加 者：25名（奨学生1名を含む） ・アメリカ 実施期間：令和6年2月～3月 実 施 校：アメリカ・カリフォルニア大学・デービス校 参 加 者：13名 ・フランス 実施期間：令和6年2月～3月 実 施 校：カヴィラム・アリアンスフランセーズ 参 加 者：4名
授業	おおいた国際交流プラザから国際交流員を招へいし、イギリスのマナーや食文化などについて講義してもらうことで、イギリス文化の理解を深めた。 実施日：7月10日 授 業：英語 I A 講 師：国際交流員 スワラ・ファイブ氏
授業	国際総合学科において、アメリカの大学生と交流し、異文化を体感した。 実施日：7月11日 授 業：卒業研究 交流先：アメリカ合衆国・コロラドクリスチャン大学7名
授業	駐アイルランド日本国特命全権大使 丸山則夫氏を招へいし、外交を通じて経験した国際社会から見る日本の長所、食文化の違いから見る賓客への心遣いについて講演いただき、異文化に対する理解を深めた。 実施日：9月21日 演 題：食と外交（ワインと和食と欧州・アフリカ） 参加者：国際総合学科2年生約100名
授業	大分国際車いすマラソン第14回交流イベントを開催し、海外選手と交流した。 実施日：11月16日 内 容：海外選手と Talk Show 参加者：学生114名
オープンカレッジ(公開講座)・公開授業	外国語等のオープンカレッジ(公開講座)・公開授業を実施し、地域の国際化に取り組んだ。 ・Kカルチャーを楽しむ① 実施日：5月20日 受講者：3人 ・Kカルチャーを楽しむ② 実施日：11月2日 受講者：7人

		<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロから話せるフランス語 実施期間：5月～7月 受講者：10人 ・西洋文化史特論 実施期間：前期 受講者：3人 ・世界遺産論 実施期間：後期 受講者：5人
学事・私学振興課 (看護科学大学)	韓国 蔚山(ウルサン)大学との学生交流事業	<p>蔚山大学の学生と教員を受け入れ、県内2カ所の施設見学及び学内での学生交流を実施した。</p> <p>実施期間：令和5年7月17日から7月21日 参加者：蔚山大学 学部生6名、教員2名</p> <p>蔚山大学へ学生と教員を派遣し、大学での講義受講や周辺地域の施設を見学した。</p> <p>実施期間：令和5年8月21日から8月25日 参加者：本学 学部生6名、教員2名</p>
	韓国 仁荷(インハ)大学との交流事業	<p>県内3カ所の施設訪問及び学内での学生交流を実施した。</p> <p>実施期間：令和6年2月12日から2月16日 参加者：仁荷大学 学部生6名、教員1名 本学 学部生13名</p>
	インドネシア ムハマディア大学との交流事業	<p>オンラインで学生交流を実施し、グループに分かれ互いの文化や看護について学んだ。</p> <p>実施日：令和5年9月21日 参加者：本学 学部生41名、ムハマディア大学 42名</p>
	学術交流	<p>第25回看護国際フォーラムを大分県看護協会との共催で開催した。</p> <p>実施日：令和5年10月28日(オンライン開催)</p> <p>内容：「看護の未来を拓く企業という視点 ―地域における看護実践から―」をテーマに、国内講師2名と米国講師1名が講演を行った。</p> <p>参加者数：227名</p>

●企画振興部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
国際政策課	海外戦略総合対策事業	<p>今後も成長が見込まれるアジアの活力を取り込み、本県産業の活性化を図るため、「大分県海外戦略」に基づき、重点国・地域において部局連携のもと体系的に各種事業を実施した。</p> <p>《海外フェア等》</p> <p>①香港フェア インバウンド誘客や本県物産の販売促進を目的として、レストランにおいて県産品を使用した料理の提供や、SNS等によるPRを行った。</p> <p>期間：11月16日～12月15日(30日間) 会場：別府麵館 青衣城店 内容：おおいと和牛すき焼き、とり天井、カボスブリ刺身等大分県メニューの提供</p> <p>《海外展開サポート事業》</p> <p>①アジアビジネス研究会 アジア各国への事業展開に意欲的な県内企業等の有益な情報交換の場を設け、県内企業等の連携を図った。</p> <p>会員数180社 ・第1回(7月) 「UAE(ドバイ)を中心とした中東市場」 ジェトロ農林水産食品部 次長 西浦 克氏</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・第2回（11月） 「インドへのビジネス展開とインド人材活用セミナー」 全日本空輸株式会社 インド総代表兼デリー支店長 片桐 常弥 氏 ・第3回（2月） 「新政権下でのタイの行方を見通すー新生タイを見る視点ー」 ジェトロ・バンコク所長 黒田 淳一郎氏 ジェトロ・バンコクディレクター 藤田 豊氏 ジェトロ・バンコクディレクター 宮口 莉央氏 ジェトロ・バンコク広域調査員 北見 創氏 ジェトロ・バンコクディレクター 松浦 英佑氏 ・第4回（2月） 「令和5年度外国人材受入れ支援セミナー」 特定行政書士伊藤精事務所 伊藤 精氏 大学コンソーシアムおおいた事務局長代理 太神 みどり氏
国際政策課	外国人留学生支援事業	<p>将来、母国と大分県との交流の懸け橋となる人材の育成を図る目的で、県内の大学等に在学する私費外国人留学生に対して、奨学金の交付を行うとともに、大分県への理解を深めるための講座やスタディツアーを実施した。</p> <p>①私費外国人留学生奨学金 支給額：月額30,000円 支給人数：80名</p> <p>②大分県講座 座学（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の基礎知識、おおいた防災アプリ（講師：国際政策課） ・大分県での就職・起業 （講師：おおいた留学生ビジネスセンター等） ・ツール・ド・九州、大分県の広報戦略について （講師：芸術文化スポーツ振興課（現：スポーツ振興室）、広報広聴課） <p>スタディツアー（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 大分市（ざびえる本舗、大在コンテナターミナル、インターンシップ説明会） ・第2回 豊後高田市（企業説明、街づくりセミナーほか） ・第3回 国東市（酒蔵巡り）
	外国人受入環境整備事業	<p>多文化共生社会を推進し、外国人住民が日常生活や社会生活を円滑に営み、安全に安心して暮らすことのできる受入れ環境を整備するため、各種事業を実施した。</p> <p>(1) 大分県外国人総合相談センターの運営 目的：外国人住民や外国人に関わる人からの仕事や生活等の疑問や悩みに対し、多言語相談を行うもの。（詳細は49頁）</p> <p>(2) 多文化共生研修等の実施（計2回）</p> <p>①日本語教室ネットワーク会議の開催 目的：日本語教室間の連携を構築し、教室の活動の底上げを図るため実施。 日時：令和5年8月26日、令和6年1月28日 対象：県内日本語教室代表者 等</p> <p>②日本語教室・日本語ボランティア研修（初級）（計3回） 目的：新たな人材を確保するため、日本語ボランティアに興味のある者等を対象に、初級者向け研修を実施。 実施期間：令和5年7月2日、9日、30日</p>

		<p>講 師：立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 教授 本田 明子 氏</p> <p>内 容：ボランティアの役割、日本語教授法等の研修 等</p> <p>受 講 者：延べ112名</p> <p>③日本語教室・日本語ボランティア研修（中級）（計3回） 目 的：既存の日本語ボランティア等を対象に、スキル向上を図るため、中級者向け研修を実施。</p> <p>実施期間：令和5年10月15日、22日、29日</p> <p>講 師：立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 教授 本田 明子 氏</p> <p>内 容：日本語文法、教科書・教材づくり 等</p> <p>受 講 者：延べ51名</p> <p>④災害時外国人支援セミナーの実施（計2回） 日 時：令和5年6月8日、12月9日</p> <p>対象者：行政職員、地域の防災士、外国人支援関係者 等</p> <p>内 容：県の災害対応及び災害時の外国人支援体制、やさしい日本語、災害時の外国人支援事例の紹介 等</p> <p>講 師：・佐賀県地域交流部 国際課 多文化社会コーディネーター 北御門 織絵 氏 ・熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏</p>
芸術文化振興課	芸術文化活用交流促進事業	<p>東アジア文化都市 2022 大分県のレガシーを継承し、中国温州市・済南市、韓国慶州市との芸術文化交流の継続的普及と推進を図った。</p> <p>○中国・韓国との芸術文化交流事業補助金 東アジア文化都市 2022 大分県の交流した中国・韓国の3都市との芸術文化交流にかかる費用（渡航、宿泊、通訳等）に対し、補助金交付を行った。 ・補助金活用団体数：7件（中国2件、韓国5件）</p> <p>○中韓芸術文化交流の実施 韓国慶州市より出演依頼があった「国際美術交流展及び仮面祭り」に若驥の会（書道）を派遣。 ・渡航期間：令和5年10月6日～10月9日 ・派遣人数：7名</p> <p>大分県立由布高等学校郷土芸能部を韓国慶州市の新羅文化祭に派遣。メインステージで神楽を披露した。 ・渡航期間：令和5年10月13日～令和5年10月15日 ・公演日：令和5年10月14日（土）14：00～14：30 ・派遣人数：20名</p> <p>中国温州市より訪問団を受入れ、県内芸術文化団体である若驥の会（書道）と交流を行った。 ・交流期間：令和5年10月28日11：00～12：00 ・交流場所：大分県立美術館 研修室 ・交流内容：揮毫及び座談会（質疑応答等）</p>
	大分アジア彫刻展	<p>近代日本彫塑の基礎を築き、東京美術学校や「朝倉塾」で更新の育成に努めた本県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門としての才能の発掘及び国際公募展を豊後大野市と共同で開催している。ビエンナーレ形式（2年に1回）で開催しており、令和5年度は作品公募、紹介展を実施した。</p>

		<p>公募期間：令和5年8月1日（火）から12月21日（木）</p> <p>応募件数：209点</p> <p>紹介展：県内7か所</p> <p>実施主体：大分県、豊後大野市、大分アジア彫刻展実行委員会</p>
	別府アルゲリッチ音楽祭	<p>一流の音楽芸術の鑑賞機会の提供、音楽を通じた人材育成等を目指し、マルタ・アルゲリッチを監督とする国際音楽祭を開催した。</p> <p>実施日：令和5年4月26日～7月17日</p> <p>実施主体：（公財）アルゲリッチ芸術振興財団 大分県 別府市 大分市</p> <p>公演数：13公演</p> <p>鑑賞者数：6,903名</p>

●商工観光労働部

担当課 （事業主体）	事業名等	事業内容 （目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等）
商工観光労働 企画課	米日カウンシル知事 会議	<p>県内の中小企業の米国展開や技術の活用等を後押しするため、県内企業とともに米国西海岸を訪れ、展示会への訪問や、現地企業の視察等を行った。</p> <p>期 間 令和6年1月8日～1月12日</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○CES2024 への訪問 ○シリコンバレー企業等の視察・商談 <p>日本の中小企業の米国展開や現地技術の活用等を後押しするため、シリコンバレーにおけるビジネストレンドや、最新テクノロジー動向に関するウェブセミナーを実施した。</p> <p>期 間 令和6年2月7日</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最新動向紹介と、事例から学ぶ海外ビジネス成功の鍵
工業振興課 （（公財）大分県産業創造機構）	中小企業地域資源活用等促進事業 （（公財）全国中小企業振興機関協会助成事業）	<p>県内の農林水産事業者・食品製造事業者等に国内外のバイヤーとの商談を提供するため、国際食品商談会「沖縄大交易会2023オンライン版」での商談を支援した。</p> <p>日 程：令和5年8月1日（火）～令和5年11月30日（木）</p> <p>場 所：オンライン商談</p> <p>参加企業数：7社</p> <p>日 程：令和5年11月16日（木）～令和5年11月27日（金）</p> <p>場 所：リアル商談（沖縄コンベンションセンター）</p> <p>参加企業数：6社</p> <p><参考></p> <p>出展企業：株式会社マルトモ物産 中和国際株式会社（オンライン商談のみ） 有限会社常德屋酒造場 Oita Made 株式会社 株式会社村上椎茸農園 旅館黒嶽荘 合資会社赤嶺酒造場</p>
工業振興課（大分県LSIクラスター形成推進会議）	おおいたLSIクラスター構想推進事業	<p>県内半導体関連企業の海外展開促進のため、海外とのビジネス交流等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾企業との商談会 <p>日 程：令和5年4月12日</p> <p>場 所：熊本市</p>

		<p>内 容：熊本、台湾と連携して開催。 台湾 15 社、大分 5 社、熊本 14 社、SHIQ 3 社、 大分県医療ロボット・機器産業協議会 1 社が参加。 大分県企業は 36 商談実施。</p> <p>日 程：令和 5 年 9 月 7 日 場 所：台北市</p> <p>内 容：熊本、台湾と連携して開催。 台湾 29 社、大分 11 社、熊本 19 社、SHIQ 2 社が参加。 大分県企業は 53 商談実施。</p> <p>・台湾三三会青年企業家委員会との交流 日 程：令和 5 年 5 月 18 日 場 所：大分市 内 容：台湾から約 60 名が来県し、企業訪問や交流会を開催。</p>
産業人材政策課	外国人労働者受入対策強化事業	<p>県と市町村が足並みをそろえて外国人材の適正・円滑な受入れに取り組むとともに、SNS を活用して外国人材に対し定期的に情報を発信する。また、外国人材の就業環境等の整備に取り組む企業等への支援を実施する。</p> <p>○外国人材の就業環境等整備促進補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地域：県内全域 ・補助対象：外国人労働者等を受入れている県内企業等、監理団体 ・補助率：1/2 以内 ・補助上限：通常枠上限 50 万円、賃上げ枠上限 100 万円、監理団体上限 20 万円 <p>○「外国人材の受入れ・共生のための対応策協議会」開催 開催日：8 月 4 日、2 月 14 日 主な内容：県、市町村及び関係機関の取組内容の共有、大分県外国人材の受入れ・共生のための対応策改訂。（3 月 24 日）</p> <p>○セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人材活用セミナー 実施日：2 月 27 日（大分市） 参加者：65 名 内 容：技能実習制度・特定技能制度の見直しについて 外国人留学生の県内企業への就職支援について 実施日：2 月 29 日（中津市） 参加者：12 名 内 容：技能実習制度・特定技能制度の見直しについて 外国人留学生の県内企業への就職支援について <p>○SNS を活用した外国人材へ向けた定期的な情報発信業務 日本での就労を検討しているベトナム及びインドネシア在住の外国人材に向けて、大分県での仕事や暮らしを紹介する動画や記事を発信する。</p> <p>○大分県外国人材アドバイザーの設置 外国人材の円滑で適正な受入れを促進するために、大分県外国人材アドバイザーを設置。 ベトナム：佐々木 泉 氏（介護人材養成施設、送出機関経営） インドネシア：吉渡 剛 氏（介護人材養成施設、日本語学校、送出</p>

		機関等顧問（アドバイザー）
観光誘致促進室	インバウンド推進事業	<p>東アジアをはじめ、ASEAN 諸国、欧州・大洋州等からの観光誘客を図るため、各国・地域ごとに戦略パートナーを設置し、それぞれのニーズに応じた情報発信や誘客対策を展開した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 韓国 <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けに商談会を開催（8月） ・YouTube を活用した情報発信を実施（11月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社5社を招請（12月） 2 台湾 <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博に出展（6月、11月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社7社を招請（9月） ・現地旅行会社向けに商談会を開催（11月） 3 中国 <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博に出展（5月） ・現地旅行会社向けにセミナーを開催（8月、10月、12月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社5社を招請（11月） ・中国語 SNS を活用した情報発信を実施（通年） 4 香港 <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けにオンラインセミナーを開催（6月） ・現地旅行博に出展（6月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社4社を招請（9月） 5 タイ <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けに他県と合同セミナーを開催（7月、1月） ・YouTube を活用した情報発信を実施（11月） ・現地旅行博に出展（11月、1月） 6 シンガポール <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けにセミナーを開催（7月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社4社を招請（9月） ・現地旅行博に出展（9月） 7 ベトナム <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けにセミナーを開催（8月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社12社を招請（12月） 8 欧州 <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けにセミナーを開催（6月、11月） ・現地旅行博に出展（10月、11月、1月） ・県内視察ツアーに現地旅行会社2社を招請（12月） 9 大洋州 <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社向けにセミナーを開催（11月、1～2月） ・現地旅行商談会に出展（8月、2月） ・県内視察ツアーに現地ジャーナリスト2者を招請（8月、11～12月）

●農林水産部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
おおいたブランド推進課 (ブランドおおいた輸出促進協議会)	農林水産物輸出需要開拓事業	<p>成長する海外需要を取り込み、農林水産事業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を核とした県産農林水産物の輸出拡大の取組を支援した。</p> <p>(1) 現地販売促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和5年4月～令和6年3月 ・相手国：香港、台湾、米国、カナダ、シンガポール、マレーシア、ベトナム ・実施回数：29回 <p>(2) 輸出入事業者等の招聘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和5年4月～令和6年3月 ・相手国：スリランカ、米国、香港、シンガポール、中国、ベトナム、タイ ・実施回数：17回

●教育庁

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
高校教育課	おおいたグローバルリーダーズ育成事業	<p>◎グローバルリーダー育成塾</p> <p>【目的】 世界に挑戦する気概を持つ人材の育成</p> <p>【時期】 4回（5月・9月・11月・12月）</p> <p>【場所】 大分県教育センター</p> <p>【内容】 ①大学教員・起業家による講演 ②「世界の課題解決に向けて私ができること」をテーマとした生徒間の協議・発表</p> <p>【人数】 延べ2159名（高校1・2年生）</p> <p>◎中学校・高校留学フェア</p> <p>【目的】 留学意欲の喚起と留学情報の提供</p> <p>【時期】 2回（6月・10月）</p> <p>【場所】 大分県教育センター</p> <p>【内容】 ①大学教員・起業家等による講演 ②留学経験者による体験発表 ③留学支援団体による相談会</p> <p>【人数】 延べ193名（中高生・保護者・教員）</p> <p>◎小中学生イングリッシュ・デイ・キャンプ</p> <p>【目的】 県内小中学生を対象に、英語コミュニケーション能力と、世界に挑戦し、多様な価値観をもった者と協働するグローバル人材としての素地を培うことを目的として、毎年実施している。</p> <p>【日時】 8月19日（土）中学生 8月26日（土）小学生</p> <p>【内容】：英語によるディスカッション、プレゼンテーション等</p> <p>【場所】：大分県教育センター</p> <p>【参加者】：小学生68名、中学生35名</p> <p>【指導者】：ALT20名</p> <p>◎スタンフォード大学遠隔講座</p> <p>【目的】 世界と英語で渡り合える人材の育成</p> <p>【時期】 全10回（10月～3月）</p>

		<p>【場所】 受講生の自宅</p> <p>【内容】 スタンフォード大学と連携した同時双方向型のオンライン遠隔プログラム（テーマ：日米関係・起業家精神・SDGs等）</p> <p>【人数】 30名（高校1・2年生）</p> <p>◎オンライン・グローバル・キャンパス</p> <p>【目的】 バーチャル留学を体験する機会の提供</p> <p>【時期】 全10回（10月～3月）</p> <p>【場所】 受講生の自宅</p> <p>【内容】 立命館アジア太平洋大学と連携した同時双方向型のオンライン遠隔プログラム及び1泊2日APUでのキャンプ（テーマ：SDGs等）</p> <p>【人数】 30名（高校1・2年生）</p> <p>◎グローバル・ラーニング・ハイスクール</p> <p>【目的】 グローバル教育の普及</p> <p>【時期】 通年</p> <p>【場所】 県立高校4校</p> <p>【内容】 ①世界で活躍する起業家・研究者等による講演 ②留学生との協議・発表</p> <p>【人数】 留学生延べ95名派遣</p> <p>◎国際交流プラットフォーム</p> <p>【目的】 オンライン・対面問わず世界とつながる機会の充実</p> <p>【時期】 通年</p> <p>【場所】 県立高校4校</p> <p>【内容】 ①留学生との交流 ②国連機関によるオンライン遠隔講座</p> <p>【人数】 留学生延べ103名を派遣</p>
高校教育課	語学指導外国青年招致事業	<p>【目的】 高等学校等における外国語教育の充実</p> <p>【時期】 平成5年4月～令和6年3月</p> <p>【場所】 高校教育課及び県立学校23校に配置</p> <p>【内容】 ①英語の授業における補助業務（ティームティーチング） ②国際理解教育の促進</p> <p>【人数】 26名</p>
人権教育・部落差別解消推進課	日本語指導ステップアップ事業	<p>帰国・外国人児童生徒等の日本語能力に応じた日本語指導の充実を図るため、大学等と連携して県立高校及び小・中学校に日本語指導支援員を派遣した。</p> <p>・実施時期：令和5年4月～令和6年3月</p> <p>・派遣人数：県立高校 7校 7名 ：県小・中学校（市町村の支援員派遣費用に間接補助） 63校 47名</p>
文化課	日韓文化活動交流事業	<p>「日本国大分県教育委員会と大韓民国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言」に基づき、本県の高校生と大韓民国忠清南道の高校生との文化交流を通じて、日韓友好の心情を培い、相互理解を深め、両国の文化の振興に寄与するとともに、本県高校生の文化活動の充実・発展に資する。</p> <p>隔年ごとに高校生を派遣、招聘する。</p> <p>令和5年度は韓国側の予算関係で中止。</p>

2 市町村の国際化関連事業（令和5年度）

市町村	事業名	事業内容
大分市	語学派遣研修 (一般財団法人自治体国際化協会及びオースチン市)	<p>語学の習得及び国際的な視野と感覚を身に付けることにより、国際化に対応できる人材の育成を図ることを目的に、一般財団法人自治体国際化協会及びオースチン市へ職員を派遣した。</p> <p>実施時期：令和5年4月～令和6年3月 場 所：一般財団法人自治体国際化協会（ニューヨーク事務所） 派遣人数：1名</p> <p>実施時期：令和5年4月～令和6年3月 場 所：オースチン市 派遣人数：1名</p> <p style="text-align: right;">(職員厚生課)</p>
	市勢要覧の作成	<p>英語を併記した市勢要覧を作成した。</p> <p style="text-align: right;">(広聴広報課)</p>
	市長へひとこと (ホワイトボックス) 記載用紙の外国語表記	<p>市内在住等の外国人の意見が届きやすい環境を作るため、「市長へひとこと」の記載用紙に英語を併記し、設置した。</p> <p style="text-align: right;">(広聴広報課)</p>
	OITA サイクルフェス!!!	<p>国際大会であるOITAサイクルフェスを実施することにより、海外や国内のトッププロチームのテクニクに触れる機会を創出している。</p> <p>主催：大分市、OITAサイクルフェス実行委員会、一般社団法人おおいたスポーツマネジメント</p> <p>期日：令和5年9月30日（土）、10月1日（日） 会場：大分いこいの道周辺及び大分スポーツ公園周辺</p> <p>概要：①おおいたいこいの道クリテリウム（30日） ②おおいたアーバンクラシック（1日）</p> <p style="text-align: right;">(スポーツ振興課)</p>
	英語で遊ぼう	<p>目的：外国人講師の指導により、日常会話やゲームで英語に親しみながら、友だちや先生とコミュニケーションを図ろうとする子どもを育てる。</p> <p>実施場所：コンパルホール400会議室</p> <p>実施時期：令和5年5月～令和6年2月</p> <p>実施回数：前期8回・後期8回（第1・第3土曜日）</p> <p>対象：小学校2年生～6年生</p> <p>参加者数：延べ327人（前期28人 後期29人）</p> <p style="text-align: right;">(中央公民館)</p>

<p>大分市</p> <p>英語で遊ぼう A（小1～小3児童対象） ・英語で遊ぼう B（4歳～就学前の子ども対象）</p>	<p>小学生（小1～小3）、幼児（4歳～就学前）を対象にクラスを分け、歌ったりゲームをしたりしながら英語に親しむとともに、講師や仲間とのコミュニケーションを楽しむ。日本人講師が指導に当たり、数回は外国講師が協力者を務める。</p> <p>○実施時期・回数：月1回実施（5月～2月）全10回（土曜日）実施</p> <p>○実施場所：大分南部公民館 和室</p> <p>○参加人数：小学生対象A 20名 就学前対象B 9名 延べ人数 195名</p>	<p>(南部公民館)</p>	
	<p>子ども英会話教室</p>	<p>目的:外国人講師と楽しく英語を学習することを通して外国人とのコミュニケーションを楽しむ。</p> <p>実施回数：10回（土曜日）</p> <p>受講生：延べ150名（小学校1～4年生対象）</p> <p>実施場所：鶴崎公民館 講義室3</p> <p>実施内容：外国人講師による発音、書くこと、話すことを学ぶ講座。</p>	<p>(鶴崎公民館)</p>
	<p>子ども国際交流クラブ ① ②</p>	<p>外国人講師の指導による歌やゲーム等で、楽しく英語を学ぶ。(①小学生1年～2年 ②小学生3年～6年)</p> <p>実施時期：令和5年5月～令和5年10月</p> <p>実施回数：全10回（土曜日）</p> <p>参加者数：募集定員①②各15名</p> <p>実施場所：大南公民館 研修室</p> <p>実施内容:ゲームや音楽で英語に親しんだりプリントをもとに文法を学んだりする。</p>	<p>(大南公民館)</p>
	<p>留学生と交流を進める会</p>	<p>大在で暮らす留学生を中心に会員との交流はもとより、地区住民と留学生および日本人学生との交流を図った。</p> <p>実施時期：①令和5年7月9日実施 ②令和5年11月12日実施 ③令和5年12月24日実施</p> <p>場 所：①公民館集会室(ミニバレー) ②公民館集会室(ミニバレー) ③公民館ロビー・調理実習室(餅つき)</p> <p>参加人数：①25名 ②26名 ③28名</p> <p>内 容：①②スポーツ交流会 ③交流餅つき大会</p>	<p>(大在公民館)</p>

大分市	英語で遊ぶリズムック	<p>小学1～3年生を対象に、英語での指示や合図で体を動かしたり歌を歌ったりして簡単なゲームを行い、自然な形で英語に慣れ親しんだ。</p> <p>【令和5年度実績】</p> <p>実施時期：令和5年5月27日～令和6年3月2日 ※全10回</p> <p>参加人数：延べ111名</p> <p style="text-align: right;">(大在公民館)</p>
	共生社会ホストタウン推進事業	<p>【スイスフェアの開催】</p> <p>実施時期：令和5年11月18日（土）</p> <p>場 所：ガレリア竹町ドーム広場</p> <p>内 容：「大分国際車いすマラソン」の開催に合わせ、スイスフェアを開催し、スイス文化等を市民へ紹介。イベント前日には市内市立中学校で直接民主制の授業を行うなど、新たな取組も実施。</p> <p>参加人数：約700人</p> <p style="text-align: right;">(障害福祉課)</p>
	大分市環境ポスター展	<p>環境に関する理解と意識の高揚を図るため、市内や姉妹・友好都市等の小中学生から環境に関するポスターを募集し、6月の環境月間中に環境ポスター展を開催するとともに、大分市ホームページに掲載した。</p> <p>令和5年度は、広州市より21作品、武漢市より14作品が寄せられ、ポスター展会場であるJ:COMホルトホール大分に展示するとともに、姉妹・友好都市等を紹介するパネルと鑑賞者に対するアンケートコーナーを設置した。 加えて、受賞作品については「大分市環境展」会場に展示した。</p> <p style="text-align: right;">(環境対策課)</p>
	外国人向けごみ収集カレンダーの作成	<p>ごみ収集日程や正しい分別と出し方などを周知するため、日本語、英語、中国語、韓国語を記載した「外国人向けごみ収集カレンダー」を作成し、関係学校を中心に配布。本庁、各支所へ設置しホームページに掲載した。(令和5年度作成・令和6年度使用分)</p> <p>作成部数：2,100部</p> <p style="text-align: right;">(清掃業務課)</p>
	海外販路拡大支援事業	<p>①ジェトロ大分・大分市共催「マーケットイン型商品販路開拓挑戦事業」に係るニーズ調査及び事業検討を実施</p> <p>シンガポール現地においてレストラン・小売店関係者等を招待した試飲・試食イベントを開催(商品サンプル提供事業者数及び商品数：18社48商品、来場者：17社23名)</p> <p>②ジェトロ大分・大分市共催「ジェトロ食品輸出商談会in大分」の開催(参加事業者数：26社)</p>

大分市	<p>③九州貿易振興協議会（幹事：大分県）・大分市共催（大分県貿易協会受託）「米国・アジア向け国内輸出業者との九州・山口県産食品・酒類輸出商談会」の開催（参加事業者数：81社）</p> <p>④大分県貿易協会主催（大分市事業連携）「世界に広がる華人経済圏への「The・おおいた」ブランディング事業（香港）」及び「東南アジア販路開拓・ブランド力向上支援事業（マレーシア+シンガポール）の開催（参加事業者数：40社）</p> <p>⑤おおいた海外ビジネス協議会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業間の情報・意見交換、異業種交流を行う「海外ビジネス交流事業」として“交流サロン”を年3回開催（参加者数：64名） ・国内・世界のライバルに勝ち抜いていくための“技”を習得する「海外ビジネス塾事業」を実施（参加事業者数：4社） <p>⑥「海外販路拡大サポート補助金」の実施</p> <p>大分市内に事業所を有する中小・小規模事業者が、商品を海外へ輸出拡大しようとする際の、日本国外及びオンライン上で行われる商談会・展示会等への参加や越境ECサイトへの出店等に要する経費の一部を補助（補助件数：10件）</p> <p style="text-align: right;">（創業経営支援課）</p>
豊の都市おおいた情報発信事業	<p>【1】 商談会等に参加し、旅行会社へ魅力発信を行った。</p> <p>（事業内容）ツアーを造成する旅行会社到大分市の魅力や観光情報を提供し、インバウンド向けの商品造成の促進を図った。</p> <p>（実施時期）</p> <p>①韓国（令和5年8月30日（水））</p> <p>②台湾（令和5年11月28日（火）、11月30日（木））</p> <p>【2】 湯めぐりガイドブックを修正増刷した。</p> <p>（英語）1,000部 令和6年3月納品</p> <p>【3】 総合パンフレット（英語・簡体字・繁体字・韓国語）の印刷</p> <p>（事業内容）令和4年度作成した各地域の嗜好に沿った多言語パンフレットについて各言語3,000部印刷し、設置した。</p> <p>（実施時期）</p> <p>令和5年5月納品</p>

大分市		<p>【4】市内事業者に対して外国人観光客受入環境調査を実施し、受入れ態勢が整っている事業者等を掲載したリーフレットの作成やInstagramの投稿などの情報発信を行った。</p> <p>調査（実施時期） 令和5年11月～令和6年2月</p> <p>リーフレット（英語）（繁体字） 各1,000部 令和6年3月納品</p> <p style="text-align: right;">（観光課）</p>
	外国人児童生徒の就学指導	<p>本市に居住し、小学校及び中学校並びに義務教育学校に入学を希望する外国人への就学指導を行った。</p> <p>入学前に新入学児童生徒の保護者を対象に「就学案内」を4か国語で作成し送付することにより、就学の意向等を把握した。</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	帰国子女及び外国人の体験入学	<p>海外からの一時帰国で本市に滞在している児童生徒及び短期滞在の外国人等40人の小学校及び中学校並びに義務教育学校における体験入学を実施した。</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	外国語指導助手招聘事業	<p>小中学校及び希望する市立幼稚園等における国際理解教育の推進に外国語指導助手（ALT）を活用するとともに児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を目指し、小学校第3、4学年外国語活動、小学校第5、6学年外国語科及び中学校英語科においてALTを活用した。</p> <p>実施時期：通年</p> <p>派遣人数：31名</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	武漢市学校交流事業	<p>本市と中国武漢市との友好交流の諸事業の1つとして、両国青少年に、海外の文化や社会、自然環境などに直接触れる体験と見聞を広げる機会を提供することにより、国際社会に向けての人材の育成及び日中の相互理解と交流の促進を図る。</p> <p>令和5年度は、野津原中学校に武漢市武漢外国語学校の修学旅行団が訪問し、「よさこいソーラン」を踊るなど交流を実施した。</p> <p>実施日：令和5年7月13日</p> <p>参加者：大分市立野津原中学校全校生徒47名 武漢市武漢外国語学校の修学旅行団39名</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	おおいたナイトスクール国際科	<p>○目的：日本語を学びたい外国の方に対して、学習の機会を提供する。</p> <p>○実施時期：令和5年6月7日から令和6年2月28日</p> <p>○事業内容：日本語教室の講師による日本語の基礎からの学習や、特別講師による大分の文化や生活についての学習を実施した。</p> <p>○事業実施主体：大分市教育委員会社会教育課</p>

大分市		○受講者：10人（最終受講者数） (社会教育課)
多言語電話通訳		119番通報時や災害現場活動時において、言語による外国人対応が困難な場合、電話通訳者（民間委託）を介し、指令センターと外国人の間で三者通話または二者通話による、365日24時間体制の多言語電話通訳を構築した。 (通信指令課)
大分市武漢事務所運営業務		武漢市における大分市の常設窓口として、事務所を設置し、友好都市間の文化、経済、農業など幅広い分野における交流のサポートを行い、大分市の国際化を推進した。 なお、令和6年度より常設事務所を廃止し、大分武漢友好交流サポート業務として運営。 (国際課)
多言語対応防災ガイド		外国人向けに、災害時に必要となる情報や防災情報、地域ごとの避難所マップ等を掲載した多言語防災ガイドブック（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語）を、市内の留学生の在籍する大学や専門学校、生活オリエンテーション等で配布した。また、市役所窓口に設置したり、ホームページへ掲載することで広く周知を図った。 (国際課)
「多言語コールセンター」を設置		災害時に対応可能な「多言語コールセンター」を設置（委託）し、外国籍を有する市民や観光客を対象に、フリーダイヤルによる24時間365日21言語（英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語）での避難誘導や災害情報の案内を行うことのできる体制を整えた。 (国際課)
「国際課公式SNS」運用事業		外国籍市民への生活情報や国際交流情報の提供を目的に、国際課公式SNSにて、情報発信を行った。 ・Facebook投稿実績：152件 ・Instagram投稿実績：152件 (国際課)
多文化共生出張講座		市職員および国際交流員（中国語・英語）が申込者からの指定会場に出向き、国際化・多文化共生に関する講座を行った。 開催実績回数：12回 (国際課)

大分市	国際化・国際交流イベント支援事業	<p>「大分市国際化推進計画」に基づき、国際交流・国際協力・多文化共生イベントに対する助成を行った。</p> <p>助成件数:5件</p> <p style="text-align: right;">(国際課)</p>
	おでかけENGLISH～留学生と英語で遊ぼう～	<p>留学生が市内幼稚園、保育園を訪問し、4～5歳の子どもに対し簡単な英語を使った遊びや絵本の読み聞かせを実施し、海外の文化、言葉に触れ合う機会を創出した。</p> <p>実施時期：令和5年6月～令和6年3月</p> <p>場 所：大分市内の幼稚園、保育園（所）、こども園等</p> <p>派遣回数：20回（園）</p> <p>派遣留学生：100名</p> <p>参加園児：591名</p> <p style="text-align: right;">(国際課)</p>
	ハーバード大学生との交流会“SWIM”	<p>大分市内の小学3年生～中学3年生を対象に、ハーバード大学卒の廣津留すみれさんを講師に招き、英作文、スピーチ力を磨くワークショップを開催した。</p> <p>実施時期：令和5年8月6日（日）</p> <p>場 所：J:COMホルトホール大分 302、303会議室</p> <p>参加人数：75名</p> <p style="text-align: right;">(国際課)</p>
	国際協力啓発月間事業 パネル展	<p>「大分市国際化推進計画」に基づき、国際協力・国際理解の啓発を目的にJICA九州と国際協力啓発月間を共同開催し、市民活動団体等と協力して啓発事業を行った。</p> <p>実施時期：令和5年10月</p> <p>場 所：J:COMホルトホール大分</p> <p>来場者数：1,667人</p> <p style="text-align: right;">(国際課)</p>
	国際協力啓発月間事業 おおいたワールドフェスタ	<p>おおいた国際協力国際月間事業の核となるイベントとして、多くの市民に気軽に国際化を感じてもらうため、国際関係団体や大学等の参加のもと開催した。</p> <p>実施時期：令和5年11月5日（日）</p> <p>場 所：お部屋ラボ 祝祭の広場</p> <p>来場者数：計 2,689人</p> <p style="text-align: right;">(国際課)</p>
	青少年国際理解推進事業（WORLD QUEST in OITA（ワールド・	<p>子どもたちが外国人と触れ合うことで異文化や多様性を理解し、世界に視野を広げる機会を創出するため、留学生と交流（謎解きや世界のクイズ、留学生との文化交流など）するイベントを開催した。</p>

大分市	クエスト・イン・お おいた)～世界の仲 間と謎を解こう！)	実施時期：令和5年9月9日（土） 場 所：アートプラザ 2階 アートホール 参加者数：大分市内の小学生（1～4年生）84名、県内留学生13名 (国際課)
	大分-武漢音楽交流 事業	市民に武漢市で行われる「武漢琴台音楽祭」への映像による参加機会を創 出し、音楽による武漢市との都市間交流を行った。 音楽祭実施期間：令和5年11月～12月 映像出演日：令和5年11月4日・5日 参加件数：1件 (国際課)
	国際化・多文化共生 講座	市民に国際化・多文化共生への理解を深める機会を創出するため、講師を 招き、講演を行った。 ① 「大分市出身の私が『中東で最も有名な日本人サラリーマン』 になるまで」 開 催 日：令和5年8月11日 参加人数：117名 ② 「災害が起きたとき、あなたはどのようにする？」 ～多文化共生と外国人支援～ 開 催 日：令和6年1月29日 参加人数：111名 (国際課)
	国際交流員招聘事業	国際交流員を配置し、通訳業務、翻訳などの多言語化の推進や外国語によ る情報発信、外国籍を有する市民への支援と共生への体制整備を行った。 配置人数：1名 (国際課)
	海外姉妹友好都市交 流	○ポルトガル共和国 アベイロ市（姉妹都市） ・令和5年度、姉妹都市提携45周年を迎えることから、周年記念事業とし て、おおいた国際協力啓発月間期間中に市民へアベイロ市を知ってもらうパ ネル展を開催した。 実施時期：令和5年10月19日～11月1日 実施場所：J:COMホルトホール大分 エントランス 実施内容：アベイロ市の街の様子や観光、文化、食等を紹介するパネル 展を実施。 ○アメリカ合衆国 オースチン市（姉妹都市） ■大分市中学生オースチン市派遣事業 将来の国際化社会を担うグローバル人材の育成を目指し、大分市内中学生を 姉妹都市オースチン市に派遣し、ホームステイや現地での交流等を通じた異 文化体験の機会を提供した。 実施時期：令和6年2月24日～3月5日 派遣人数：中学生6名 ○中国 武漢市（友好都市） ■第21次武漢市友好訪問団 武漢市から市長又は副市長を団長とする友好訪問団を受け入れ、記念式典

大分市		<p>の開催、次年度友好交流協議書や記念植樹などを行う予定であったが、未実施となった。</p> <p>(国際課)</p>
	アジア太平洋都市サミット	<p>アジア太平洋都市サミットは、アジア太平洋地域の諸都市の代表者が一堂に会し、各都市の課題やその解決に向けた取組みの共有、率直な意見交換等を行うことにより、都市問題の解決に向けた相互協力、さらには、相互の都市の一層の発展に向けたネットワークの構築を図ることを目的に、開催都市で開催される。</p> <p>令和5年度：サミット開催なし (参考) 令和6年度：鹿児島市で8月に開催</p> <p>(国際課)</p>
	庁内多言語化推進事業	<p>外国籍市民も暮らしやすいまちづくりを実現するため、市役所での各種手続き等において、外国籍市民が言葉の壁に伴う心理的負担なく、日本人と同様の行政サービスを受受できる体制づくりを行った。</p> <p>①多言語映像通訳サービス (13言語) ②市民宛通知文書や申請書等の多言語化</p> <p>(国際課)</p>
	東京2020オリンピック・パラリンピック事後交流	<p>フィジー共和国との中学生オンライン交流 東京2020オリンピック事前キャンプを行ったフィジー共和国との中学生同士のオンライン交流実施を予定していたが、先方の都合によりやむを得ず中止。</p> <p>(国際課)</p>
別府市	姉妹都市等交流事業	<p>■姉妹都市英国バース市 2019ラグビーワールドカップにて協力を頂いて以来、新型コロナウイルスの影響により公式訪問が延期となっていた公式訪問を実施。令和6年(2024年)の姉妹都市協定提携30周年の協議も含め、公式訪問団を派遣 派遣時期：令和5年8月</p> <p>■姉妹都市ニュージーランド・ロトルア市 2019ラグビーワールドカップにて協力を頂いて以来、新型コロナウイルスの影響により公式訪問が延期となり、令和4年(2022年)の姉妹都市提携35周年の公式訪問団を派遣予定していたが実現できなかった、公式訪問団を派遣 派遣時期：令和6年1月</p> <p>(文化国際課)</p>
	災害時の外国人支援事業	<p>■「防災まちあるき」の開催 令和5年5月13日(土)及び11月11日(土)の2回、市防災危機管理課、社団法人ビービズリンクBIP事業部、立命館アジア太平洋</p>

別府市		<p>大学との共同で、留学生や地域住民、災害時の登録ボランティア等を対象としたまちあるきとワークショップを市内境川地区及びA P Uプラザ大分で開催。</p> <p>(文化国際課)</p>
国際理解教室	<p>■国際理解教室の開催</p> <p>留学生を各小・中学校、高校に講師として派遣し、外国の文化や習慣に直接触れることにより異文化の理解を深め、グローバルに活躍する人材となるきっかけ作りのため開催。</p> <p>派遣留学生数：60名</p> <p>参加児童生徒数：227名</p> <p>(文化国際課)</p>	
在住外国人支援事業	<p>■初級日本語講座「日本語らくらくトーク」</p> <p>市内在住外国人を対象とした外国人同士のネットワーク構築や生活相談も兼ねた初級日本語教室「日本語らくらくトーク」を毎週月曜日に実施した。</p> <p>(文化国際課)</p>	
別府市外国人留学生地域活動助成金交付事業	<p>■別府市外国人留学生地域活動助成金交付事業</p> <p>留学生が市民との交流活動等を実施する際の助成金を交付し、地域社会の国際理解の増進によるグローバル化及び地域活性化を図ることを目的に実施した。</p> <p>(文化国際課)</p>	
国民健康保険事業	<p>①外国人が国民健康保険加入手続きに来庁した際、英語で作成した説明文を配布した。</p> <p>②国民健康保険税に関する文書（申告奨励・納付奨励）を英語で作成し、還付通知を3か国語（英・中・韓）で作成し配布した。</p> <p>③10言語対応のデジタル対応パンフレットを導入した。</p> <p>スマホやタブレットから閲覧可能で、音声読み上げ機能も搭載している。また、別府市ホームページからもアクセスが可能となるように誘引用のQRコードを掲載した。</p> <p>(保険年金課)</p>	
国民年金事業	<p>①窓口で手続（資格取得・免除申請等）を行う際の説明用フローシートを4か国語（英・中（簡体字・繁体字）・韓）で作成した。</p> <p>②国民年金の手続（資格取得・免除申請）が完了した方へ、その後の流れについての説明文を英語で作成した。</p> <p>(保険年金課)</p>	
「ごみと資源の分け方・出し方カレンダー一作成」	<p>ごみの収集日程、分別や排出ルールなどの周知を目的として、英語・中国語・韓国語の3か国版を作成し、随時配布。</p> <p>※別府市公式ホームページ、LINEからも閲覧可能。</p> <p>(生活環境課)</p>	

別府市	身近な人権講座	<p>部落差別をはじめとするさまざまな人権問題の解消に向け、広く市民を対象に、学習の機会を提供し、正しい理解と認識の促進を図ることを目的として実施した。年間8回のうち1回を「外国人と人権問題」をテーマとして講座をおこなった。</p> <p>実施時期：1月26日（金）14：00～16：00</p> <p>事業内容：演題 「社会の多様性を考える～一人ひとりが尊重される社会のために～」</p> <p>講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 教授 本田 明子 さん</p> <p>受講者数：43人</p> <p style="text-align: right;">（共生社会実現・部落差別解消推進課）</p>
	市民人権講座	<p>人権啓発センター主催事業として、地域住民及び市民を対象に、人権に関する学習の機会を提供し、受講者一人ひとりの人権問題に対する正しい認識と理解を促進することを目的として実施する。年間7回のうち1回、「外国人の人権問題」をテーマとして講座を実施。</p> <p>実施時期：2月28日（水）10：00～12：00</p> <p>事業内容：演題 「身近なコミュニケーションから考える異文化～『異』と共に成長することをめざして～」</p> <p>講師 立教大学院異文化コミュニケーション研究科 川野 優希 さん</p> <p>Sony/Taiyo Corporation 広報・CSR担当 マーサ・ターケット さん</p> <p>受講者数：52人</p> <p style="text-align: right;">（共生社会実現・部落差別解消推進課）</p>
	在外外国人及び一時帰国子女幼・小・中学校体験入学（園）の受入	<p>日本に一時的に滞在する外国人で、子女に異文化を体験させたいという希望を持つ保護者や、日本人の国外移住者で、母国言語・習慣等を忘れさせないため、長期休暇を利用し日本に帰省させて、当該子女を一定期間日本の学校に通わせたいという保護者の希望にこたえる目的で学籍の在否とは関係なく便宜的に体験入学（園）を認めた。</p> <p>実施時期：通年</p> <p>R5年度実績：21名</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	入学案内・就学援助制度案内の英語版配布	<p>別府市に住民登録している外国籍の新入学児童の保護者に対し「日本の小学校への入学案内」の英語版及び「就学援助のお知らせ」の英語版を作成し送付。外国籍の新入学児童が就学する機会を逸することを防ぐとともに、就学援助の要件を満たす保護者の就学に関する負担軽減を図った。</p> <p>発送時期：11月</p>

別府市		R 5 年度発送件数：17 件（R6 年度新入学児童） (学校教育課)
	外国人子女等に対する教育相談員派遣	日本語指導が必要な外国人児童生徒等の幼稚園・小中学校に、教育相談員を派遣したり、母語支援員・日本語指導員を配置したりすることで、園児児童生徒の生活面の適応支援、日本語学習や教科学習等の日本語指導を行った。また、学校（園）の受け入れ体制の構築や、学校と家庭の連携を図るため保護者の通訳等を行うことにより、外国人児童生徒等の教育の充実を図った。 実施時期：通年 R 5 年度実績：教育相談員派遣延人数 20 名 母語支援員・日本語指導員配置人数：各 1 名 (学校教育課)
	外国人青年招致事業	外国青年を外国語指導助手として招致し、6 名体制で小・中学校において英語指導を行い英語教育の充実を図るとともに、園児・児童・生徒が諸外国との相互理解を深めることを通じて国際交流を推進した。 実施期間：通年 派遣人数：6 名 (学校教育課)
	グローバル人材育成推進事業	園児・児童・生徒に対して留学生等との交流活動を実施し、多様な価値観をもった人への理解や協働する態度を育み、幼稚園・小・中学校で国際理解教育を推進した。 ○グローバルサポーター学校派遣 実施期間：各学校（園）年 1 回 内 容：小中学校・幼稚園に 6 名の留学生等が訪問し交流活動を行う。 ○小学生大学キャンパス体験学習 実施期間：各小学校年 1 回 内 容：小学校 6 年生が立命館アジア太平洋大学を訪問し、留学生等と対面での交流活動やオンラインでの交流活動を行う。 ○中学生大学キャンパス体験留学 実施期日：8 月 8 日（火）※台風接近のため中止 内 容：中学生の希望者が立命館アジア太平洋大学を訪問し、外国語指導助手や留学生等と英語等を用いて交流活動を行う。 (学校教育課)
	新湯治・ウェルネス事業	1 目的 新湯治・ウェルネス事業及び研究実践拠点施設の参考とするため、フランス、ヴィシー市を訪問し、温泉療養事業の調査を行うこと 2 実施時期 令和 5 年 9 月 30 日～10 月 4 日

別府市		<p>3 事業内容</p> <p>① フランス、ヴィシー市行政関係者との意見交換（市長等）</p> <p>② ヴィシー市にある温泉療養施設運営事業担当者からの聞き取り</p> <p>③ ヴィシー市にある温泉療養施設の見学</p> <p>4 事業実施主体 別府市</p> <p>5 派遣人数等 市長、職員2名</p> <p style="text-align: right;">（新湯治・ウェルネス推進室）</p>
中津市	多言語情報配信ツールを利用	<p>近年増加している市内の外国人居住者に向けて、市役所から発信する情報をダイレクトに伝えるために、市報などのデータを9言語に翻訳することができる情報配信ツールを利用して情報を発信した。</p> <p>【発信実績】月1回市報の納品日</p> <p style="text-align: right;">（秘書広報課）</p>
	中国語おもてなし講座	<p>市内の観光関係事業者また中国語学習に興味がある方を対象に、中津市を訪れる中華圏観光客との基礎的なコミュニケーションが図れるようになることを目的とした中国語おもてなし講座を実施した。</p> <p>【実施日時】11月21日、1月16日、2月20日、3月19日</p> <p>【参加人数】のべ36名</p> <p>【実施場所】中津市役所本庁、溪石園、福澤諭吉旧居・記念館、南部公民館</p> <p style="text-align: right;">（観光課）</p>
	地域通訳案内士スキルアップ講座	<p>中津市内で報酬を得て、通訳案内（外国人に付き添って英語で旅行案内）をする「地域通訳案内士」の能力向上を図る講座を実施した。</p> <p>【実施日時】12月10日、1月14日、1月21日、2月4日、2月11日、2月25日、3月23日</p> <p>【参加人数】のべ31名</p> <p>【実施場所】中津市役所本庁、城下町エリア、六月八日、弓場染物店、和傘工房 朱夏</p> <p style="text-align: right;">（観光課）</p>
	台湾における大分県単独商談会参加	<p>大分県への台湾観光客の誘客を目的として、台北市・台中市・高雄市の各会場にて行われた「台湾における大分県単独商談会」にブースを出展し、参加した現地の旅行会社に中津市のPRを行った。</p> <p>【実施時期】令和5年11月27日～12月1日</p> <p>【事業実施主体】公益社団法人ツーリズムおおいた</p> <p>【派遣人数】2名</p> <p>【イベント参加旅行会社】</p> <p>◎高雄会場（2023年11月28日）：29社50名</p> <p>◎台北会場（2023年11月30日）：105社170名</p>

中津市		<p>【商談会参加による効果】 台湾の旅行会社4社から中津耶馬溪観光協会あてに「ツアー誘客助成金」について相談を受け、うち2社(汎佳旅行社、東南旅行社)が実際に助成金を活用して中津市を訪れた。</p> <p style="text-align: right;">(観光課)</p>
	台中市自転車カーニバルへの参加	<p>平成29年に台中市とサイクルツーリズムと観光友好交流の促進に関する協定を締結しており、これまでイベントへの参加や情報発信など、相互交流を行ってきた。</p> <p>この度、台中市より世界自転車デーに合わせて台中市で開催される自転車カーニバルへ招待を受け、中津市から7名が参加した。</p> <p>【実施時期】 令和5年6月2日(金)～6日5日(月)</p> <p>【事業実施主体】 台中市政府</p> <p>【派遣人数】 7名(中津市3名、中津耶馬溪観光協会3名、民間1名)</p> <p>【イベント内容】 台中市自転車カーニバルへの参加、台中市および観光民間事業者との意見交換、自転車文化探索館の視察、その他歴史的建造物の視察など</p> <p>【商談会参加による効果】 コロナの期間、双方の交流が途絶えていたが、数年ぶりの対面による交流は、協定締結の意味や価値を再認識できるものとなった。両市の交流が、互いの観光誘客への起爆剤となるよう、今後も交流を進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(観光課)</p>
	なかつを学ぼう体験ツアー	<p>企業で働く技能実習生等を対象に、市内の歴史や観光に触れ、学ぶ機会を提供し日常生活の更なる充実を目的として「なかつを学ぼう体験ツアー」を開催した。</p> <p>【実施日時】 10月22日(日)</p> <p>【実施場所】 中津市内</p> <p>【内容】 バスツアーにて各所に下車し、観光ガイドの説明を聞きながら歩いて見学(八面山天空の道→なかはく→中津城の見学)</p> <p>【参加者数】 19人</p> <p style="text-align: right;">(企業立地・雇用対策課)</p>
	母子手帳交付	<p>外国語(英語、ベトナム語、中国語等、9か国)/日本語併記の母子手帳を準備しており対象者へ交付した。</p> <p>令和5年度実績: 英語版 11人、ベトナム語版 8人 インドネシア語版 1人、ポルトガル語版 1人</p> <p style="text-align: right;">(こども家庭センター)</p>
	予防接種	<p>日本語版と外国語版の予診票を貼り合わせた一体型予診票を作成し、予防接種対象者や医療機関へ配布した。</p>

中津市		令和5年度実績：インドネシア語4人、ネパール語1人、 ベトナム語21人、英語5人 (こども家庭センター)
ごみ・リサイクルミニ集会（中津市に居住する外国人研修生等向け）	中津市民を対象にごみの分別やリサイクルについての講習を行う「ごみ・リサイクルミニ集会」について、企業等に就労する外国人研修生（技能実習生）を対象に1回実施した。 (1) 実績 … 令和5年6月末時点で1回開催済 ① 4月24日（月） ごみ・リサイクルミニ集会 場 所：中津市 鬼怒川ゴム（株）大分車体部品 内 容：インドネシア人の技能実習生向けに資料を作成し、リサイクルや清掃活動の重要性、中津市における家庭ごみの分別や排出のルール等について説明した。 参加人数：10人 (清掃管理課)	
放課後子ども教室	放課後子ども教室の1教室として「チャレンジ英語教室」を開催し、ゲームなどを通じて、身近な英単語や基礎的コミュニケーションなど、楽しみながら学べるようにした。 「放課後豊田子ども教室」 【実施回数】 11回 【実施日時】 5月20日 6月17日 8月2日 8月3日 8月26日 9月16日 10月21日 11月11日 12月16日 1月20日 2月17日 【実施場所】 豊田公民館、豊田小学校 【参加人数】 小学校1～6年生 のべ132人 (社会教育課)	
日本語教室 「あい♡ことば」	市内に在住の外国にルーツがある子どもや家族に対し、日本語の学習と生活のサポートを行っている。また、習字や節分等の日本文化にふれる時間やお弁当作り、屋外活動を楽しむ時間も設けた。 【実施回数】 12回 【実施日時】 4月16日 5月14日 6月18日 7月16日 8月20日 9月10日 10月15日 11月19日 12月17日 1月14日 2月11日 3月23日 【実施場所】 豊田公民館、中津市教育福祉センター 【参加人数】 のべ357人 (社会教育課)	
外国語指導助手招致事業	JETプログラム(6名)、国際化推進員(1名)及び市委託(5名)の外国語指導助手12名(アメリカ4名、ニュージーランド1名、オーストラリア1	

中津市		<p>名、イギリス3名、カナダ2名、バングラディシュ1名)で年間の指導を行うことができた。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校で毎週1回以上、外国語指導や文化交流を行った。 ・英語絵本の読み聞かせ、ゲーム等、休み時間や学校行事でも感染症対策を行い可能な範囲で児童・生徒と交流を行った。 ・JETプログラムの外国語指導助手については中学生オンライン英会話教室、小学校教職員オンライン英会話教室等、積極的に実施し、市内の外国語教育をサポートすることができた。 <p>【実施時期】 授業日</p> <p>【実施場所】 小学校 21校、中学校 10校</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	APU イングリッシュデイキャンプ	<p>APU 学生サポーターとの英語活動や、英語ゲーム、APU 学生の英語教育ブースなどでの体験活動を通して、異なる文化や多様な価値観にふれ、英語力、思考力の向上および積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養い、充実した体験活動となった。</p> <p>【実施時期】 10月28日</p> <p>【参加人数】 15名</p> <p>【実施場所】 APU(立命館アジア太平洋大学)</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	中学生英会話教室	<p>英語でのあいさつや音読、発音等を含む表現活動及びトピックを決めてのフリートークを通して参加者のコミュニケーションスキルを向上することができた。</p> <p>【実施時期】 前期10~11月(全4回)</p> <p>【参加人数】 17名</p> <p>【実施場所】 新中津市学校</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	中津わくわく英語ひろば	<p>小学生(5・6年生)を対象に外国語指導助手が指導者となり、外国語指導助手と出会い、英語を使った遊びを体験することにより、世界の国々について興味・関心を持ちながら異文化理解やコミュニケーション意欲向上につなげることができた。</p> <p>【実施時期】 7月21日</p> <p>【参加人数】 8名</p> <p>【実施場所】 中津文化会館</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	小学校教職員オンライン英会話教室	<p>小学校教職員を対象に外国語指導助手がオンラインで英語力向上のサポートを行った。この活動を通して、参加者の英語コミュニケーション能力の</p>

中津市		<p>向上とともに、授業力向上につなげることができた。</p> <p>【実施時期】 令和5年9月~令和6年1月</p> <p>【参加人数】 5名</p> <p>【実施場所】 オンライン</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	<p>中学生向け講座 ALT と英語で「謎解き」~福澤諭吉先生が中津市学校で教えていた教科書を ALT と一緒に読み解こう!!~</p>	<p>中学生を対象として、福澤諭吉先生が明治時代に使用していた英語で書かれた教科書を、現在の中学生がALTのサポートを受けながら読み解いていく活動を通して、福澤諭吉先生の功績や志を知りシビックプライドを醸成する。また、本物の英語に触れ、読み解く達成感を味わい、英語学習の意欲向上に資することができた。</p> <p>【実施時期】 令和5年度冬休み中の1日(1時間半程度)</p> <p>【参加人数】 8名</p> <p>【実施場所】 新中津市学校</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	<p>2023 日韓親善水上スキー・ウェイクボード・ウェイクサーフィン選手権大会</p>	<p>日本、韓国の上水スポーツ振興と両国代表選手の交流、技術向上を目的に、日本と韓国で交互に毎年開催されている。大会では水上スキー、ウェイクボード、ウェイクサーフィンの3種目において、それぞれ専門とする選手が両国14人ずつ出場し、得点を競う。ひとつの大会で3種目が同時に行われる、国内では珍しい水上スポーツ大会。</p> <p>【主催】 耶馬溪ダムトーイングスポーツ全国大会現地実行委員会</p> <p>【実施日時】 8月4日~8月6日</p> <p>【実施場所】 耶馬溪アクアパーク</p> <p>【出場選手】 日本14人 韓国14人</p> <p>(水上スキー6人、ウェイクボード4人、ウェイクサーフィン4人)</p> <p style="text-align: right;">(耶馬溪支所・地域振興課)</p>
日田市	<p>マイナビ ツール・ド・九州2023</p>	<p>九州の経済団体トップと各県知事で構成される九州地域戦略会議において開催が検討されてきた、国際自転車競技連合(UCI)の認定を受けた国際サイクルロードレースが、10月6日(金)~10月9日(月)に福岡県、熊本県、大分県で行われ、国内外18チーム、108名が参加した。</p> <p>【大分ステージ】</p> <p>主 催：ツール・ド・九州2023実行委員会 (ツール・ド・九州2023大分ステージ推進委員会)</p> <p>開催時期：10月9日(月)</p> <p>コ ー ス：オートポリスをスタートし、上津江、中津江、天瀬、大山地区を通り、市街地を周回し、大原八幡宮前をゴールとする129kmのコース</p> <p style="text-align: right;">(スポーツ振興課)</p>

日田市	英語指導助手招致事業	<p>市内の小中学校における英語学習及び国際理解教育の充実のため、外国語指導助手を招致し市内小中学校に派遣した。</p> <p>実施期間：通年</p> <p>招致数（外国語指導助手）：6名</p> <p>【内訳】 5名（JETプログラム） 1名（市費雇用）</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	<p>海外からの短期在留（一時帰国を含む）児童生徒の体験入学</p>	<p>海外からの一時帰国で本市に滞在する児童生徒や、短期滞在する外国人等の小・中学校における体験入学を実施した。</p> <p>実施期間：通年</p> <p>実施校：4校</p> <p>参加者（外国人含む）：4名</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	小・中学校総合的な学習の時間推進事業	<p>総合的な学習の時間で、立命館アジア太平洋大学の学生招致や児童生徒のキャンパス訪問など、留学生との交流を通じた国際理解教育の推進を図った。</p> <p>実施期間：通年</p> <p>実施校：小学校 1校（大山小） 中学校 1校（津江中）</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	日本語教室事業	<p>【目的】</p> <p>市内在住外国人等に、日常生活を送るうえで必要な日本語の「読み」「書き」を学習する機会を提供するとともに、指導者の人材を育成する。併せて、市民との異文化交流・啓発の推進を図る。</p> <p>【実施時期】</p> <p>令和5年4月から令和6年3月（23回実施）</p> <p>【事業内容】</p> <p>1. 生活基盤のための日本語学習活動事業（月2回程度、2時間）</p> <p>(1) 市内で日常生活を行う上での必要な日本語（「読み」「書き」）の学習</p> <p>2. 日本語指導ボランティアの育成事業</p> <p>(1) 市内在住の外国人等に日本語を伝えるスキルを持ち、積極的に交流していける人材の育成</p> <p>3. 市内行事等での異文化交流、啓発の促進</p> <p>(1) 日本の伝統行事や季節行事の体験や小学生等との異文化交流・啓発の推進</p> <p>【事業実施主体】</p> <p>・日田市日本語教室 代表 渡邊 茂則</p>

日田市		<p>【スタッフ・生徒等】</p> <p>ボランティアスタッフ 154名（延べ人数）</p> <p>生徒（日田市在住外国人） 380名（延べ人数）</p> <p style="text-align: right;">（社会教育課）</p>
	外国人向けごみ収集 カレンダーの作成	<p>ごみ収集の日程を記載しているごみ収集カレンダーの英語版を作成した。 データで作成しているので必要な時にプリントアウトして利用している。</p> <p style="text-align: right;">（環境課）</p>
佐伯市	姉妹都市交流事業 （オーストラリア/ グラッドストーン市）	<p>①佐伯・グラッドストーン小中学校絵画交流展 両市の小中学生等の書いた絵画作品をそれぞれの市で展示し、異なる文化の相互理解を深めた。</p> <p>※佐伯市での展示 さいき城山桜ホール アートプラザ</p> <p>②図書交流事業 両市のそれぞれの子どもたちにお互いの文化に触れてもらうため、絵本を送りあった。</p> <p>※佐伯市から新たに絵本3冊を購入し、寄贈できていなかった12冊と併せて合計15冊を寄贈した。</p> <p>③ベトナムニンビン省への高校生派遣交流事業 佐伯市内の高校に通う高校生をベトナムニンビン省へ派遣し、現地視察や現地高校生との交流を行った。</p> <p>令和5年11月3日～7日 佐伯市内の高校生16人がベトナム・ニンビン省を訪問し、現地の高校生との交流、史跡見学、伝統文化体験を行った。</p> <p>④ベトナムフェスティバル 国境や世代、障がいの有無などを超えて、誰もが気軽に参加でき、「‘ちがい’を味わい、楽しむ」きっかけづくりとして開催した「さいきワールドフェスタ2023」と佐伯市内に在住する、ベトナムからの技能実習生などを中心とした在佐伯外国人出身者への理解を深め、ベトナムの食や伝統・文化などに接していただき、双方が暮らしやすい環境づくりを行うためのきっかけづくりとして開催した「さいきベトナムフェスティバル2023」の2つのイベントを同時開催した</p> <p>日時：令和5年10月28日 場所：さいき城山桜ホールとその周辺 ※推定入れ込み客数：3,500人</p>

佐伯市		<p>⑤台湾からのサイクリスト招へい事業</p> <p>佐伯市のサイクルイベント（ツール・ド・佐伯）に合わせてサイクリストの招へい及びツアーの招致を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツール・ド・佐伯 令和5年10月8日～9日（5人） 台湾からのサイクリスト5人を招待選手として招聘した。 ・台湾自転車産業レジャー協会ツアー 令和5年10月14日～15日（19人） 令和5年11月11日～12日（21人） <p>⑥ホノルル シスターサミットへの参加</p> <p>令和5年7月26日～7月30日</p> <p>ハワイ州内の各都市と姉妹都市協定を締結されている日本の市町村長が招待されたサミットに参加した。</p> <p style="text-align: right;">（観光課）</p>
	外国語指導助手派遣事業	<p>幼小中学校等に対して外国語指導助手を派遣することにより、英語教育及び国際理解教育の充実と教育国際交流の進展を図る。</p> <p>実施時期：通年</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
臼杵市	外国人技能実習生定着支援事業	<p>市内の各企業で働く技能実習生等の方に本市が誇る味噌・醤油や地酒などの醸造業、国宝臼杵石仏や二王座歴史の道に代表される歴史と文化を体験してもらい、本市への理解を深めてもらい技能実習生期間の安定的な定着のために、体験ツアーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5月3日（金・祝） 27名（2事業所） セミナー～書道体験～昼食～鉄砲隊演舞見学～ソフトクリーム試食～酒蔵見学 ○5月4日（土） 32名（3事業所） セミナー～書道体験～昼食～酒蔵見学～ソフトクリーム試食～茶道体験 <p>担当課：産業観光課</p> <p>事業実施主体：株式会社まちづくり臼杵（委託事業）</p> <p style="text-align: right;">（産業観光課）</p>
	食文化創造都市推進事業	<p>食文化創造都市臼杵の確立に向けた各種プロジェクト（国外交流イベント参加、国際交流イベント開催等）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○6月30日（金）～7月2日（日） <p>ユネスコ食文化創造都市の一つであるマカオ行政区（中国）にて行われ</p>

白杵市		<p>た「マカオ国際観光（産業）エキスポ」食文化創造都市ショーケースに参加。マカオ特別行政区旅遊局の主催で年に一度開催される大規模国際旅行博の一面にて、招待を受けた全23の世界のユネスコ食文化創造都市の料理人が伝統料理を披露し、来場者に振る舞う企画が催された。同時企画として、市内料理人の亀井諭氏による現地高級ホテルの料理人等に対する講義及び意見交換も実施。</p> <p>【派遣人数】 2人（内1人市内料理人）</p> <p>○12月6日（水）、7日（木）</p> <p>ユネスコ食文化創造都市の一つであるペッチャブリー（タイ）にて行われた「食文化創造都市フォーラム」に参加。ペッチャブリーより招待を受け、同フォーラム内のセミナーにて事例発表を実施。</p> <p>【派遣人数】 3人</p> <p>○3月18日（月）、19日（火）</p> <p>ペッチャブリー（タイ）にて行われたフォーラムへの参加をきっかけに「ペッチャブリー県」知事などの関係者視察団の表敬訪問を受け入れ、意見交換を行うとともに、本市の郷土料理の調理・実食や完熟堆肥製造現場見学、酒蔵見学、白杵煎餅手塗体験を実施。</p> <p style="text-align: right;">（産業観光課）</p>
ワールドフェスタ		<p>白杵市のALTを中心とした外国人が、母国の文化を子どもたちに紹介する機会を作るとともに、子どもたちが外国人やその文化に触れることで国際的な感覚を身に付ける機会を提供するために実施。</p> <p>○10月15日 16:00～18:00</p> <p>小学生 44名 外国人ボランティア 5名</p> <p style="text-align: right;">（社会教育課）</p>
国際交流（APU留学生との交流）		<p>地元の食材を使って海外留学生と一緒に料理を作ることで、子どもたちが異文化に触れる機会を提供し、地元の食文化の魅力や価値を再発見し、また海外に向けて発信する機会を設けるために実施。</p> <p>○7月15日（土） 13:00～15:00</p> <p>小学生 12名 APU留学生4名</p> <p style="text-align: right;">（社会教育課）</p>
国際交流（APU学園祭）		<p>留学生が主催する様々なイベントに参加し、異なる国の文化や言語に触れる機会を設ける。異文化理解や他国に興味を深め、また自国の文化を見つめ直すきっかけ作りを行うために実施した。</p> <p>○10月28日（土）</p> <p>小学生 8名</p> <p style="text-align: right;">（社会教育課）</p>

津久見市	外国語指導助手招致事業	<p>市内の小中学校における英語学習及び国際理解教育の充実のため、外国語指導助手を招致し市内小中学校に派遣した。</p> <p>実施期間 通年</p> <p>招致数（外国語指導助手） 2名【JETプログラム】</p> <p>市内中学校英語弁論大会のアドバイス等行った。</p> <p>実施日 9月7日</p> <p>隣接市の中学校弁論大会審査員として派遣依頼を受け派遣した、</p> <p>実施日 9月5日</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	台湾における大分県単独商談会参加	<p>大分県への台湾観光客の誘客を目的として、台北市・高雄市の各会場にて行われた「台湾における大分県単独商談会」に株式会社マリーンパレス津久見事業場 つくみイルカ島と共にブースを出展し、参加した現地の旅行会社に津久見市のPRを行った。</p> <p>【実施日時】 令和5年11月27日～12月1日</p> <p>【事業実施主体】 公益社団法人ツーリズムおおいた</p> <p>【派遣人数】 市2名・市内事業所1名</p> <p>【イベント参加旅行会社】</p> <p>◎高雄会場（2023年11月28日）： 48 社</p> <p>◎台北会場（2023年11月30日）： 109 社</p> <p style="text-align: right;">(商工観光・定住推進課)</p>
竹田市	国際交流事業	<p>ドイツから国際交流員（1名）を招き、商工観光課に従事してもらう。</p> <p>また、市役所などから15名ほどがドイツのバートクロツィンゲン市を訪問し観光やホストファミリーとの対面をした。</p> <p style="text-align: right;">(商工観光課)</p>
豊後高田市	外国語指導助手招致事業	<p>JETプログラムによる外国語指導助手2名を招致し、小・中学校での英語教育授業の助手、幼稚園での英会話授業のための活動を実施。</p> <p>実施時期：通年</p> <p>派遣場所：中学校6校、小学校11校、幼稚園2園（市内全校）</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	学びの21世紀塾「いきいき寺子屋活動事	<p>外国語に堪能な市民講師等を起用し、英語を使った遊びや身近な会話に慣れ親しむ講座を開設して、子供たちの国際感覚と英語でのコミュニケーション</p>

豊後高田市	業・英会話教室」	ン能力の向上を図った。 実施時期：令和5年4月～令和6年3月 会 場：市内5会場 参 加 者：年長児 62名・小学生 214名（いずれも希望者のみ） (学校教育課)
	幼稚園英会話活用事業	市内の公立幼稚園2園の園児を対象に、ALTが幼稚園を訪問し英会話を週2日実施。また、昼食時にZOOMを使用し、園児とのコミュニケーションを週3回行った。 実施時期：通年 会 場：公立幼稚園2園（夢いろ幼稚園、キラリいろ幼稚園） 参 加 者：幼稚園児（全園児） (学校教育課)
	外国人材の活用による明日につながる共生社会創造事業	【事業の概要】 外国人材との共生、活用の推進と国際交流事業の展開を推進するため、外国人技能実習制度における監理団体の事業展開と運営基盤の整備を図り、多国籍な在留者の受入環境を整備する等適正な制度運用を促進するほか、地域で安心・安全に暮らしていけるよう在留者と受入側の地域住民相互が交流し理解を深めることが出来る場を創出した。 (商工観光課)
	外国人受入環境整備事業	□受入環境整備事業 外国人技能実習生や特定技能実習生をはじめとした外国人が楽しく、安全に、安心して暮らすことができるよう、11ヵ国語対応の多言語相談窓口の運営を行ったほか、コミュニケーション向上のための語学教室を開催した。 【実績】 ○日本人向け ベトナム語教室18回、中国語教室11回、ミャンマー語教室13回 開催 ○外国人向け 日本語教室 計30回 開催 □国際交流促進事業 市の一大イベントである「豊後高田五月祭」での外国料理等の販売ブースの設置 豊後高田市観光盆踊り大会への出場 県民体育（綱引き競技）に外国人チームでの出場 クリスマスパーティー開催 (商工観光課)
	外国人技能実習制度導入国際貢献事業	インドネシアの外国人技能実習生や特定技能外国人が増加しているなか、市の会計年度任用職員としてインドネシア人通訳者を新たに雇用することで、

豊後高田市		<p>技能実習生や特定技能外国人の支援体制の充実を図った。</p> <p>また、外国人技能実習生や特定技能実習生をはじめとした外国人が楽しく、安全に、安心して暮らすことができるよう、11ヵ国語対応の多言語相談窓口の運営を行った。</p> <p>事業主体 豊後高田International Contribution事業協同組合 (商工観光課)</p>
杵築市	ゴミの出し方	<p>英語版「ごみの出し方」を作成し、市公式ウェブサイトに掲載したほか、窓口で配布した。</p> <p>実施期間：通年 (市民生活課)</p>
	母子手帳交付	<p>外国語版（英・タガログ・タイ・ポルトガル・ハングル・ベトナム・中国）を準備している。</p> <p>実施期間：通年 (福祉事務所)</p>
	外国語指導助手設置事業	<p>児童・生徒の英語の発音や国際理解教育の向上を目的に、市内幼小中学校へALTを派遣し外国語活動及び外国語（英語科）の授業を補助した。</p> <p>令和5年度はJETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）を利用し2名のALT、市雇用で1名のALTコーディネーターを配置した。</p> <p>実施期間：通年 配置人数：ALT 2名 ALTコーディネーター 1名 (学校教育課)</p>
	外国人受入支援セミナー	<p>市内事業所における外国人材の活用を支援すべく、商工会会員の内、外国人材の雇用に興味のある事業所を対象に受入支援セミナーを開催した。</p> <p>2月28日（水）開催 場 所：杵築市商工会館 実施内容：技能実習制度及び特定技能制度の見直しについて (特定行政書士による講座) 外国人材受入れ・活用事例の発表 意見交換 参加事業所：10事業所、1監理団体 (商工観光課)</p>
宇佐市	宇佐市中学生短期留学事業	<p>【目的】次代を担う中学生を海外に派遣し、外国での留学事業生活体験を通して見聞を広め、国際化社会を担う豊かな国際感覚を身に付けた人材を育成するために実施する。</p> <p>(主催) 宇佐市教育委員会 (留学先) ハワイ州・オアフ島ミリラニ周辺</p>

宇佐市		<p>(留学内容)</p> <p>(1) ホームステイによる現地での生活体験</p> <p>(2) 現地中学校への体験入学</p> <p>(3) 太平洋航空博物館や戦争体験談による平和学習</p> <p>(4) ミリラニ周辺の視察研修</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策によりオンライン交流を実施</p> <p>○オンライン交流</p> <p>内容) ミリラニ中学校 (ハワイ州) とのオンライン交流</p> <p>日時) 令和5年8月17日 (木) 8:30~12:00</p> <p>人数) 19名 (市内中学校 5校参加)</p> <p>①自己紹介</p> <p>②文化交流 (互いの学校紹介や食について紹介)</p> <p>③テーマごとの意見交換</p> <p style="text-align: right;">(学校教育課)</p>
	パールハーバー航空博物館国際交流事業	<p>【目的】ホノルル市とのフレンドシップシティ (友好都市) 協定の締結を契機とした相互交流を発展させるため、12月上旬に同市で開催される高校生の交流イベントに本市の高校生を派遣し、交流促進を図るとともに、パールハーバー航空博物館との情報共有や資料の貸借など密接な交流を継続して行い、建設予定の宇佐市平和ミュージアム (仮称) 資料館の将来計画につなげていく。</p> <p>派遣人数: 高校生2名、コーディネーター1名</p> <p>(市内の高校生を対象に参加者の募集を行い、選考会にて参加者を決定する。)</p> <p>※<u>平和ミュージアム建設進捗状況、市内高校の方針を踏まえ、次年度以降に見送りすることとなった</u></p> <p style="text-align: right;">(社会教育課)</p>
	姉妹・友好都市交流事業	<p>【目的】両市のイベント等において交流団を招請し文化を紹介するとともに、姉妹・友好親善都市間の友誼を深めPRする。</p> <p>(ホノルル市)</p> <p>○「日本ハワイ姉妹都市姉妹州サミット」への参加</p> <p>期間: 令和5年7月27日・28日</p> <p>内容: 「繋がる絆」をテーマとして、ハワイ州と日本の6つの道県と</p>

<p>宇佐市</p>		<p>25の姉妹都市・友好都市から首長が集まり、友好都市関係の強化等を図るサミットへの参加。</p> <p>本会議・バイラテラル会議・グループ会議、マーケットプレイスブース開設</p> <p>場所：ホノルル</p> <p>(慶州市)</p> <p>○『安心院フェア「葡萄酒まつり2023」』への出展</p> <p>期日：令和5年9月10日(日)</p> <p>内容：慶州市交流団を招請し、イベントでの実演販売、観光PR</p> <p>場所：家族旅行村「安心院」桜の広場</p> <p>○姉妹都市協定締結式及び新羅文化祭</p> <p>期日：令和5年10月13・14・15日</p> <p>内容：姉妹都市協定締結・訪問団による訪問・宇佐市のPR・交流</p> <p>場所：慶州市</p> <p style="text-align: right;">(秘書広報課)</p>
	<p>両合棚田再生プロジェクト事業</p>	<p>【目的・要旨】</p> <p>長期展望での両合棚田再生事業計画である「両合棚田地域創生プロジェクト」に基づき、両合棚田の再生及び交流人口の増加を図る。</p> <p>関係人口増加を図るにあたり、立命館アジア太平洋大学(学生16名)と共同で授業を実施し、現地調査やフィールドワークを実施。観光、特産品、地域の仕事などの研究テーマごとに、現地で住民へのインタビューや調査を行い、課題に対する解決策を立案。最終的には各グループが地域住民に対して研究内容や解決案を発表し、意見交換を行った。</p> <p>実施日</p> <p>10/28(土) @両合棚田</p> <p>交流施設むっからや及び棚田周辺視察・インタビュー</p> <p>11/18(土) @南院内</p> <p>マチュピチュ展望所にて視察及びインタビュー</p> <p>石橋の観光ルート及びさとづくり協議会視察</p> <p>12/9(土) @両合棚田</p> <p>両合及び南院内地域住民へのインタビュー</p> <p>1/13(土) @両合棚田 & 南院内</p> <p>宇佐市余谷棚田交流施設にて発表会</p> <p>岳切溪谷視察</p> <p style="text-align: right;">(観光・ブランド課)</p>

豊後大野市	海外友好都市交流事業	<p>海外との交流事業を通じて、国際理解や国際感覚を高め、国際人の育成を図る。</p> <p>○友好交流都市との交流 ・大韓民国 機張郡 令和5年10月23日～25日 機張郡訪問（訪問） 訪問団人数：18名</p> <p style="text-align: right;">（まちづくり推進課）</p>
	外国語指導助手派遣事業	<p>外国語指導助手4名を採用し、市内の小・中学校外国語活動・中学校英語授業等において国際理解の推進を図った。</p> <p>・実施時期：通年</p> <p style="text-align: right;">（まちづくり推進課）</p>
	日本語ボランティアスキルアップ研修	<p>養成した日本語ボランティアを対象にスキルアップ研修を行った。</p> <p>・実施時期 令和5年4月～令和6年2月 ・実施回数 6回 ・参加者 70名（延べ人数）</p> <p style="text-align: right;">（まちづくり推進課）</p>
	日本語教室	<p>市内に在住する外国人市民に、簡単でわかりやすい日常生活に必要な日本語を教えるとともに、関わる機会を持つことでお互いが地域の一員としてより暮らしやすくなるよう交流を図った。</p> <p>・実施時期 令和5年4月～令和6年3月 ・実施回数 42回</p> <p style="text-align: right;">（まちづくり推進課）</p>
	韓国語教室	<p>豊後大野市国際交流協会の会員を対象に、韓国語及び韓国文化の理解を深めるために韓国語教室を開催した。</p> <p>・実施時期 令和5年9月～令和6年2月 ・実施回数</p> <p>○韓国語 入門・初級教室</p> <p>・入門・初級教室 9月14日～10月18日 毎週木曜日 6回</p> <p>・基礎から始める韓国語 入門コース 11月14日～13月11日 毎週火曜日 5回 初級コース 11月14日～13月11日 毎週火曜日 5回</p> <p>・基礎から始める韓国語 入門クラス 1月23日～2月27日 毎週火曜日 6回 文法クラス 1月23日～2月27日 毎週火曜日 6回 会話クラス 2月1日～2月29日 毎週木曜日 5回</p> <p>○参加者 270名（延べ人数）</p> <p style="text-align: right;">（まちづくり推進課）</p>
	文化講座	<p>豊後大野市国際交流協会の会員を対象に、外国の文化に触れることで国際理解への関心を高めるため、文化講座を開催した。</p>

豊後大野市		<p>①第1回国際交流協会文化講座 『ジョン(チヂミ)』づくり 実施日 令和5年9月2日 参加者 20名</p> <p>②第2回国際交流協会文化講座 韓国Xイギリス コラボレーション!New year party! 実施日 令和6年1月27日 参加者 11名</p> <p>③第3回国際交流協会文化講座 映画鑑賞&料理づくり 実施日 令和6年3月2日 参加者 15名</p> <p style="text-align: right;">(まちづくり推進課)</p>
英会話教室		<p>外国語指導助手(ALT)の講師(4名)のもと、英会話を学びながら、異文化に触れる機会を創出した。</p> <p>・実施時期 通年(毎週水曜日)</p> <p style="text-align: right;">(まちづくり推進課)</p>
国際キャンプ事業		<p>感受性豊かな子どもたちが新しい感覚や異文化を体験し、国際的な視野を広げる。</p> <p>○2023年度 豊後大野市国際キャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和5年10月7日～8日 ・場 所 豊後大野市中央公民館 ・参加者 市内小学校 児童18名 APU立命館アジア太平洋大学 学生5名 国際交流員 1名 ほか <p style="text-align: right;">(まちづくり推進課)</p>
放課後チャレンジ教室		<p>放課後や土曜日等の休日に、各小学校区単位で行われる「放課後チャレンジ教室」の中で、国際交流員から韓国の文化等を学ぶ。</p> <p>①実施日 令和5年9月20日 場 所 緒方小学校 参加者 31名</p> <p>②実施日 令和5年12月20日 場 所 三重東小学校 参加者 20名</p> <p>③実施日 令和6年1月24日 場 所 三重第一小学校 参加者 34名</p> <p>④実施日 令和6年1月31日 場 所 新田小学校 参加者 12名</p> <p>⑤実施日 令和6年2月7日 場 所 朝地小学校 参加者 14名</p> <p>⑥実施日 令和6年2月14日 場 所 百枝小学校</p>

豊後大野市		参加者 18名 (まちづくり推進課)
由布市	外国語指導助手派遣事業	A L Tを2名任用し市内の小学校に配置、外国語指導助手2名を市内の中学校に派遣し、小学校外国語活動・中学校英語授業等において国際理解の推進を図った。 実施時期：通年 (学校教育課)
	APU留学生との教育交流事業	市内の小・中学生が総合的な学習の一環として、国際交流と英会話の実践活動を目的にAPUを訪問し交流を行った。 (学校教育課)
	由布市小学生チャレンジ教室運営事業 土曜教室お茶入門	目的 市内の企業留学生をお招きし、子どもたちが学んで来た茶道を外国の方へ伝える。 外国人には日本にしかない文化に触れていただき、体感することで日本の伝統文化の良さを認識していただく。 子どもたちは日本の伝統文化を再認識し、継承につながる。 時期 9月16日 内容 日本の民族衣装 着物の着付け 和室の使い方・茶道について お茶・お菓子のいただき方 点て方を学ぶ 着付け・茶道体験 市内企業留学生 当日参加者 8名 放課後こども教室 こども 23名 地域の指導者 5名 興友会 2名 (社会教育課)
	由布市小学生チャレンジ教室運営事業 夏休み特別教室 英語であそぼ	目的 外国人の子どもと町内小学生、歌ったりゲームをしたりしながら英語に親しむとともに、講師や仲間とのコミュニケーションを楽しむ。 ○日本人講師が指導に当たり、外国人の子どもと一緒に交流 ○実施時期 8月2日 ○実施場所：はさま未来館 ○参加人数：小学生 24人 (外国籍 2名) 英語であそぼ 日本語禁止 自己紹介 フルーツバスケット 英語で もの当てクイズ 歌 (挟間公民館)
	観光振興事業	外国人観光客誘致に向け、昨年に引き続き、観光拠点施設等へ外国語版パンフレットを配置し、PR活動を実施した。

由布市		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版パンフレット（英）200部 ・外国語版パンフレット（中・簡）200部 ・外国語版パンフレット（中・繁）200部 ・外国語版パンフレット（韓）60部 <p style="text-align: right;">（商工観光課）</p>
	商工振興活性化事業	<p>「人材確保等支援事業補助金」中の対象事業「外国人材活躍推進事業」として、市内中小企業者の外国人材の安定的な受入れや定着に向けた取組に対し支援を行った。（市報・HP等で周知を行ったが、該当事業による申請は0件であった。）</p> <p>以下補助内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額 上限10万円／1社当たり （複数の事業者が共同で事業を行う場合、上限20万円） ・対象事業 <ul style="list-style-type: none"> ①外国人材の日本語能力の向上につながる取組 ②外国人材が日本文化や市内の歴史・自然等を体験する取組 ③外国人材と地域との交流を図る取組 <p>ただし、次のいずれかに該当する事業は対象とならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生の受入れ時に実施する講習（入国後の法定講習） ・外国人材の出席が5名未満となる事業 <p style="text-align: right;">（商工観光課）</p>
国東市	国東市官民合同教育文化国際交流事業	<p>文化交流を企画・実施する民間団体への支援や外国人留学生等との交流を通じて市内の子どもたちの国際感覚の醸成をめざす。</p> <p>①世界夢一文字コンテスト</p> <p>■目的：自身の「夢」を漢字「一文字」で表現することによって、目標実現に向けての意欲向上や、新たな「夢」の発見、「自己実現」へとつながる取り組みである。また、国際交流のコンテンツのひとつと位置付け、参加者は国籍を問わないグローバルな取り組みとし、書道という文化を通じた交流を目的とする。</p> <p>■主催：国東半島あいらネサンス連盟</p> <p>■内容：はがきに漢字「一文字（毛筆）」と選んだ理由を書き応募</p> <p>■作品募集：令和5年12月1日～令和5年12月31日</p> <p>■応募総数：6,665点 ※昨年比984点増</p> <p><内訳> 日本：3,024点 台湾：3,562点 カンボジア：27点 アメリカ：9点、ドイツ21点、フランス22点 小学生：2,033点 中学生：1,671点 高校生：1,873点 大学生：589点 一般：499点</p>

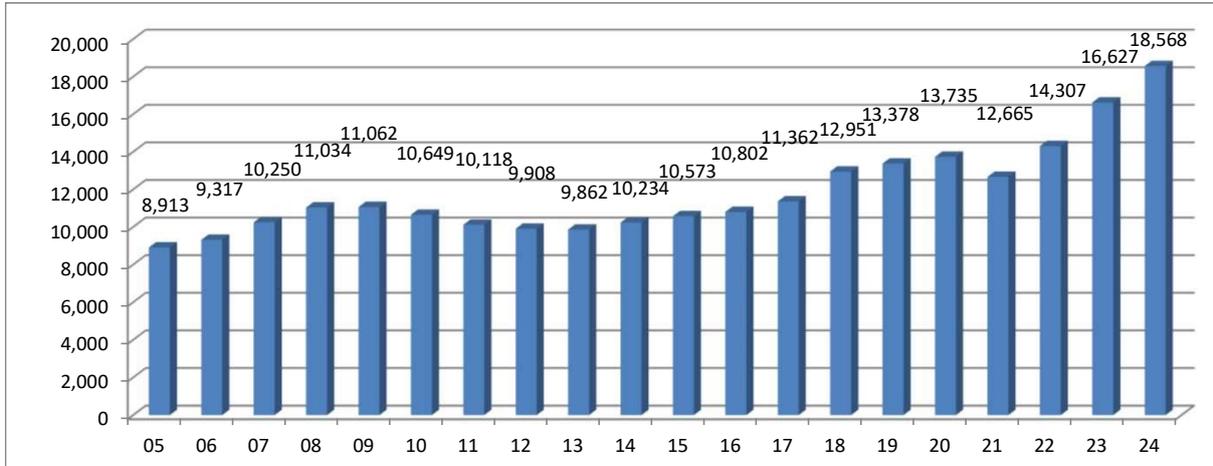
国東市		<p>★応募一文字ランキング★</p> <table border="1" data-bbox="561 212 1458 360"> <tr> <td></td> <td>1位</td> <td>2位</td> <td>3位</td> <td>4位</td> <td>5位</td> </tr> <tr> <td>一文字</td> <td>夢</td> <td>楽</td> <td>和</td> <td>笑</td> <td>愛</td> </tr> </table> <p>■表彰式：令和6年2月24日（土）実施</p> <p>■展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分空港2階出発ロビー ・ホテルベイグランド国東 ・国東市小・中・義務教育学校（全11校） ・台湾淡江大学 <p>②中学生ペンパル事業</p> <p>■目的：同年代の海外の方との交流を通じて、海外への興味関心を高めるとともに、外国語によるコミュニケーション能力の向上や異文化交流を目的とする。国東市では台湾と市内中学生が1対1の手紙交換で親睦を図る。</p> <p>■実施時期：令和5年7月</p> <p>■参加者：国見中学校生徒 15人 台湾淡水中学校生徒12人</p> <p>■内容：ペンパルを通して趣味や居住地・国について紹介</p> <p>③子ども会レクリエーション大会</p> <p>■実施時期 令和5年10月15日</p> <p>■場所 アストくにさきアグリホール</p> <p>■参加者 市内小学生～高校生、APU留学生 約50名</p> <p>■内容 ①ジュニアリーダー(中学生・高校生)主導によるレクリエーションゲームに子どもたちとAPU留学生が一緒に取り組み、交流した。</p> <p>②APU留学生学生8名が自国の文化や遊びを市内の子どもたちに紹介し、子どもたちと一緒に自国の遊びを体験することで国際交流を図った。</p> <p style="text-align: right;">(社会教育課)</p>		1位	2位	3位	4位	5位	一文字	夢	楽	和	笑	愛
	1位	2位	3位	4位	5位									
一文字	夢	楽	和	笑	愛									
玖珠町	外国青年招聘事業 (JETプログラム)	<p>町内の小学校3年～6年生・中学校の外国語活動の充実のため、ALT3名を配置。</p> <p>実施期間：通年</p> <p>実施対象：町内小中学校、幼稚園</p> <p style="text-align: right;">(教育政策課)</p>												
	GIGAスクール	<p>GIGAスクールの一環でデンマークのノースチャーネー小中学校の7年生と玖珠町立星翔中学1年生がオンラインで交流。（担当課：教育政策課）</p> <p>実施日：令和6年2月26日</p> <p style="text-align: right;">(教育政策課)</p>												

玖珠町	玖珠町人材育成事業 「青少年国際交流研修生派遣事業（海外ホームステイ）」	ホームステイを通して、語学・伝統文化・生活習慣を理解し、国際的で幅広い視野を持てるようになり、身につけた国際感覚を様々な分野で活用できる人材に育つことを目的とした補助事業。 実施時期：令和5年7月22日から3週間 研修場所：アメリカ合衆国カルフォルニア州ランチョコルドヴァ 派遣人数：玖珠町立星翔中学校生徒8名、大分県立美山高等学校2名 (教育政策課、みらい創生課)
	国際交流事業	本町と台湾彰化市とのイベントにて交流団を招請し文化を紹介するとともに、友好交流都市間の友誼を深め、PRすることを目的とする。 台湾彰化市訪問団歓迎レセプション（玖珠町） 期間：令和5年10月15日（日） 内容：台湾彰化市公式訪問団（14名）表敬訪問・機関庫まつり参加 場所：町内 (みらい創生課)
	国際交流事業	台湾彰化市視察研修受入（玖珠町） 視察場所：清掃センター7回、環境衛生センター1回 期間：令和5年8月～10月の8日間 受入人数：約240名 (みらい創生課)

多文化共生社会づくりの状況

3 在留外国人の状況

令和6年6月末時点の外国人数は18,568人となり、令和5年6月末より1,941人増加。国籍別に見ると、インドネシアが581人と増加幅が最も大きく、次いでミャンマー468人、ネパール266人、スリランカ258人の増となっている。



※法務省在留外国人統計より引用
2023年以降国際政策課調べ

大分県在留外国人数 18,568人

国籍・地域別在留外国人数

(令和6年6月末時点 国際政策課調べ)

アジア		ヨーロッパ		アフリカ		北アメリカ	
アフガニスタン	51	アイルランド	7	ウガンダ	9	カナダ	68
イエメン	1	アゼルバイジャン	1	エジプト	7	グアテマラ	3
イスラエル	2	イタリア	31	エスワティニ	4	コスタリカ	1
イラク	1	ウクライナ	30	エチオピア	9	ジャマイカ	5
イラン	11	ウズベキスタン	44	ガーナ	12	ドミニカ共和国	2
インド	159	英国	65	ガボン	2	トリニダード・トバゴ	2
インドネシア	2,318	エストニア共和国	1	カメルーン	7	ハイチ	2
韓国	1,607	オーストリア	3	ガンビア	6	米国	319
朝鮮	115	オランダ	11	ギニア	1	ホンジュラス	2
カンボジア	360	カザフスタン	8	ケニア	20	メキシコ	32
シリア	3	ギリシャ	1	コートジボワール	2	合計 (10ヶ国)	436
シンガポール	17	キルギス	11	コンゴ民主共和国	5	南アメリカ	
スリランカ	649	クロアチア	1	ザンビア	1	アルゼンチン	10
タイ	333	スイス	6	シエラレオネ	1	ウルグアイ	1
台湾	186	スウェーデン	10	ジブチ	1	エクアドル	2
中国	2,224	スペイン	10	ジンバブエ	4	コロンビア	7
トルコ	7	タジキスタン	14	スーダン	3	チリ	2
ネパール	1,113	チェコ	6	セネガル	23	パナマ	1
パキスタン	88	デンマーク	4	ソマリア	4	パラグアイ	3
バングラデシュ	248	ドイツ	30	タンザニア	20	ブラジル	75
東ティモール	2	トルクメニスタン	1	チャド	1	ベネズエラ	1
フィリピン	1,979	ノルウェー	6	チュニジア	5	ペルー	25
ブータン	6	ハンガリー	2	ナイジェリア	41	ボリビア	2
ブルネイ	1	フィンランド	9	ナミビア	1	合計 (11ヶ国)	129
ベトナム	3,590	フランス	62	ブルキナファソ	2	オセアニア	
マレーシア	57	ブルガリア	4	ブルンジ	3	オーストラリア	49
ミャンマー	1,843	ベラルーシ	1	ベナン	1	サモア	10
モンゴル	205	ベルギー	2	ボツワナ	1	ソロモン	7
ヨルダン	2	ポーランド	8	マラウイ	4	トンガ	13
ラオス	8	ポルトガル	2	マリ	2	ニュージーランド	23
計 (30ヶ国・地域)	17,186	モルドバ	1	南アフリカ共和国	17	バプアニューギニア	3
		ラトビア	2	南スーダン共和国	3	パラオ	3
		リトアニア	3	モザンビーク	6	フィジー	22
		ルーマニア	7	モロッコ	5	ミクロネシア	1
		ロシア	22	リベリア	10	合計 (9ヶ国)	131
		計 (35ヶ国・地域)	426	ルワンダ	12	無国籍	4
				レソト	1		
				合計 (37ヶ国)	256		
						合計 (133ヶ国・地域)	18,568

4 留学生の状況

大分県には令和5年5月1日現在で109カ国・地域から3,330人の外国人留学生在籍している。都道府県別の人口10万人当たり留学生数は、京都府、東京都に次いで第3位となった。

※使用データ

留学生数：日本学生支援機構外国人留学生在籍状況調査（令和5年5月1日現在）

人口：令和5年人口推計（令和5年10月1日）

（国際政策課）

a. 大分県の留学生数の推移 (人)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大学・高専	3,591	3,301	3,260	3,050	3,330
専修学校	246	258	219	195	171
計	3,837	3,559	3,479	3,245	3,501

順位	国・地域	留学生数			
		R5	R4	増減	増減率
1	中国	628	651	△ 23	△ 3.5
2	韓国	479	526	△ 47	△ 8.9
3	インドネシア	393	391	2	0.5
4	タイ	240	202	38	18.8
5	ベトナム	214	243	△ 29	△ 11.9
6	ミャンマー	164	62	102	164.5
7	バングラデシュ	126	122	4	3.3
8	スリランカ	118	93	25	26.9
9	台湾	113	96	17	17.7
10	ネパール	96	76	20	26.3

c. 人口10万人当たりの留学生数(都道府県別)

(大学・大学院・短期大学・高等専門学校)

(人、%)

令和5年度			令和4年度		増減数	増減率
1	京都	514.9	1	440.7	74.2	16.8
2	東京	337.4	2	295.0	42.4	14.4
3	大分	303.8	3	275.5	28.3	10.3
4	山梨	158.3	5	128.1	30.2	23.6
5	福岡	143.9	4	145.2	△ 1.3	△ 0.9
6	石川	140.4	6	120.8	19.6	16.2
7	兵庫	126.3	10	106.9	19.4	18.1
8	岡山	121.7	7	118.1	3.6	3.0
9	山口	120.4	8	116.8	3.6	3.1
10	大阪	115.8	12	101.3	14.5	14.3
全国平均		111.3		102.1	9.2	9.0

d. 大分県の国・地域別留学生数

(人)

順位	国・地域	留学生数	順位	国・地域	留学生数	順位	国・地域	留学生数
1	中国	628	34	ウガンダ	6	70	モザンビーク	2
2	韓国	479	34	南アフリカ	6	70	ポリビア	2
3	インドネシア	393	34	デンマーク	6	70	エクアドル	2
4	タイ	240	41	ガーナ	5	70	ロシア	2
5	ベトナム	214	41	モロッコ	5	70	ラトビア	2
6	ミャンマー	164	41	ブラジル	5	70	ウクライナ	2
7	バングラデシュ	126	41	タジキスタン	5	70	ベラルーシ	2
8	スリランカ	118	45	ブータン	4	70	アゼルバイジャン	2
9	台湾	113	45	ボツワナ	4	83	レバノン	1
10	ネパール	96	45	ルワンダ	4	83	イスラエル	1
11	インド	74	45	ガンビア	4	83	ヨルダン	1
12	モンゴル	65	45	バブアニューギニア	4	83	イラク	1
13	アメリカ合衆国	64	45	フィジー	4	83	スーダン	1
14	フランス	45	45	トンガ	4	83	ガボン	1
15	マレーシア	41	45	ペルー	4	83	ザンビア	1
16	ウズベキスタン	40	45	コロンビア	4	83	セネガル	1
17	フィリピン	30	45	スイス	4	83	モーリシャス	1
18	パキスタン	17	45	チェコ	4	83	ブルキナファソ	1
18	カナダ	17	56	東ティモール	3	83	セーシェル	1
20	カンボジア	15	56	チュニジア	3	83	シエラレオネ	1
20	英国	15	56	エチオピア	3	83	南スーダン	1
20	ドイツ	15	56	ジンバブエ	3	83	パラオ	1
23	イタリア	14	56	マラウイ	3	83	マーシャル	1
24	エジプト	13	56	レソト	3	83	コスタリカ	1
24	ケニア	13	56	ソマリア	3	83	ドミニカ共和国	1
24	メキシコ	13	56	ミクロネシア	3	83	パラグアイ	1
24	ノルウェー	13	56	サモア独立国	3	83	アルゼンチン	1
28	ナイジェリア	11	56	ソロモン諸島	3	83	チリ	1
29	シンガポール	10	56	オーストリア	3	83	ジャマイカ	1
30	リベリア	9	56	リトアニア	3	83	ハイチ	1
31	オーストラリア	8	56	カザフスタン	3	83	スウェーデン	1
31	フィンランド	8	56	キルギス	3	83	ギリシャ	1
31	オランダ	8	70	ブルネイ	2	83	ハンガリー	1
34	ラオス	6	70	シリア	2	83	ルーマニア	1
34	イラン	6	70	コンゴ民主共和国	2	83	キプロス	1
34	アフガニスタン	6	70	コートジボワール	2			
34	タンザニア	6	70	エスワティニ王国	2			
						計	109ヶ国・地域	3,330

※この調査でいう「留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校において教育を受ける外国人学生をいう。

e. 留学生の県内就職者数(法務省)

(人)

28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
52	68	42	106	105	138	169

留学生の「就職先企業等所在地別許可人数」(法務省)

5 (公財)県芸術文化スポーツ振興財団(おおいた国際交流プラザ)の令和5年度事業

	事業内容
大分県外国人総合相談センター事業	<p>○大分県外国人総合相談センターの運営(県委託事業) 相談件数392件</p> <p>①センター相談 令和5年4月1日～令和6年3月31日 10時～17時、269日開所 ②専門家相談 毎週土曜日 13時～16時 50回 ③外国語相談・中国語 毎週木曜日 10時～13時 46回 ・タガログ語 月2回(第1土曜日、第3火曜日) 13時～16時 22回</p> <p>○外国人相談につながる「やさしい日本語」研修会(講師派遣調整) ・開催日 令和6年2月20日 ・主催者 済生会日田病院 ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 布尾勝一郎准教授 ・参加者 済生会日田病院約28名</p>
国際交流人材育成・活用事業	<p>○言葉の壁や文化の違いなどから、災害弱者となる可能性が高い在住外国人等に対し、適切な対応や支援が図られるよう、県・市町村の防災担当職員や地域の防災・外国人支援関係者を対象としたセミナーを開催</p> <p>①行政職員対象研修(県委託事業) ・開催日 令和5年6月8日 ・内容 佐賀県国際課 多文化社会コーディネーター北御門織絵さんによる「佐賀県の災害対応(外国人支援～令和元年度佐賀豪雨を経験してからの取組～)についての講演など ・場所 大分市 iichiko総合文化センター「県民ギャラリー」 ・参加者 県・市の国際交流、防災担当職員など29名</p> <p>②防災士、ボランティア等対象研修(県委託事業) ・内容 熊本市国際交流振興団事務局長勝谷知美さんによる「外国人への災害対応とやさしい日本語」についての講演など ・場所 iichiko総合文化センター 地下1階 県民ギャラリー ・参加者 通訳ボランティア、日本語ボランティアなど外国人支援に関わる者、地域で活動する防災士など30名</p> <p>○日本語ボランティア研修(県委託事業)</p> <p>①初級研修 ・開催日 令和5年7月2日、9日、30日 ・場所 アイネス大会議室(大分市) ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 本田明子教授 ・参加者 45名(延べ112名)</p> <p>②中級研修(地域日本語教室などで学習指導に従事しているボランティアなどを対象) ・開催日 令和5年10月15日、22日、29日 ・場所 iichiko総合文化センター中会議室(大分市) ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター 本田明子教授 ・参加者 22名(延べ51名)</p> <p>③日本語おしゃべり会(外国人学習者日本語おしゃべり会/県委託事業) ・内容 外国人学習者(5教室で学ぶ8か国18名)の発表と指導者の日頃の指導内容等の説明 ・開催日 令和6年1月28日 ・場所 アイネス大会議室(大分市) ・参加者 68名</p> <p>④日本語教室の試行的開設支援等(地域日本語教育コーディネーターの派遣) ・派遣期間 令和5年4月16日から令和6年3月27日(31日) ・派遣市町等 17市町村延べ46カ所</p>

	事業内容
	<p>○日本語教室ネットワーク会議(県委託事業)</p> <p>①第1回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 参加8地域日本語教室の活動の紹介と日本語教育大分県総括コーディネーターの講演、意見交換など ・開催日 令和5年8月26日 ・場所 大分県立美術館研修室(大分市) ・参加者 県内日本語教室関係者、立命館アジア太平洋大学言語教育センター本田教授、県・市町村 担当者 など22名 <p>②第2回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 上記「日本語おしゃべり会」と同時開催
国際交流拠点づくり事業	<p>○FREE TALK CLASS</p> <p>大分県国際交流員と県民との交流(英語・韓国語・中国語)</p> <p>指定した金曜日の午後90分・計36回・参加者296名</p> <p>○語学学習講座</p> <p>語学ボランティアによる語学講座</p> <p>インドネシア語;12回、参加者97名、ベトナム語;12回、参加者58名、 イタリア語;10回、参加者120名 計 34回、275名</p> <p>○国際理解講座</p> <p>①海外生活体験編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和5年5月13日 ・場所 iichiko総合文化センター「映像小ホール」 ・講師 通訳ボランティア(33年間の海外生活経験者) ・参加者 39名 <p>②アメリカ・ユタ州編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和5年7月29日 ・場所 iichiko総合文化センター「映像小ホール」 ・講師 県・国際交流員 ・参加者 28名 <p>③イタリア編(県立美術館の企画展「テルマエ展」開催に合わせて実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和5年12月17日 ・場所 iichiko総合文化センター「映像小ホール」 ・講師 イタリア語登録通訳ボランティア・国際交流プラザのイタリア語講座の講師 ・参加者 39名 <p>④韓国料理編</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和6年1月21日 ・場所 J:COMホルトホール大分 キッチンスタジオ ・講師 県・国際交流員 ・参加者 28名 <p>計4回、134名参加</p>
在住外国人情報発信事業	<p>○HP「おおいた国際交流プラザ」の運営(日・英)</p> <p>大分県民・外国人住民への情報提供(ホームページアクセス件数31,055件)</p> <p>○多言語携帯メールの配信(日・英・中・やさしい日本語)</p> <p>主として外国人住民への情報提供 (34本)※配信メール登録者数688人(R6.4/1)</p> <p>○プラザ・大分県外国人総合相談センター併合広報紙の発刊(令和元年7月～)</p> <p>8ページ・季刊・1000部、令和5年6月・9月・12月・6年4月発行、市町村・関係団体・関係者に配布</p>

	事業内容
国際交流団体支援事業	<p>○おおいた国際交流団体ネットワーク会議の開催(県委託事業)</p> <p>①第1回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 ・中津市犬丸区自治会及び多文化に生きるこどもネットワーク大分の取組事例発表 ・各団体の活動紹介、意見交換など ・開催日 令和5年6月24日 ・場所 大分市 大分県立美術館研修室* ・参加者 県内国際交流団体、県・市の国際交流関係担当者など30名 <p>②第2回会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 JICA九州齋藤克義課長による「外国人との共生社会の実現に向けて～JICA調査研究の紹介とJICA九州の取組」の講演、国際交流団体の活動紹介など ・開催日 令和5年11月18日 ・場所 iichiko総合文化センター中会議室(大分市) ・参加者 県内国際交流団体、県・市の国際交流関係担当者など26名 <p>○県内の国際交流団体が行う多様な文化スポーツ等の国際交流事業を支援</p> <p>①NPO法人遊鳳国際文化交流協会主催した「日中芸術文化交流(書画・工芸等の作品展等)」を支援 県立美術館での「古今」日中文化(書画等)交流展(11月21日～26日)ほか、参加者1239名</p>
国際交流プラザ管理運営事業	<p>○おおいた国際交流プラザ交流スペースの運営</p> <p>○おおいた国際交流プラザギャラリー展(常設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日 ・出展者 県内各国際交流団体等 ・場所 おおいた国際交流プラザ ギャラリー <p>○登録ボランティアの手配・派遣 通訳:5件 翻訳:4件 日本語:2件(通訳・翻訳ボランティア登録者数106人/R6.4/1現在)</p> <p>○外国語図書の寄付受付24冊(通年)、同無料配布85冊(令和6年3月15～16日)</p> <p>○他機関との連携</p> <p>①地域国際化協会としての事業を推進 ・地域の中核的民間国際交流組織として総務省が認定する「地域国際化協会」の事業を推進</p> <p>②国際協力推進員(JICA九州) 青年海外協力隊等JICA事業の窓口として、JICA九州の国際協力推進員1名が常駐</p> <p>③日本国際連合協会大分県本部機能 同協会の大分県本部事務</p> <p>④県内の大学との連携 立命館アジア太平洋大学留学生2名のインターンシップ受入</p>

6 大分県外国人総合相談センター概要

○開設日 令和元年6月27日

○所在地 大分市高砂町2-33iiichiko 総合文化センターB1F(おおいた国際交流プラザ内)

○受付時間 10:00～17:00 月曜日～土曜日(日・祝日、及び年末年始を除く)

○業務内容

(1)多言語相談

県内在住外国人や外国人に関わる人からの仕事や生活等の疑問や悩みに対し、相談員が窓口・電話・メールで対応。定期的に法律の専門家による専門相談、中国人とフィリピン人の相談員による中国語とタガログ語相談を実施。

【対応言語】 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、タイ語など全21言語。加えて予約制でウクライナ語に対応。

(2)研修会の実施

外国人相談の窓口となる地方公共団体及び関係機関等の職員に対し、相談業務に関する研修会を実施。

(3)情報発信

ホームページ、メール、パンフレットにて、外国人や外国人を雇用している企業等に向けて関係情報を発信。

○実績

内容	令和5年度
相談件数	392件(R5.4.1～R6.3.31)
相談対応研修会	2回

7 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいたの令和5年度事業

		事業概要	令和5年度実績
生活支援	住宅保証人制度	留学生が借りる賃貸物件の保証人（機関保証）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の新規案件 7件 ・上記含む保証中案件 8件
	留学生むけフードバンクマルシェの開催	ロータリークラブ及び大分県社会福祉協議会共催による、留学生むけ食料品等支援	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンクマルシェ4/29にて、米、食材、生活雑貨等を無料配布。約60名の留学生が参加。 ・リユース物品情報の紹介ホームページを通じたR5年度の提供物品は13件、引取り成立は6件。
地域活動支援	人材情報バンク アクティブネット(AN)	アクティブネットシステムの管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生登録 1,099人、活用者登録 803件 ・ANを通じて活動した件数 延べ357件（インターシッパ含）
地域交流支援	大分市おでかけイングリッシュ派遣事業（大分市委託事業）	大分市内の幼保こども園で英語活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ20園へ、延べ100人を派遣。コロナ禍により減。 ・英語よみきかせや歌、ダンス等。
	別府市国際理解教室派遣事業（別府市委託事業）	別府市内の市立小学校、中学校へ留学生講師を派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・別府市内の小中学校・児童クラブ等へ延べ7回、延べ60人を派遣。
	留学生が教える語学教室	留学生が講師となる語学教室を開講	<ul style="list-style-type: none"> ・大分会場・別府会場で8言語17クラスを開講 ・受講生268人、講師役の留学生15人。
	OITA学生提言フェスタ	留学生と地域住民との交流、留学生理解・相互交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市のワールドフェスタと同時開催にて、11/5、留学生による日本語スピーチコンテストを実施。
留学生の就職支援	BJTビジネス日本語能力テスト受験料助成	ビジネス場面での日本語能力をはかるBJT受験の費用を一部助成	<ul style="list-style-type: none"> ・受験料の一部2,100円を計7人に助成
	大分県留学生ビジネスセンターの管理運営業務委託事業（大分县委託事業）	就職・起業支援の施設を管理運営する。就職・起業支援事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・就職相談、雇用相談 ・施設の管理運営 ・インターンシップ支援 ・県内スタディツアー・企業見学の実施（3回） ・企業と留学生の交流会開催（6回） ・在留資格セミナー（1回） ・留学生就職ガイドブックの作成 ・外国籍社員合同研修会（2回） ・行政書士による相談会の実施（月1回） ・先輩起業家との交流会（4回） ・連続起業基礎講座の開催（12回） ・IM相談・起業相談
その他事業	高校生&留学生インバウンド粗油開発アイデアソン	大分県教育庁・ハイパーネットワーク社会研究所「高校生による課題解決アイデアソン及び観光ツアー企画」	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生と留学生がグループとなって別府市内の観光地の実地調査等を行い、新しいインバウンド観光ツアー企画を考えるプログラムについて実施連携。 ・留学生8名とスタッフが参加

8 おおいた留学生ビジネスセンター概要

愛称 SPARKLE (スパークル)

○開設日 平成28年10月15日

○所在地 別府市京町11-8 APU PLAZA OITA 2階

○営業時間 10:00~20:00 火曜日~土曜日 (日・月・祝日休み)

○目的

(1) 留学生等の県内における起業・就職支援

(2) 留学生等と県内企業等との協働を推進

○施設概要

(1) 起業支援室 (個室2室、ブース席10席)

(2) 交流スペース

(3) 和室 (1室)

(4) 料理室 (1室)

(5) セミナールーム (2室)

○サービス内容

(1) 設備インフラ 無料Wi-Fi、複合機、プロジェクター、PC、タブレット等

(2) 相談対応 スタッフによる就職・起業相談受付

専門家による定期無料相談会

・ 起業相談 (毎週1回)

・ 在留資格 (ビザ) 相談 (毎月1回)

○利用実績

	令和4年度	令和5年度
(1) 延べ利用者数	3,340人 (月平均約278人)	3,255人 (月平均約271人)
(2) 相談対応件数	160件	188件 (就職106件、起業82件)
(3) 主催、共催事業		
・ 先輩起業家との交流会	4回実施、参加者数144人	4回実施、参加者数100人
・ 企業と留学生の交流会	6回実施、参加者数72人※ ※学生参加者のみの人数	6回実施、参加者数163人※ ※学生参加者のみの人数
・ 留学生の県内企業見学会	3回実施、参加者数71人	3回実施、参加者数80人

国際交流の状況

9 姉妹都市・友好都市提携交流、友好交流提携の状況

市町村名	国名	都市名	提携年月日
大分市	中華人民共和国	湖北省武漢市	1979年 9月 7日
	ポルトガル共和国	アベイロ市	1978年10月10日
	アメリカ合衆国	テキサス州オースチン市	1990年10月30日
別府市	大韓民国	全羅南道木浦市	1984年10月 1日
	アメリカ合衆国	テキサス州ボーモント市	1985年 5月20日
	中華人民共和国	山東省烟台市	1985年 7月26日
	ニュージーランド	ロトルア市	1987年 7月10日
	英国	バース市	1994年10月31日
日田市	中華人民共和国	江蘇省蘇州市吳県	1992年 6月 1日
	イスラエル国	メギド市	1970年 2月11日
	カメルーン共和国	メヨメサラ市	2003年 5月25日
	ドイツ連邦共和国	ルプツ町	2003年 2月 1日
佐伯市	中華人民共和国	河北省邯鄲市	1994年 4月 3日
	オーストラリア連邦	グラッドストーン市	1996年 9月 4日
臼杵市	スリランカ民主社会主義共和国	キャンディー市	1967年 2月27日
	中華人民共和国	甘肅省敦煌市	1994年 9月27日
竹田市	パラグアイ共和国	サンロレンソ市	1973年10月28日
	ドイツ連邦共和国	バート・クロツィンゲン市	1989年11月23日
	ドイツ連邦共和国	バートナウハイム市	1989年11月23日
	台湾	高雄市田寮区	2017年 1月13日
宇佐市	大韓民国	慶尚北道慶州市	1992年 7月 3日
	アメリカ合衆国	ハワイ州ホノルル市郡	2019年10月 1日

交流協定

市町村名	国・地域	都市名	提携年月日
大分市	中華人民共和国	広東省広州市	1997年10月 9日
別府市	大韓民国	済州特別自治道済州市	2003年 1月17日
中津市	台湾	台中市	2017年 2月 9日
佐伯市	アメリカ合衆国	ホノルル市	2003年12月 8日
	台湾	台中市	2023年 2月 7日
	ベトナム社会主義共和国	ニンビン省	2023年 3月31日
豊後大野市	中華人民共和国	湖北省荊州市荊州区	1994年 9月26日
	大韓民国	釜山広域市機張郡長安邑	2003年 9月19日
	〃	全羅北道益山市	2005年 8月22日
玖珠町	台湾	彰化市	2022年11月 2日

(県関係) 友好交流協定一覧

締結主体	名称	相手国・地域・団体	始期
			終期
大分県	大分県と台中市との友好交流に関する覚書	台湾 台中市	2016年9月8日 終期なし
	日本フェンシング協会（サーブル）との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	日本フェンシング協会	2017年12月20日 2021年9月5日
	ラオスパラリンピック委員会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	ラオス	2018年3月26日 2021年9月5日
	日本フェンシング協会（エペ）との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	日本フェンシング協会	2018年5月18日 2021年9月5日
	マレーシア国立スポーツ研究所との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	マレーシア	2018年7月2日 2021年9月5日
	ポルトガル陸上競技連盟との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	ポルトガル	2018年10月4日 2021年9月5日
	大分県とSAPジャパン株式会社、SAP Academyとの相互協力協定	SAPジャパン株式会社、 SAP Academy	2019年8月27日 終期なし
	モンゴル国テコンドー協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	モンゴル	2019年9月30日 2021年9月5日
	フィジー共和国オリンピック委員会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	フィジー	2019年10月8日 2021年9月5日
	スイス連邦パラリンピック陸上連盟との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	スイス	2019年11月18日 2021年9月5日
	イタリア共和国フェンシング協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	イタリア	2020年1月30日 2021年9月5日
	カメルーン共和国NOCとの東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	カメルーン	2021年2月22日 2021年9月5日
	アルゼンチンフェンシング協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	アルゼンチン	2021年5月31日 2021年9月5日
	英国ウェールズ政府との友好と相互協力に関する覚書（協定書）	英国 ウェールズ	2022年3月1日 2027年2月28日
	2022東アジア文化都市共同宣言	中国 温州市 濟南市 韓国 慶州市	2022年11月6日 終期なし
大分県 企画振興部	大分県観光・地域振興局長と中華人民共和国江蘇省無錫市、宜興市、江陰市の各旅游局長との観光交流に関する協定	中国 無錫市 宜興市 江陰市	2005年4月29日 終期なし
	大分県企画振興部長と中華人民共和国江蘇省蘇州市旅遊局長との観光交流に関する協定	中国 蘇州市	2006年7月15日 終期なし
	大分県企画振興部長と中華人民共和国上海市外事弁公室副主任との友好交流に関する覚書	中国 上海市	2008年11月11日 終期なし
	大分県企画振興部長と台湾台中市観光旅遊局長との観光友好交流連携に関する協定	台湾 台中市	2015年11月27日 終期なし
大分県 福祉保健部	大分県福祉保健部とU International Human Co.,Ltdとの介護分野における協力に関する覚書	U International Human Co.,Ltd	2019年8月23日 適宜更新
大分県商工 観光労働部	大分県観光局とCtripの連携に関する協定書	Ctrip.com International, Ltd.	2019年9月10日 終期なし
	日本国大分県とベトナム社会主義共和国クアンガイ省との人材交流に関する覚書	ベトナム クアンガイ省	2023年4月14日 終期なし（自動更新）
大分県 教育委員会	日本国大分県教育委員会と大韓民国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言	韓国 忠清南道	1997年6月9日 終期なし
	「マレガ・プロジェクト」の成果利用に関する覚書	バチカン	2022年4月1日 2025年3月31日
	日本大分県教育委員会と台北市教育局との国際教育友好交流協力覚書	台湾 台北市	2024年1月17日 2028年1月16日

大分県LSIクラスター形成推進会議（顧問：知事、理事：商工観光労働部長）	韓国オチャン半導体クラスターとのビジネス交流推進に係る覚書	韓国	2010年8月23日 適宜更新
	(社)台湾電子設備協会とのビジネス交流推進に係る覚書	台湾	2011年11月7日 終期なし
	(社)亀尾中小企業協議会（韓国）との産業交流の推進に向けた覚書（MOU）	韓国	2013年10月17日 終期なし
(一社)大分県工業連合会	金属工業研究発展中心（台湾）とのビジネス交流覚書（ものづくり分野）	台湾	2013年10月1日 2014年12月31日
	日韓ビジネス交流及びグローバル人材育成に関する覚書	韓国	2016年9月30日 2018年9月30日
	一般社団法人大分県工業連合会と臺中市金手奨得奨廠商協進會の間の覚書	台湾 台中市	2019年7月24日 2020年12月31日
(公財)ハイパーネットワーク社会研究所（評議員：商工労働部長、理事：情報政策課長）	韓国(財)慶南テクノパークとの相互交流の覚書	韓国	2013年2月27日
			終期なし

10 教育機関の姉妹校・協定校提携の状況

●教育機関

教育機関名	姉妹提携先	所在地	提携年月日
大分県教育委員会	韓国忠清南道教育庁	韓国忠清南道	平成9年6月9日

●小学校

学校名	姉妹校名	所在地	提携年月日
大分市立碩田学園 (旧 大分市立住吉小学校)	武昌実験小学校	中国湖北省武漢市	昭和54年11月16日
大分市立西の台小学校	一元路小学校	中国湖北省武漢市	平成4年12月4日
大分市立森岡小学校	育才第二小学校	中国湖北省武漢市	平成4年12月4日

●中学校

学校名	姉妹校名	所在地	提携年月日
大分市立明野中学校	武漢外国語学校	中国湖北省武漢市	昭和55年
大分市立大分西中学校	武漢市第六中学校	中国湖北省武漢市	平成7年9月25日
大分市立植田中学校	武漢市第二寄宿学校	中国湖北省武漢市	平成12年10月17日
国東市(安岐町)立安岐中学校	彦州中学校	韓国ソウル特別市	平成12年1月7日
佐伯市立佐伯城南中学校	ツルーアハイスクール	オーストラリアクイーンズランド州	平成12年8月13日
大分大学教育福祉科学部附属中学校	ジョン・ポール・カレッジ	ニュージーランドロトルア市	平成8年9月27日
日出町立大神中学校	慶安中学校	韓国安東市	平成30年7月18日
九重町立このえ緑陽中学校	大瀧国民中学	台湾高雄市	令和元年12月9日
	鳳山国民中学	台湾高雄市	令和元年12月9日

●高等学校

学校名	姉妹校・協定校名	所在地	提携年月日
別府翔青高等学校 (旧 別府羽室台高等学校)	ウエスタンハイツハイスクール	ニュージーランドロトルア市	平成14年6月11日
明豊高等学校 (明豊中学校含む)	鶴山女子高等学校	韓国釜山広域市	平成12年4月5日
	馬山第一女子中学校	韓国馬山市	平成13年2月15日
	論山大建高等学校	韓国論山市	平成13年7月10日
	昌信高等学校	韓国馬山市	平成15年7月23日
	ルネ・ゴス高等学校	フランスクレルモン・レロー町	平成15年2月27日
	海雲台観光高等学校	韓国釜山広域市	平成15年12月2日
	ジョン・ポール・カレッジ	ニュージーランド・ロトルア市	平成16年2月10日
	又松高等学校	韓国大田広域市	平成17年4月4日
	稲江高級商業職業学校	台湾台北市	平成17年6月6日
	輝英学塾	韓国大邱広域市	平成17年9月8日
	治平高級中学	台湾桃園市	平成18年5月17日
	新民高級中学	台湾台中市	平成19年7月25日
	大分舞鶴高等学校	ロップリー科学高校	タイロップリー県
ラグビー校		イギリスウォリックシャー郡	平成29年3月22日
Mount Albert Grammer School		ニュージーランド	令和5年12月7日
大分商業高等学校	木浦女子商業高校	韓国木浦市	平成28年10月28日
竹田高等学校	ニュージーランドフライバーグ高等学校	ニュージーランドパーマストンノース市	平成12年7月31日
	ディケイタ高等学校	アメリカジョージア州アトランタ市	平成13年4月4日
由布高等学校	嶺西高等学校	韓国江原道	平成18年11月21日
	小港高級中学	台湾高雄市	平成29年3月2日
楊志館高等学校	富平高等学校	韓国仁川広域市	昭和63年11月2日
	台湾開南高級商工職業学校	台湾台北市	平成3年11月6日
	北京月壇中学校	中国北京市	平成10年9月30日
福德学院高等学校	武漢商学院	中国武漢市	平成3年5月24日
別府溝部学園高等学校	弘明高等学校	韓国蔚山郡	平成2年7月28日
	大明女子高等学校	韓国釜山広域市	平成2年11月9日
	烟台市业余体育学校	中国烟台市	平成7年5月19日
	孝星女子情報産業高校	韓国慶尚北道	平成8年10月25日
	信男教育学園上海文来高級中学国際部	中国上海市	平成27年12月14日
岩田高等学校	慶州女子情報高等学校	韓国慶州市	令和元年7月26日
	ERDEMIIN SAN SCHOOL	モンゴルオルホン県	令和元年11月25日
	DALAIWAN SCHOOL	モンゴルブスガル県ムルン市	令和元年12月24日
	NEW ERA INTERNATIONAL SCHOOL	モンゴルウランバートル	令和3年2月23日
	BELTEI INTER NATIONAL SCHOOL	カンボジア プルンバン	令和3年8月27日
	SELENGE PROVINCE 1ST SCHOOL	モンゴルセレンゲ県	令和3年10月27日
	大慶文化藝術高等学校	韓国慶山市	令和4年11月7日
情報科学高等学校	ソウル工業高校	ソウル特別市	令和6年1月30日
国東高等学校	Richard Launder School	英国コーンウォール州トルロー市	令和5年12月15日

●県立大学

学校名	姉妹校・協定校名	所在地	提携年月日
大分県立看護科学大学	ソウル国立大学校看護大学	韓国ソウル特別市	平成11年9月13日
	ケース・ウェスタン・リザーブ大学	アメリカ オハイオ州	平成10年7月14日
	ベース大学	アメリカ ニューヨーク州	平成10年9月16日
	蔚山大学	韓国蔚山広域市	平成29年7月18日
	ムハマディア大学ジョグジャカルタ校	インドネシア ジョグジャカルタ州	令和元年8月1日
	仁荷大学校	韓国仁川広域市	令和元年12月23日
	大分県立芸術文化短期大学	ソウル市立大学校	韓国ソウル特別市
江漢大学		中国・武漢市	平成21年2月20日
クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学		ニュージーランド・クライストチャーチ市	平成21年12月15日
東国大学校		韓国ソウル特別市	平成25年11月19日
釜山外国語大学		韓国釜山広域市	平成26年10月8日
クランタン大学		マレーシア クランタン州	平成28年10月19日
サンアンドレス大学		ボリビア ラパス市	平成31年1月25日

1 1 語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）の状況

「語学指導等を行う外国青年招致事業」（JETプログラム：The Japan Exchange and Teaching Programme）昭和62年に始まり、総務省、文部科学省、外務省と財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下、地方自治体によって運営されており、地方公共団体等が外国青年を招致することによって、外国語教育の充実と地域レベルの草の根の国際交流の進展を図ることを目的としている。

県内では、県庁及び市町村で国際交流員（CIR）が国際交流活動等に従事し、小・中学校や高等学校で外国語指導助手（ALT）が語学指導を行っている。

（国際政策課）

* 国別JET青年数の推移

（単位：人）

年度		25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
国名												
中国	CIR	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
韓国	CIR	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
アメリカ	CIR	-	-	-	1	1	-	-	2	2	2	2
	ALT	39	39	39	43	56	61	57	59	58	54	54
イギリス	CIR	-	-	1	1	1	2	2	-	1	1	-
	ALT	7	7	9	7	3	5	5	14	11	14	11
カナダ	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ALT	14	14	12	10	9	9	10	12	12	13	11
オーストラリア	CIR	1	1	-	-	-	1	1	1	-	-	-
	ALT	6	6	7	8	6	6	10	8	8	7	6
ニュージーランド	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ALT	3	3	4	5	5	7	9	5	2	1	5
	SEA	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-
アイルランド	ALT	3	3	2	2	1	1	3	2	1	1	1
フランス	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ドイツ	CIR	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
シンガポール	ALT	1	1	1	1	1	1	3	3	2	1	1
トリニダード・トバゴ	ALT	-	-	-	-	-	1	1	1	1	3	2
ジャマイカ	ALT	-	-	-	1	2	2	3	3	3	1	1
南アフリカ	ALT	2	2	2	-	-	-	2	3	1	2	3
フィジー	ALT	-	-	-	-	1	1	1	1	1	2	1
フィリピン	ALT	-	-	-	-	-	1	1	1	3	4	4
合計	CIR	5	6	6	7	7	8	7	7	7	7	6
	ALT	75	75	76	77	84	95	105	112	103	102	100
	SEA	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-
計		80	81	82	84	91	104	113	120	111	110	106

全国計	4,372	4,476	4,786	4,952	5,163	5,528	5,761	非公表	非公表	5,723	5,831
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-----	-------	-------

（各年度7月1日時点）

* J E Tプログラム参加者配置状況

① 国際交流員

(単位：人)

年度		25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
県	配置先											
	国際政策課	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3
	芸術文化短期大学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県計		3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3
市町村	大分市	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
	中津市	—	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—
	日田市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	竹田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	豊後大野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	別府市	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—
	市町村計	2	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
国際交流プラザ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国際交流員 計		5	6	6	7	7	8	7	7	7	7	6

② 語学指導助手

(単位：人)

年度		25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
県教育庁	配置先											
	高校教育課 (県立高校)	26	26	27	26	26	26	26	31	26	26	26
	教育事務所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県計		26	26	27	26	26	26	26	31	26	26	26
市町村	大分市	15	15	15	16	21	26	31	31	27	27	27
	別府市	4	4	4	4	4	5	6	7	6	6	6
	中津市	5	5	5	6	6	7	7	7	6	6	6
	日田市	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
	佐伯市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	臼杵市	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	—
	津久見市	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
	竹田市	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	3
	豊後高田市	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
	杵築市	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2
	宇佐市	4	4	4	4	4	4	5	6	6	5	5
	豊後大野市	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4
	由布市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国東市	2	2	2	2	2	2	4	4	4	4	4
	日出町	—	—	—	—	—	—	2	2	4	4	4
	九重町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	玖珠町	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3
市町村計		47	47	47	47	55	66	77	76	76	75	73
私立学校	大分高校	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
	大分東明高校	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	—
	藤蔭高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私立学校計		2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	1
語学指導助手計		75	75	76	77	84	95	105	113	111	110	100

12 海外の大分県人会の状況

令和6年3月31日現在、24団体(17か国1地域)の海外大分県人会が活動しており、現地での親睦を深めています。各県人会の連絡先は、県国際政策課までお問い合わせください。

地域		国・地域名	会の名称	設立年	会員数
東アジア (7団体)	1	中国 (北京)	北京大分県人会	2013年 (平成25年)	30
	2	中国 (上海)	上海大分県人会	2000年 (平成12年)	80
	3	中国 (大連)	大連大分県人会	2012年 (平成24年)	30
	4	中国 (香港)	香港大分県人会	1991年 (平成3年)	不明
	5	台湾 (台北)	台湾大分県人会	1997年 (平成9年)	26
	6	韓国	韓国大分県人会	2000年 (平成12年)	55
東南アジア (8団体)	1	マレーシア	マレーシア大分県人会	1997年 (平成9年)	24
	2	タイ	タイ国大分県人会	2006年	20
	3	インドネシア	めじろんザビエル会	2010年 (平成22年)	20
	4	シンガポール	シンガポール大分県人会	1985年 (昭和60年)	15
	5	ミャンマー	ミャンマー大分県人会	1996年 (平成8年)	12
	6	ベトナム (ハノイ)	ハノイ大分県人会	2014年 (平成26年)	4
	7	ベトナム (ホーチミン)	ホーチミン大分県人会	2014年 (平成26年)	15
	8	フィリピン	フィリピン大分県人会	2015年 (平成27年)	7
北米 (4団体)	1	米国 (ニューヨーク)	ニューヨーク大分県人会	2011年 (平成23年)	20
	2	米国 (ロサンゼルス)	南加大分県人会	1917年 (大正6年)	9
	3	カナダ (バンクーバー)	カナダ大分県人会	(不明)	30
	4	カナダ (オンタリオ)	オンタリオ大分どげえ会	2013年 (平成25年)	10
欧州 (1団体)	1	英国	英国大分県人会 ～吉四六クラブ～	2006年 (平成18年)	38
南米 (5団体)	1	ブラジル	ブラジル大分県人会	1952年 (昭和27年)	300
	2	パラグアイ	パラグアイ大分県人会	1973年 (昭和48年)	10
	3	ペルー	ペルー大分県人会	1919年 (大正8年)	80
	4	アルゼンチン	アルゼンチン大分県人会	1966年 (昭和41年)	42
	5	ボリビア	ボリビア大分県人会	1974年 (昭和49年)	6

13 大分県海外親善大使、めじろんサポーターの状況

【大分県海外親善大使】

海外において、本県の知名度向上等に尽力している企業経営者等を「大分県海外親善大使」に委嘱し、本県の海外戦略や相手国・地域との交流を促進しています。

- 張 浩帆（ちょう こうはん）氏・・・ 中華人民共和国（湖北省） 平成23年10月任命
- 呂 恵光（ろ けいこう）氏・・・ 中華人民共和国（香港） 平成23年11月任命
- 袁 文英（えん ぶんえい）氏・・・ 中華人民共和国（香港） 平成28年3月任命

【めじろん海外サポーター（旧めじろん海外特派員）】

本県の知名度向上や各国・地域との交流を促進するため、平成23年度から、県内の大学等を卒業予定の留学生並びに本県が受け入れた国際交流員や外国語指導助手等で、離県後も本県との懸け橋となる方を「めじろんサポーター」に任命しています。（令和5年任命実績2人）

（人）

	中国	香港	台湾	韓国	タイ	ベトナム	シンガポール	マレーシア	インドネシア	ミャンマー	ネパール	アメリカ	イギリス	カナダ	オーストラリア	ジョージア	ブラジル	対象計
留学生OB	14		1	6	8	5	2	3	7	2	1					1		50
ALT												10	1	1	1			13
CIR	10			2								1	2		2			17
その他	7	1										1	1				10	20
地域計	31	1	1	8	8	5	2	3	7	2	1	12	4	1	3	1	10	100

（令和6年3月末現在）

1.4 大分県の地域間交流の状況

世界に開かれた大分県をつくり、地域に活力や競争力を生み出すため、地理的、歴史的、経済的に関係の深い東アジアを中心に、多くの分野で連携を強化し、地域間交流を深めている。

ア 国際大会による交流

● 第1回アジア・太平洋水サミット（2007年12月開催）

世界56カ国・地域から各国首脳を含む371名が本県を訪れ、アジア・太平洋地域が直面する水問題について広範で具体的な議論が行われた。

● APEC成長戦略ハイレベル会合（2010年8月開催）

海外から5名の閣僚級を含む国・地域の代表と国際機関や学会、産業界から約200名が参加し、APEC成長戦略の理念と実行について共有した。

● 2012大分日本語サミット（2012年7月開催）

世界12カ国から日本語を学ぶ青少年を招へいし、平和のためにできることは何かについて、日本語で発表・討論を行った。

● アジア・太平洋国会議員連合（APPU）総会（2017年9月開催）

世界9カ国から各国議員等74名が本県を訪れ、自由と民主主義に基づくアジアの平和と安定を目的とした議員外交の場である「アジア・太平洋国会議員連合」総会を開催した。

● 世界温泉地サミット（2018年5月開催）

温泉資源の活用や地域発展の可能性について議論や情報交換を行うことを目的に開催。基調講演や事例発表ののち、3つの分科会において各分野の議論を深め、成果として「世界温泉地サミット宣言」を採択。1,000名を超える参加者があり、海外からは16カ国17地域から86名が参加した。

イ 地域別交流

【アジア】

● 中華人民共和国との交流

2003年 4月	上海市人民对外友好協会協議団来県。 上海市サッカー競技会競技場視察団が来県。
7月	北京大分県人会発足。
8月	中国西安市経済視察団が知事を表敬するとともに、県内を視察。
9月	中日平和友好条約締結25周年及び中国国慶節祝賀会が中華人民共和国駐福岡総領事館の主催で行われる。 上海高級管理幹部培訓考察団（団長 上海市人民政府人事局 局長 孫路一）が副知事を表敬訪問し、県内を視察。
10月	第13次武漢市友好訪問団（団長 程 康彦（武漢市人民政府高級顧問・武漢市党委員会副書記））15名が来県、副知事を表敬訪問。 知事を団長とする大分県中国友好訪問団が上海市を訪問。
12月	上海市幹部教育中心日本研修視察団来県、県内視察。

2004年 4月	知事を団長とする大分県上海訪問団が、上海を訪問、中国東方航空曹建雄副総裁を訪問し、大分ー上海便の運航再開について協議。
6月	中国甘肅省文化交流団が観光・地域振興局長を表敬訪問。
7月	上海線が運航再開。安倍省佑副議長を団長とする大分県中国友好訪問団が上海市及び西安市を訪問。王培生上海市人民代表大会副主任、劉興臣中国東方航空公司総経理、陳宝根西安市常務副市長、宋昌斌陝西省人民政府副秘書長らを表敬訪問。
8月	プロサッカーチーム上海申花と大分トリニータとの国際親善試合が開催される（主催・JFL・大分県スポーツ交流促進協議会）。 大分県上海ビジネスミッション（団長：角野商工労働部長）が上海市においてビジネス視察と市場調査を行い、中国企業、日本企業、外事弁公室、人民対外友好協会を訪問。
10月	中国駐福岡総領事・武亜朋が知事、企画振興部長に着任あいさつ。
11月	第13次大分市友好訪問団が武漢を訪問。県からは企画振興部長が同行。 大分県議会上海経済事情調査団が上海を訪問。
2005年 1月	中国国務院発展研究センター訪問団（団長謝副瞻副主任）が知事表敬訪問。
3月	陝西省人民対外友好協会代表団が副知事表敬。中国実地調査研修を実施。
4月	中国交流サポートセンターを開設。 杭州世界レジャー博組織委員会訪日団が来県、企画振興部長を表敬。 知事が訪中。李建国陝西省共産党委員会書記、劉興臣東方航空西北公司総経理、王春正国家発展改革委員会副主任等と会見。 中国青年代表団（団長：張学軍全国少年工作委員会副主任）が知事表敬訪問。 観光・地域振興局と無錫市・宜興市・江陰市旅游局間で観光交流協定を締結。
6月	湖北省総工会友好訪日団（団長：何忠琦）一行が来県、知事表敬訪問。
7月	中国環黄海圏地方経済ミッション（団長呂克儉商務部亜州司副司長）が副知事表敬訪問。 大分県上海ビジネスミッション団が上海市でマーケット調査、商談等を実施。
8月	企画振興部長を団長とする大分県陝西省交流促進調査団が陝西省外事弁公室を表敬訪問、各分野での交流の可能性を調査、意見交換。
9月	丹東市文化交流訪問団（団長王振綱丹東市政治協商会議副主任）が企画振興部長を表敬訪問するとともに書道、絵画等の文化交流を行う。
10月	上海時代名人女子バレーボール訪日団が来県、出納長を表敬。 無錫市、宜興市、江陰市大分県教育旅行視察団が企画振興部長を表敬訪問するとともに教育施設、観光資源を視察。 上海市で修学旅行誘致説明会を開催。 陝西省交通庁（陳武漢職業技術学院副学長）一行が企画振興部長を表敬訪問するとともに高速道路技術、高速道路状況の視察を行う。 中国江蘇省溧陽市視察団（団長：袁再保溧陽市党委員会副書記）が来県、企画振興部長を表敬。
11月	中国青年国際人材中心副理事長一行が来県、知事を表敬。 上海市でのアジアフード&トラベルフェアに参加し、観光プロモーションを実施。 中国浙江省嘉興経済開発区訪日団が来県、企画振興部長を表敬。 中国雲南省地域開発・人材育成研修団来県、観光地域振興局長表敬。

2006年 1月	陝西省人民対外友好協会代表団（団長劉先蓮副会長）が出納長表敬。
2月	別府大分毎日マラソン大会参加の友好選手が企画振興部長を表敬、友好大使に委嘱。 呂淑雲駐日中国大使館 公使参事官が知事表敬。
	江蘇省無錫市で無錫市、宜興市、江陰市教育局、学校長等に対し修学旅行説明会を開催。
	上海市で「観光プロモーション」、旅行代理店、マスコミ等を対象に「大分県観光の夕べ」を開催。
3月	中国上海市人民対外友好協会代表団が来県、知事を表敬。
4月	上海市にジェトロとの共同事務所を開設。
	江蘇省蘇州市 沈文絹旅游局長一行が来県、企画振興部を訪問。
	宜興市洪雅副市长一行が来県、企画振興部長を訪問。 貴州省中小企業局龍局長一行が商工労働部を訪問、経済施策などを調査。
5月	中国省長代表団(団長:陝西省趙正永常務副省長)が来県、知事を表敬訪問。
	中国国家発展改革委員会 姜偉新副主任一行が来県、知事と懇談後、県内企業を視察。
7月	大分県蘇州市友好訪問団が蘇州市を訪問、企画振興部長と蘇州市旅游局長間で観光交流協定を締結。
	中国国家発展改革委員会王春正副主任一行が来県、知事と懇談後県内を視察。
8月	大分県教職員中国研修訪問団が江陰市、宜興市の教育局、旅游局等を訪問。
9月	上海市人民対外友好協会創立50周年記念イベントの招請を受け、職員を派遣。
10月	日中友好親善小学生卓球大会訪問団が来県、出納長を表敬訪問。
	蘇州市で教育局、学校長等に対し修学旅行説明会を開催。
	蘇州市交流訪問団が来県。県内視察及び県内旅行代理店等を対象に蘇州市観光説明会を開催。 中日経済貿易観光文化交流及び「無錫旅情」20周年事業参加の無錫市からの招請を受け、大分県訪問団を派遣。
11月	第14次大分市友好訪問団が武漢を訪問。県から国際交流室長が同行。
2007年 1月	無錫市友好交流訪問団（団長：王潔平旅遊局長）が来県、県内を視察。
4月	上海市人民対外友好協会代表団（団長：袁公侠副会長）が来県、県内を視察。
	北京大学叶文虎教授、宋豫秦教授が来県、知事を表敬訪問。
6月	陝西省咸陽市共産党委員会張立勇書記が来県、県内の温泉施設を視察するとともに、知事を表敬訪問。
9月	松滋市鄧応軍副書記一行4名が来県し、農林水産部長を表敬、県内畜産関係施設を視察。
	河南省訪日視察団河南省外国專家局長他20名が来県し、農林水産部長を表敬、北部振興局管内の施設野菜、肥育等を視察。
10月	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、四川省の高校生20名が来県し、企画振興部長を表敬訪問、大分南高校で学校交流とホームステイを実施。
	中国農業部牛盾副部長他6名が来県し、知事との夕食会及び「日田なし」「グリーンツアーリズム」を視察。
11月	国家外国專家局季允石局長が来県し、知事表敬及び県内視察。
	大分県フェア及び中国国際食品見本市視察のため、商工労働部長を団長とするミッション団が、蘇州市及び上海市の会場を視察するとともに、上海市人民対外友好協会等の

	関係機関を表敬訪問。 立命館アジア太平洋大学上海校友聯誼会・父母聯誼会（於：上海市）に企画振興部長、国際交流室長を派遣。
12月	武樹民駐福岡中国総領事が着任あいさつのため来県し、知事を表敬訪問。
2008年 2月	江陰市屠湘如教育局長一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
4月	宜興市華学分副市長一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
8月	山東省魯東大学孫長征応用技術学院書記一行が来県、企画振興部審議監を表敬訪問。
10月	江陰市呉崇翟人大常委会主任一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。丹東市郭広栄人大常委会主任一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
11月	企画振興部長を代表とする訪問団が上海市外事弁公室呉金蘭副主任を表敬訪問、「大分県・上海市友好交流覚書」を締結。
12月	知事がFHC（国際食品見本市）の出展企業激励のため上海を視察、唐登傑上海副市長を表敬訪問。
2009年 2月	上海市外事弁公室呉金蘭副主任が来県し、知事を表敬訪問。
4月	江陰市共産党委員会朱民陽書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
5月	上海市嘉定区政治協商会議周関東主席一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
6月	湖北省総工会張中偉副主席一行が来県し、副知事を表敬訪問。
8月	上海教育国際交流協会馮旭秘書長一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。 上海城市超市有限公司（CITY SHOP）崔軼雄総裁一行が来県し、知事を表敬訪問。
9月	第8次日中知事交流に副知事が参加し、北京市、広東省等を訪問。
10月	青海省共産党委員会強衛書記一行が来県し、知事を表敬訪問。 上海交通大学国際公共事務学院胡偉院長一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
12月	上海市浦東新区審計局傅紅岩局長一行が来県し、監査事務局長を表敬訪問。 農業部規画設計研究院朱明院長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
2010年 1月	知事が「石川・大分合同フェア」を視察のため上海市を訪問、唐登傑上海副市長を表敬。 日中友好協会大分支部の仲介で、中国福建省福建農林大学教授ほか1名が農業大学校で研修。農林水産部長を表敬訪問。
3月	中国安徽省農業一村一品研修団一行（16名）が来県し、農業振興のための政策及び農業者への融資制度について研修。
4月	青海省扶貧開発局羅局長他21名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。
5月	北京大学現代日本研究センターで学ぶ27名の学生が来県し、大分県庁で県政の概要を学ぶ。 福徳学院高等学校の姉妹校である武漢市商業服務学院一行が来県し、生活環境部長を表敬訪問。
6月	中国・江漢大学代表団6名が芸術文化短期大学を訪問し、今後の具体的な提携について意見交換。
7月	青海省草原総站趙站長他21名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。
8月	パン・セン外交部国際機構局次長（A P E C高級実務者）がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 海南省林方略副省長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
9月	湖北省人民政府張通副省長視察団が来県し、知事と懇談。

	<p>上海万博での九州・沖縄ウィーク開幕式及び「大分県の日」に知事が出席。併せて開催した上海プロモーションの「大分県の夕べ」に知事が出席し、政府関係者や企業関係者と交流を深める。</p> <p>芸文短大代表团4名が中国・江漢大学を表敬訪問し、日本語学科の学生に「日本文化」の講義、江漢大学合唱団に合唱指導。</p> <p>上海逍龍信息有限貿易有限公司 王社長一行が大分県産品取引商談のため来県し、知事を表敬訪問。</p> <p>上海城市超市有限公司 張総経理一行が大分県産品取引商談のため来県し、副知事を表敬訪問。</p>
11月	<p>青海省農・牧畜庁党処長他18名の研修団が来県し、企画振興部審議監を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。</p> <p>中国山西省雲城市及び中国江蘇省徐州市の一行(44名)が農林水産研究指導センター農業研究部花きグループを訪問し、施設を視察。</p>
12月	<p>青海省海南州政府普副州長他7名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。</p> <p>武漢市で農林水産物等の販路開拓・市場調査のため武漢フェアを実施。</p> <p>中国大連市訪日団の一行(15名)が県南柑橘選果場を訪問し、柑橘生産の概要について研修、施設を視察。</p> <p>中国昆明市新エネルギー・再生エネルギー研修団一行(17名)が、農林水産研究指導センター農業研究部花きグループにて施設を視察。</p>
2011年 1月	<p>新疆ウイグル自治区新農村建設研修団12名が来県し、企画振興部長を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。</p> <p>上海市で農林水産物等の販路開拓のため大分県フェアを実施。副知事が出席。</p>
2月	<p>ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社の劉淄楠中国区総経理が来県、知事を表敬訪問。</p> <p>上海市で農林水産物等の販路開拓のため大分県フェアを実施。商工労働部長が出席。</p>
3月	<p>湖北省武漢市帰国華僑連絡会秦主席が来県し、企画振興部長を表敬。</p>
5月	<p>武樹民駐福岡中国総領事が、知事表敬訪問及び県内視察のため来県。</p> <p>衛生部衛生監督センター書記一行がふぐ市場を視察するため来県、知事を表敬訪問。</p> <p>広西自治区百色市農業研修団一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。</p> <p>ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社の劉盾中国北方区業務開発総監が来県し、知事を表敬訪問。</p>
6月	<p>九州地方知事会、九州運輸局、九州観光推進機構が連携し、大分県副知事など7県の知事・副知事が中国政府機関への働きかけ、メディア・大手旅行会社へのプレゼンテーションなどの中国観光プロモーションを上海で実施。</p> <p>陳為民福建省福州市人民政府副市長一行が、県内温泉施設視察のため来県し、副知事と懇談。</p>
8月	<p>上海逍龍信息有限貿易有限公司の王社長一行が大分県産品取引商談のため来県、副知事を表敬訪問。</p>
9月	<p>中国・江漢大学代表团(張副学長ほか4名)が芸術文化短期大学の創立50周年記念式典に出席。</p>
10月	<p>芸術文化短期大学代表团(学長ほか2名)が江漢大学4校合併10周年記念式典に出席。</p> <p>知事及び経済団体等の代表者一行が中国湖北省を訪問し、王国生湖北省人民政府省</p>

	長、范銳平襄陽市党委員会書記、黄楚平咸寧市党委員会書記など省内要人との会見を行ったほか、経済開発区や歴史遺産・温泉施設を視察。また、併せて「大分県経済・観光セミナー」を武漢市で開催。
	武樹民駐福岡中国総領事が、離任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
11月	上海市金山区外事弁公室吳珺副主任一行が来県、企画振興部長を表敬。
2012年 1月	李天然駐福岡中国総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2月	程永華駐日中国大使が来県、知事を表敬訪問したほか、県内企業等を視察。
	王立群遼寧省営口市開発区委員会主任一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
3月	邵慧翔上海市外事弁公室副主任一行が来県し、副知事を表敬訪問。
4月	中華全国婦女連合会書記処書記が、知事を表敬訪問。
5月	武漢商業服務学院院長が、生活環境部長を表敬訪問。
6月	楊松湖北省政治協商会議主席等湖北省代表団が、知事を表敬訪問し、歓迎レセプションや企業視察等を実施。
7月	駐日中国大使館呂克儉公使が、副知事を表敬訪問。
2013年 7月	中国浙江省博物館訪問団が来県、知事を表敬訪問。
2014年 9月	九州各県が行う北京交流訪問に企画振興部長が参加し政府関係機関を訪問。
	李天然駐福岡中国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
	副知事が湖北省を訪問し、甘榮坤副省長や咸寧市丁小強市長と会見。
2016年 4月	湖北省咸寧市党委書記等党委代表団が来県、知事を表敬訪問。
7月	海南省王路副省長一行が来県、知事を表敬訪問。
9月	何振良駐福岡総領事が来県、知事を表敬訪問。
10月	柳州市鄭俊康書記一行が来県、副知事を表敬訪問
2017年 9月	海南省人民代表大会常務委員会賈東軍副主任一行が来県、副知事及び議長を表敬訪問。
2018年5月	中国共産党咸寧市委員会書記・咸寧市人民代表大会常務委員会主任一行が世界温泉地サミットに参加するため来県、知事を表敬訪問。
2019年7月	上海市浦東新区政治協商会議徐紅副主任一行が企画振興部長を表敬訪問。
2022年2月	律駐福岡中華人民共和国総領事が知事を表敬訪問
2023年6月	中華人民共和国駐福岡総領事一行が知事及び議長を表敬訪問

●台湾との交流

2003年 5月	黄諸侯・台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処長が知事を表敬訪問。
2004年 2月	台湾福祉関係者（呉麗雪高雄縣社会局長外29名）が福祉施設視察のため来県、県庁を表敬訪問。
2005年 1月	台北駐日経済文化代表処 許世楷代表が知事を表敬訪問。
2月	副知事が高雄市副市長を表敬訪問。
11月	范翼緑国際修学旅行連盟名誉会長（教育部政務次長）一行来県、副知事を表敬訪問。
2006年 6月	周碩穎台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事、県議会議長を表敬訪問。
2008年 2月	陳鴻基亜東関係協会会長、周碩穎台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	サン・ジー経済建設委員会副主任委員がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
9月	曾念祖駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。

2011年 2月	金属加工製品等の調達に係る商談ミッションを実施。
11月	行政院尹啓銘政務委員ら台日産業交流訪問団が来県、知事を表敬したほか、台湾電子設備協会と大分県L S I クラスター形成推進会議がビジネス交流推進の覚書を締結。
2012年 7月	台北駐日経済文化代表処の羅坤燦副代表が県東京事務所を訪れ、九州北部豪雨への義援金として50万円を寄付。
10月	金属工業研究発展中心と県工業団体連合会が交流覚書を締結。
2013年 2月	台北駐福岡経済文化弁事処 曾念祖処長が離任挨拶のため知事を表敬訪問。 台日産業技術合作促進会秘書長（林峻暉）が商工労働部長を表敬訪問。
7月	戎義俊台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2014年 10月	匝東関係協会李嘉進会長が来県し、知事を表敬訪問。 三三企業交流会江丙坤会長一行（約50名）が来県し、知事や県内経済団体と交流会を実施。
11月	
2015年 3月	経済国体、県内企業関係者一行がチャーター便により台北を訪問し、県産品や観光のPRを実施。
10月	台中-大分のチャーター便運航
11月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県台湾プロモーションを台北で開催。
11月	大分県企画振興部と台中市観光旅遊局が観光友好交流連携に関する協定締結。
2016年 7月	謝長廷台北駐日経済文化代表処代表が来県し、知事を表敬訪問。
9月	知事及び県内企業等一行が訪問し、台中市と友好交流に関する覚書を締結したほか、台北で台湾プロモーションを開催。
2017年 4月	議長、副議長が台北駐福岡経済文化弁事処を表敬訪問。
6月	副知事が台中市を訪問し、林副市長を表敬訪問。
11月	副知事及び県内企業一行が訪問し、台北市と台中市で台湾プロモーションを開催。
2018年 3月	議長が台北駐福岡経済文化弁事処を訪問し、台湾東部地震被害への見舞金を贈呈。
10月	陳忠正台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
11月	知事及び県内企業等一行が訪問し、台北市と台中市で台湾プロモーションを開催。
2020年 7月	台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長が知事及び議長を表敬訪問。
8月	議長が台北駐福岡経済文化弁事処を表敬訪問。
2021年 3月	Oita Made株式会社とタイアップして台湾にて「大分フェア」を実施。
12月	台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長が知事及び副議長を表敬訪問。
2022年 3月	台中市内の高級スーパー「裕毛屋」とタイアップして「大分フェア」を実施。
6月	大分県議会日台友好議員連盟の総会に台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長を招き、講演会を実施。
2023年 5月	台湾の高校生13名及び教育関係者6名が久住高原農業高校を訪問。生徒との交流プログラムや体験授業を実施。
7月	2023屏日友好祭にて大分県ブースを出展。
12月	台湾の高校生80名及び教育関係者4名が別府鶴見丘高校、大分上野丘高校を訪問。生徒との交流プログラムや体験授業を実施。 台湾の高校生16名及び教育関係者6名が別府翔青高校、大分工業高校を訪問。生徒との交流プログラムを実施。
2024年1月	台湾の高校生30名及び教育関係者2名が大分舞鶴高校を訪問。生徒との交流プログラムや体験授業を実施。 県教育委員会と台北市教育局が教育における交流協力覚書を締結。
2月	2024台湾屏東県熱帯農業博覧会にて大分県ブースを出展。 台北-大分のチャーター便運航再開に併せ、副知事が訪問。
3月	台湾の教育関係者4名が大分上野丘高校を訪問。交流プログラムを実施。

●香港との交流

2010年 8月	リタ・ラウ・ワイラン商務・経済発展局長官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2011年11月	知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府麵館」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県のタベ」を開催し、本県の特産品や観光の一体的PRを実施。
2012年10月	香港特別行政区駐東京経済貿易代表部 サリー・ウォン首席が、香港ビジネスセミナー実施のため来県し、知事を表敬訪問。
11月	2011年度に引き続き、知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府麵館」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県のタベ」を開催し、海外初輸出となる豊後牛をはじめとした本県の特産品や観光の一体的PRを実施。
2013年9月	「別府集団」(旧「別府麵館」)の呂副主席一行が来県し、知事を表敬訪問。
2013年11月	副知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府集団」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県のタベ」を開催し、本県の特産品や観光の一体的PRを実施。
2014年2月	香港中華総商會會長ジョナサン・チョイ氏が来県し、知事を表敬訪問。
8月	別府集団の呂副主席一行が大分フェアで使用する食材調査のため来県し、知事と懇談。 別府集団とタイアップして香港にて大分食材試食商談会を実施。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2015年9月	別府集団の呂副主席一行が大分フェアで使用する食材調査のため来県し、知事と懇談。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2016年3月	EGLツアーズの袁文英代表取締役社長が来県し、知事を表敬訪問。海外親善大使に任命。
2017年11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2018年11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2019年 7月	香港貿易発展局 サイラス・チュー日本代表が知事を表敬訪問。
7月	犬飼町わかあゆ国際交流会及び香港中文大学生が知事を表敬訪問。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2022年 3月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2023年 11月	別府集団とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。

●大韓民国との交流

2003年 5月	趙誠勇・駐福岡大韓民国総領事が来県。
6月	ワールドカップ1周年記念事業「日韓ワールドカップ蹴球人形展」をビッグアイ、ソウル市美術館で開催。
10月	慶尚北道南孝彩副知事一行が、副知事を表敬訪問し、県内を視察。

11月	韓国政府財政税チーム長一行が来県、地方税制の実態を聴取。
2004年 2月	韓国教職員招へいプログラムによる小・中・高校の教職員が来県、教育長を表敬訪問するとともに県内視察、ホームビジットを行う。
4月	趙誠勇・駐福岡大韓民国総領事が来県、知事表敬。 大韓民国駐福岡総領事・金榮昭が知事に着任あいさつ。
7月	ゆふいんアジアふれあい交流子ども使節団が副知事に出発挨拶。
2005年 5月	羅鍾一駐日大韓民国大使が来県、知事表敬。
6月	張性元ロッセL&L常任理事、慎重睦KOTFA代表理事、東亜日報社を日韓友情年2005記念大分韓国ツーリズム大使に委嘱。
7月	皇甫官大分トリニータ監督を日韓友情年2005記念大分韓国ツーリズム大使に委嘱。
8月	大韓民国益山市訪問団（団長：蔡奎晶益山市長）が、豊後大野市と友好交流協定の締結後、副知事を表敬。
10月	大韓民国蔚山広域市韓日親善協会訪問団（団長：イ・ビョンジク会長）が、大分県日韓親善協会との交流のため来県し、出納長を表敬。
11月	韓国国際通商実務者研修訪問団が通商施策の研修のため来県。
2006年 2月	韓国大学関係者一行が来県、県内の保健福祉行政を視察。 韓国水原市職員が来県、廃棄物リサイクル施設を視察。 韓国行政自治省実務研修訪問団が県民相談システム等の研修のため来県。 韓国自治政策研究室長が電子県庁の推進体制、運用状況等調査のため来県。
3月	韓国有力ジャーナリスト一行が来県、知事を表敬訪問、日本における地方経済の重要性について意見交換した。 韓国唐津郡環境視察団が環境施策の研修のため来県。 (社)韓国テクノマート金鉄佑会長が来県、企画振興部を訪問。
4月	韓国自治体国際化財団主催の韓国自治体職員研修団が来県、本県の経済施策等を調査。
8月	韓国慶尚南道金知事が来県、大分トリニータVS慶南FCの国際親善試合を観戦。
12月	韓国精神看護担当大学教員が来県、看護科学大学において保健・医療システムを研修。
2007年 1月	韓国ソウル大学校教員が保健・医療システムと看護職の役割等を研修のため来県、看護科学大学教員と意見交換、病院施設の視察。
2月	春季キャンプで来県した韓国プロ野球斗山ベアーズの金団長以下3名が津久見警察署長を表敬訪問。 金榮昭 駐福岡韓国総領事が離任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。
5月	金賢明 駐福岡韓国総領事が新任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。
7月	ソウル市観光マーケティング本部一行が来県、修学旅行説明会を開催。
12月	忠南洪城郡葛山面村長団体（韓国）44名が「水田農業研究所」を視察。
2008年 10月	蔚山市韓日親善協会イ・ビョンジク会長が大分県日韓親善協会との交流のため来県し、企画振興部長を表敬訪問。
11月	韓国テクノマート金鐵佑会長、太田市朴城孝市長が来県、知事を表敬訪問。
2010年 1月	大分県訪問団（福岡大学友景教授団長ほか8名）が、ソウル市、清州市、清原郡オチャン等の企業、関係機関、忠北大学、忠清北道庁等を訪問し、韓国の半導体産業を調査。 韓国沃川郷愁アカデミー日本九州地域圏集団一行（26名）が来県し、グリーン・ツーリズムについて研修。
2月	韓国中央大学大学院一行15名（学生・教員）が看護科学大学を視察。

4月	趙延元駐福岡大韓民国総領事が新任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。 韓国忠清北道経済交流協力団（忠清北道庁戦略産業課長団長ほか8名）が来県し、L S I クラスター、企業、大学等を訪問。商工労働部産業集積推進室長と意見交換。
6月	韓国大田大学校看護学科学生（30名）が来県し、看護科学大学及び県内の医療保健施設を視察。 大分県訪問団（株）ジェイデバイス仲谷社長団長ほか9名）が清州市で、韓国企業20社及び関係機関と交流。
7月	大分県日韓親善協会と姉妹交流をしている蔚山広域市韓日親善協会が企画振興部長を表敬。
8月	チョ・ソク知識経済部長官補がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 韓国農林水産食品部主催さこの農業研修団一行(32名)が大分県椎茸農業協同組合で研修。 韓国訪問団（韓国産業団地公団清州支社長団長ほか9名）が来県し、知事立会のもと交流推進のための覚書を関係機関4者で締結。韓国企業5社と交流。
9月	韓国プヨ農協農業大学の一行(64名)が農林水産研究指導センター農業研究部花きグループを訪問し、観賞温室を視察。
10月	第12回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者1名を招聘。 大分県ビジネスミッション（10社18名）が清州市での第1回商談会に参加。韓国企業20社と商談。 韓国慶尚南道視察団一行(18名)が来庁(農林水産企画課、水産振興課)し、水産業の施策について研修。
11月	慶尚北道星州郡セマウル会が来県、企画振興部審議監を表敬訪問。 Chodang Universityの学生40名及びKyungin Women's Collegeの学生20名が来県し、看護科学大学及び県内の医療保健施設を視察。
12月	韓国ビジネスミッション（7社15名）が来県し、第2回商談会で大分の企業19社と商談。
2011年 1月	大分県（5名）と韓国（5名）の関係者がソウル市で来年度の事業について協議。企業のビジネス支援を積極的に継続することで合意。
5月	九州地方知事会、九州運輸局、九州観光推進機構が連携し、知事など7県の知事・副知事が政府機関への働きかけ、マスコミ向けプレス発表、街頭P R活動、旅行会社訪問などの韓国観光プロモーションをソウルで実施。
11月	韓国半導体関連企業（6社2団体14名）が来県し、大分市で県内半導体関連企業13社と商談を行うと共に、韓国関係機関（韓国産業団地公団、忠北テクノパーク、ジェトロソウル）が知事を表敬訪問。 申珏秀駐日大韓民国大使が来県、知事を表敬訪問。
2012年11月	韓国蔚山広域市韓日親善協会一行（李秉稷会長以下6名）が、副知事を表敬訪問。
2013年 2月	農林水産部長らが韓国の住宅建材フェアを訪問し、トップセールスを実施。
7月	朴鎮雄駐福岡大韓民国総領事が来県、知事を表敬訪問。
2014年8月	韓国観光プロモーションをソウルで実施。
2015年8月	韓国観光プロモーションをソウルで実施。
2017年1月	金玉彩駐福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
10月	第19回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者1名を招聘。
2018年4月	孫鍾植駐福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2020年2月	北東アジア地域自治体連合（NEAR）事務総長金玉彩氏が来県し、企画振興部長表敬訪

	問。
2021年4月	李駐福岡総領事が知事を表敬訪問。
2022年4月	李駐福岡総領事が副知事を表敬訪問。
11月	釜山外国語大学 国際交流処長兼韓国語文化教育院長ほか2名が来県し、芸術文化短期大学理事長、国際総合学科長等と意見交換。
2023年6月	釜山外国語大学から総長ほか3名が大分県立芸術文化短期大学を訪問し、意見交換のうえ今後の交流を確認。
7月	朴駐福岡総領事が知事を表敬訪問。

●インドとの交流

2004年 9月	駐日インド大使が来県、知事を表敬訪問。
2005年 4月	在大阪神戸インド総領事が来県、副知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2007年 8月	国際協力銀行からの「インド・トリプラ州森林環境改善・貧困削減事業」に係る協力要請により、県職員2名をインド・トリプラ州に派遣し、現地調査と大分県の竹工芸・竹利用技術の紹介及びトリプラ州森林局と意見交換。
2017年 3月	T. アムストロング・チャングサン在大阪神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。
2023年7月	シビ・ジョージ駐日インド大使及びニキレーシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。
11月	パラムベリー・ムラーダランインド外務担当閣外大臣、ニキレーシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。

●インドネシア共和国との交流

2004年 4月	西スマトラ州パダン・バリアマン県ムスリム・カシム知事一行が来県、県内視察。
7月	インドネシア共和国バリ州ジェンブラナ県知事が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	ルキト・ディナルシャトオオ国家開発企画庁副長官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
10月	インドネシア商業省の一行(4名)が農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループを訪問し、きのこ研究施設を視察。
2015年10月	インドネシア中小企業組合省(団長：タウフィック大臣特別アドバイザー) 一校9名が来県、副知事表敬訪問、工科短期大学校ほかを視察。

●カンボジア王国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2007年 2月	政府統計局職員が地方統計の状況調査のため来県。
2020年 3月	ソック・トイ カンボジア王立学士院院長が来県、竹工芸産業会館等を視察。

●シンガポール共和国との交流

2005年10月	T V・ラジオ会社「メディアコープ社」オン・レイ・ホン編集長が来県、企画振興部長を訪問、大分県の現状についてインタビューを行う。
2006年 7月	タン・チン・ティオン大使一行が来県、知事を表敬。
2010年 8月	ホー・メン・キット外務省副次官(A P E C高級実務者)がA P E C成長戦略ハイレベ

	ル会合参加のため来県。 ヌール・ヤコブ A P E C 事務局長が、知事を表敬し、おもてなしや運営支援について感謝の意を伝える。
2012年 9月	シンガポールポリテクニークが、副知事を表敬訪問。

●スリランカ民主社会主義共和国との交流

2005年 6月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2022年 3月	駐日スリランカ大使館のグナセーカラ大使が知事を表敬訪問。

●タイ王国との交流

2003年 9月	タイ王国政府ソムキット副首相及びタイ王国全国県知事研修団一行が来県、知事を表敬訪問するとともに県内を視察。
10月	J I C Aタイ王国国別特設「地方自治体強化による持続的農業農村開発」研修コース研修生8名が来県。
2005年 3月	タイ王国内務省幹部が部長を表敬訪問。
5月	アンパワン・タイ国貿易センター福岡所長が来県。
8月	「北タイ及び東北タイにおける持続的農業開発のための地方自治体職員能力向上コース」団一行が来県、地域振興、市町村合併等を調査。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年 7月	タイ首相顧問一行が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2010年 3月	カセサート大学の一行(6名)が農林水産研究センター水産試験場で水産試験施設及び魚病対策施設を視察。
8月	ウィーラサック・フートラクーン駐日大使が来県、知事を表敬訪問。 アンポン・キッティアンポン国家経済社会開発庁長官が A P E C 成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2012年 7月	ウィーラサック・フートラクーン駐日大使が「平成24年7月九州北部豪雨」被害に対する義援金贈呈のため来県し、同大使より義援金400万円を知事へ贈呈。
2013年 6月	バムルンロード病院等の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県し、知事を表敬訪問。
8月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県タイプロモーションをバンコクで開催。
2014年 6月	国立ラチャウティ病院等医療技術者が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県し、知事を表敬訪問。
7月	タナティップ・ウパティシン駐日タイ王国大使が来県し、知事を表敬訪問。
8月	アナン・スワンナラット農業・協同組合省養蚕局長や11県の知事からなるタイ王国政府訪問団が来県し、知事を表敬訪問し懇談。
10月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県タイプロモーションをバンコクで開催。
2016年 2月	在京タイ王国大使館サリン公使が東九州メディカルバレー構想の取組をヒアリングするため来県。 バンコク病院の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県、副知事を表敬訪問。
12月	ジャイカ中小企業海外展開支援事業の採択を受けた大分市のシステム開発会社である(株)エイビスが製造販売している福祉機器「見まもりシステム」のタイでの福祉・保険医療向上に向けた導入実証と介護現場の実態調査のため、サムットサコーン県ベラポン公衆衛生局長ほか10名が太田副知事を表敬訪問し、県福祉保健部職員や大分大

	学医学部教授等との意見交換を行った。
2018年11月	アッタカーン・ウオンチャナマース在福岡タイ王国総領事が来県し、副知事を表敬訪問。
2019年11月	副知事及び県内企業等一行がバンコクを訪問し、大分県タイプロモーションを開催。
2023年 6月	ゾールット・スックターウオン在福岡タイ王国総領事が来県し、副知事を表敬訪問。

●ネパール王国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2015年 7月	マダン・クマール・バッタライ在日ネパール特命全権大使が来県し、副知事を表敬訪問。
2022年9月	駐日ネパール大使が知事を表敬訪問

●パキスタン・イスラム共和国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2014年 7月	ファルーク・アーミル駐日パキスタン・イスラム共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。
2018年5月	アサド・マジード・カーン駐日パキスタン・イスラム共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。

●バングラデシュ人民共和国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2017年11月	ラバブ・ファティマ駐日バングラデシュ大使が来県、知事を表敬訪問。

●フィリピン共和国との交流

2005年 2月	フィリピン共和国ムスリム・ミンダナオ自治区政府幹部等が来県、副知事を表敬訪問。
2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	マリア・ルーメン・イスレタ外務省国際経済関係担当次官上級特別補佐官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2023年 9月	在大阪フィリピン総領事館ヴォルテール・デラ・クルズ・マウリシオ総領事が来県し、知事を表敬訪問。

●ブルネイ・ダルサラーム国との交流

2004年 2月	モハメッド・ノール・ジャルディーン特命全権大使一行来県、知事表敬訪問するとともに県内視察。
2010年 8月	モハマド・ナズミ外務貿易省副次官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ベトナム社会主義共和国との交流

2005年 2月	トップマネージメントセミナー(総務省主催)により内務大臣一行が来県、知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2009年 6月	ブー・フィ・ムン在福岡ベトナム総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	グエン・カム・トゥー商工副大臣がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2011年 4月	グエン・フー・ビン駐日ベトナム特命全権大使、ブー・フィ・ムン駐福岡ベトナム総領事が、知事表敬訪問及び県内視察のため来県。
2012年 9月	ドアン・スアン・フン駐日ベトナム特命全権大使が着任のあいさつのため来県、知事を表敬訪問。
12月	ブー・フィ・ムン在福岡ベトナム総領事が、帰任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2013年 4月	ブイ・クオック・タイン在福岡ベトナム総領事が来県、知事を表敬訪問。
2016年 1月	ブイ・クオック・タイン在福岡ベトナム総領事が離任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
6月	グエン・フォン・ホン 在福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
7月	グエン・クオック・クオン駐日ベトナム大使が来県し、知事を表敬訪問。
10月	トゥエンクアン省ファン・ミン・ヒュアン主席一行が知事を表敬訪問し、県内を視察。
11月	クアンニン省人民評議会グエン・スアン・キー副議長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
12月	ジェットロの招聘により、ベトナム、トルコのキーパーソン(ベトナム保健省国際協力局副局長ほか4名)が来県し、副知事を表敬訪問したほか、大分大学医学部や大分ロボケアセンターを訪問し、意見交換を行った。
2018年5月	トゥエンクアン省共産党チャウ・バン・ラム書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
9月	県企画振興部観光・地域局長等がベトナムのトゥエンクアン省へ渡航し、文化遺産祭へ参加。
2019年 3月	グエン・フォン・ホン在福岡ベトナム総領事が離任あいさつのため来県、副知事を表敬訪問。
2019年 7月	ヴー・ビン在福岡総領事が就任あいさつのため来県し、知事を表敬訪問。
2019年 8月	トゥエンクアン省省人民評議会ファム・ティ・ミン・スアン副議長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
2019年 9月	ロンアン省人民評議会ファム・タン・ホア副議長一行が来県し、県企画振興部長を表敬訪問。
2019年11月	チャン・タイン・ナムベトナム農業農村開発省副大臣一行が来県し、知事を表敬訪問。
2022年10月	ベトナム国クアンガイ省、人民委員会ヴォー・フィエン副委員長ほか13名が大分県

	議会を表敬訪問。
2023年 2月	在福岡ベトナム領事館 ヴー・チ・マイ総領事が就任あいさつのため、議長を表敬訪問。
7月	在福岡ベトナム領事館 ヴー・チ・マイ総領事及びバックカン省フォン・ティ・タイン人民委員会委員長が来県し、吉田副知事を表敬訪問。
4月	ベトナム国クアンガイ省人民委員会常任副委員長（チャン・ホアン・トゥアン）一行6名が議長を表敬訪問。

●マレーシアとの交流

2006年10月	サスム・バハル・ハジ・アブドゥル・ラーマン マレーシア起業家・共同開発政務官が来県、副知事を表敬。
2007年12月	モハメッド・ラジ・ビン・アブドゥル・ラーマン駐日大使が来県、知事を表敬。
2010年 5月	マレーシア政府畜産庁一行(10名)が来県し、畜産研究施設を視察。
8月	サヌシ・アブド・カリム駐日経済参事官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2014年 6月	国立クアラルンプール病院の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県、知事を表敬訪問。
2018年 8月	マハティール・ビン・モハマッド マレーシア首相一行が来県、立命館アジア太平洋大学を訪問。

●ミャンマーとの交流

2014年10月	ヤンゴン経済大学のキンナインウー学長が同校と立命館アジア太平洋大学との協力協定締結を受け来県、副知事を表敬訪問。
2018年10月	カレン州政府農業灌漑大臣等が来県、副知事を表敬訪問。
2019年 7月	カレン州ナン・キン・トェ・ミイン首相一行が来県、知事を表敬訪問。

●モンゴル国との交流

2004年 4月	バヤンホンゴル県内首長等が来県、副知事を表敬。
2005年 1月	バヤンホンゴル県議会議員一行が来県、副知事を表敬訪問。
4月	フレルバータルモンゴル国外務省アジア局長一行が来県、知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2007年 1月	バヤンホンゴル県部長一行が副知事を表敬訪問。
2009年12月	レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル大使が来県、知事を表敬訪問。
2010年 2月	モンゴル研修生一行(4名)が農林水産研究センター畜産試験場で畜産技術について研修。
4月	ビャンバスレン・ラグヴァ地域開発国家委員会事務局長他14名の議会・行政関係者が地域開発を学ぶために来県、副知事を表敬訪問。
2011年 3月	ビャンバスレン・ラグヴァ地域開発国家委員会事務局長他9名の議会・行政関係者が地域開発を学ぶために来県、副知事を表敬訪問。
4月	レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル国大使が来県し、副知事を表敬。NPO法人大分県ベンチャー協議会主催の経済セミナーで講演。

6月	バヤンホンゴル総合生協学校民族舞踊チームが県内小学校等との交流のため来県、副知事を表敬訪問。
2012年 2月	フレルバータル駐日モンゴル国大使が来県、知事を表敬訪問。
10月	在大阪モンゴル国総領事が、知事を表敬訪問。
5月	フレルバータル駐日モンゴル国大使とドグミド・ソソルバラム大統領顧問が来県、知事を表敬訪問。
7月	ロブサンワンダン・ボルド モンゴル国外務大臣が来県、知事を表敬訪問。
8月	知事がモンゴル国を訪問し、アルタンホヤグ首相やソドノム モンゴル日本関係促進協会長（元首相）と会談したほか、大分・モンゴル交流フォーラムで記念講演を実施。
11月	ソノンピル モンゴル国エネルギー大臣が来県、知事を表敬訪問。
2015年 3月	ジャルガルサイハン政治・経済評論家が外務省の招聘にともない来日。県内で視察を行い、副知事を表敬訪問。
2016年11月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、副知事を表敬訪問。
2017年6月	フレルバータル駐日モンゴル国大使が来県、知事を表敬訪問。
2018年5月	ダンバダルジャー・バッチジャルガル駐日モンゴル国臨時代理大使一行が来県、知事を表敬訪問。
10月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、副知事を表敬訪問。
2023年9月	モンゴル-大分のチャーター便運航。
11月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、知事を表敬訪問。
12月	アルハンガイ県知事が来県、知事及び議長を表敬訪問。

●ラオス人民民主共和国との交流

2004年12月	ラオス人民民主共和国経済・投資委員会副委員長らが来県、副知事を表敬訪問。
2005年 4月	ラオス「参加型森林管理」コース研修員が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2013年 1月	おおいたシティハーフマラソン出場のラオス出身選手が、副知事を表敬訪問。

●ASEANとの交流

2005年10月	フィリピンほか6カ国の地域振興行政セミナー研修団一行が来県。産業科学技術センターを視察。
2006年12月	カンボジアほか3カ国の行政官一行が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2023年11月	別府市にて第21回ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合開催（厚生労働省主催）、ASEAN加盟国の行政官らが来県。

【北米】

●アメリカ合衆国との交流

2004年 7月	海軍第7艦隊駆逐艦マリン艦長が副知事を表敬訪問。
2005年 2月	在福岡アメリカ領事館首席領事が知事を表敬訪問。
2006年 3月	マンスフィールド研修第10期研修員一行が企画振興部審議監を表敬訪問。
2007年 2月	マンスフィールド研修第11期研修員一行が知事を表敬訪問。
6月	海軍第7艦隊イーグリス駆逐艦マーシャル・ブラウン艦長が副知事を表敬訪問。
10月	マルゴ・J・キャリントン在福岡領事館首席領事が知事を表敬訪問。
2010年 8月	カート・トン国務省経済調整官（東アジア・太平洋担当）（APEC担当大使）がAPEC

	C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
10月	第12回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者2名を招聘。
11月	ジェイソン・R・クーバス在福岡総領事館首席領事が着任挨拶のため、知事を表敬訪問。
2012年 1月	ジョン・V・ルース駐日大使一行が来県、知事を表敬訪問。
2013年10月	ユーリー・フェッジキフ在福岡米国領事館首席領事が来県、副知事を表敬訪問。
2014年 7月	知事がシリコンバレー（スタンフォード大学）で開催した米日カOUNシル知事会議に出席。関係6県（静岡県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、大分県）の知事がパネルディスカッションを行い、参加企業が米国の最新知識を有するリーダー等との情報交換を実施。
2015年 7月	「第25回日米草の根交流サミット2015・おおいた大会」を大分県で開催。
10月	在福岡米国領事館ホイトニー領事が来庁。商工労働部長を表敬訪問。その後、エネルギー政策及び東九州メディカルバレー構想の取組を説明。
2017年 2月	ジョイ・ミチコ・サクライ在福岡領事館首席領事が来県し、知事を表敬訪問。
5月	米日カOUNシル 日・ハワイ経済サミットへの参加のため、太田副知事、神崎副部長ほか県職員3名が米国ハワイ島を訪問。太田副知事はパネルディスカッションで登壇し、デビッド・イゲ ハワイ州知事等と会談。
9月	南加大分県人会100周年記念式典に安東副知事ほか県職員が出席。
2019年6月	ジョイ・ミチコ・サクライ在福岡領事館首席領事が離任挨拶のため、知事を表敬訪問。
8月	シリコンバレー（スタンフォード大学）で開催した米日カOUNシル知事会議に出席するため知事が訪問。関係6県（静岡県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、大分県）の知事がパネルディスカッションを行い、参加企業が米国の最新知識を有するリーダー等との情報交換を実施。併せて、大分県、SAPジャパン、SAP Academyと、災害対策高度化及びIT人材育成分野において相互協力協定を締結した。
2019年12月	ジョン・C・テイラー在福岡領事館首席領事が来県し、知事を表敬訪問。
2023年2月	チュカ・アシーケ在福岡領事館首席領事が来県し、知事、議長を表敬訪問。
7月	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科の「卒業研究」において、アメリカ合衆国・コロラドクリスチャン大学の学生（7名）と交流。
12月	大分県立芸術文化短期大学がアメリカ国立スミソニアン博物館学芸員Deutsch氏を招へいし、ミニアメリカ映画祭を開催。（受講者125名）

●カナダとの交流

2004年11月	アンドレア・クレメンツ領事が企画振興部長を表敬訪問。
2006年11月	アンドレア・クレメンツ駐日カナダ領事館領事兼通商団表が本県の「新エネルギー研究会」への参加希望の表明、カナダの太陽電池に関する有力企業PRのため商工労働部を訪問。
2010年 8月	ジョナサン・フリード駐日大使がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2024年2月	剣道カナダナショナルチームが、イタリアで開催予定の世界選手権の事前強化合宿を別府市で行うことに伴い、チーム関係者が知事を表敬訪問。

【中南米】

●アルゼンチン共和国との交流

2003年 6月	サルタ州副知事（ウォルテル ラウル ワイヤル）が来県、副知事を表敬訪問。
2006年 4月	ポルスキ駐日大使が来県、知事を表敬、アルゲリッチ音楽祭に参加。

●エクアドル共和国との交流

2006年 3月	アルバレス駐日特命全権大使が来県、知事を表敬、日本－エクアドル代表のサッカー国際試合を観戦。
----------	--

●キューバ共和国との交流

2017年 9月	キューバ国国立穀物研究所職員15名が、国東半島宇佐地域世界農業遺産の取組を学ぶため、田染荘や七島蘭学舎など国東半島地域を視察訪問。
----------	---

●コスタリカ共和国との交流

2010年 7月	コスタリカ企画経済政策省副大臣ほか中南米地域の国際協力担当行政官など19名（JICA）が竹工芸・訓練支援センターを視察訪問。
----------	--

●ジャマイカとの交流

2003年 6月	アール・カー駐日大使が知事を表敬訪問。
2019年 1月	リカルド・アリコック駐日特命全権大使が来県、知事を表敬訪問。

●チリ共和国との交流

2010年 7月	JICAチリ研修の一行(12名)が来庁し、研修。
8月	アルフィエ・ウジョア財務省国際関係局長がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ドミニカ共和国との交流

2004年10月	ヨシロ・ヤナイ代理大使が出納長を表敬訪問。
----------	-----------------------

●ニカラグア共和国との交流

2015年 6月	ニカラグア国家技術庁カリキュラム課一行3名が来県、商工労働部審議監表敬訪問、工科短期大学校ほか視察。
----------	--

●パラグアイ共和国との交流

2005年11月	田岡功駐日大使が来県、出納長を表敬訪問。
----------	----------------------

●ブラジル連邦共和国との交流

2005年12月	ブラジル大分県人会矢野副会長が来県。
2006年 6月	ブラジル大分県人会矢野副会長が来県、企画振興部長を表敬。
10月	ブラジル大分県人会理事が来県、知事を表敬。
2007年 4月	ブラジル大分県人会永松会長が来県、知事を表敬。
10月	知事を団長とする公式訪問団がブラジル訪問、大分県人会創立55周年式典に出席。
2008年 9月	ブラジル大分県人会国体訪問団来県。
2012年10月	ブラジル大分県人会創立60周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州知事等へ表敬訪問。
11月	ブラジル大分県人会永松顧問(元会長)が来県、副知事を表敬。
2013年 4月	ブラジル大分県人会矢野会長が来県、知事を表敬。
2014年 7月	ブラジル大分県人会玉田副会長が来県、副知事を表敬。
2015年11月	ブラジル大分県人会矢野会長が来県、知事を表敬。
2016年6月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事を表敬。
2017年10月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、議長を表敬。

2018年9月	ブラジル大分県人会創立65周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州政府等へ表敬訪問。
2019年10月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事を表敬。
2022年10月	ブラジル大分県人会創立70周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州政府等へ表敬訪問。
2023年11月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事・副知事を表敬。

●ベネズエラ・ボリバル共和国との交流

2008年10月	セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	------------------------------------

●ペルー共和国との交流

2010年 8月	フリオ・カルデナス駐日代理大使がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
----------	---

●メキシコ合衆国との交流

2010年 8月	ホルヘ・ルイス・ラバージェマウリ社会開発省生産機械局長がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
----------	---

【欧州】

●イタリアとの交流

2018年 6月	ルイーダ・ディオダーティ在大阪イタリア総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2023年 1月	ローマ大学大学院博士課程の学生ら3名が若手研究者研修講座のため来県、知事表敬訪問。
2024年2月	ローマ大学大学院博士課程の学生と教授ら5名が若手研究者研修講座のため来県、教育長表敬訪問。

●英国との交流

2015年 1月	マイケル・シアラー駐大阪英国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2017年12月	セーラ・ウテン駐日英国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2018年4月	中嶋竹春ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2018年6月	知事がウェールズを訪問し、マーク・ドレイクフォード財務大臣やウェールズラグビー協会等を表敬訪問し、ラグビーワールドカップに向けたPRを実施。
2019年2月	ロビン・ウォーカーウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2019年9月	マーク・ドレイクフォード ウェールズ政府首席大臣、ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表他2名が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、The Art of Wales展オープニングセレモニーに出席。
2019年10月	デービッド・アンダーソン ウェールズ国立博物館館長が来県し、知事を表敬訪問するとともに、講演会を実施。
2019年10月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、ウェールズラム肉の夕べを開催。
2020年1月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2020年11月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、大分・ウェールズ友好交流1stアニバーサリーに出席。
2022年3月	大分県と英国ウェールズ政府との間で「友好と相互協力に関する覚書」(MOU)を締結。キャロリン・デービッドソン在大阪英国総領事立ち合いのもと、知事とウェールズ政府のドレイクフォード首席大臣によるオンライン締結式を開催。

2022年10月	ジュリア・ロングボトム駐日英国大使、ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、MOU締結記念パネル展オープニングセレモニーに出席。
2023年8月	リチャード・小泉 ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。

●オーストリア共和国との交流

2018年 5月	フーベルト・ハイッス特命全権大使が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------

●オランダ王国との交流

2006年11月	ディルク ヤン・コップ在大阪・神戸オランダ総領事が来県、副知事を表敬、県内を視察。
2012年11月	在大阪・神戸オランダ総領事が、別府競輪「第13回オランダ王国皇太子杯」で皇太子杯を授与するために来県し、知事を表敬訪問。
2015年10月	駐日オランダ王国ラーディンク・ファン・フォレンホーヴェン特命全権大使が来県し、知事を表敬訪問。
2018年4月	ヘラルド・ミヘルス駐大阪・神戸総領事が来県し、知事を表敬訪問。

●カザフスタン共和国との交流

2006年11月	カザフスタン看護研修員が来県、病院等の実習施設を視察、日本の保健・医療システムと看護職の役割等を研修。
----------	---

●キルギス共和国との交流

2007年12月	ヌル・ウル・ドスボル副首相がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立境川小学校を訪問し、児童と交流。
----------	---

●コソボ共和国との交流

2012年 7月	サミ・ウケリ駐日コソボ共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------

●スイスとの交流

2014年 5月	ウルス・ブーヘル駐日スイス大使が別府アルゲリッチ音楽祭観覧のため来県、知事を表敬訪問するとともに音楽祭の懇親会に出席。
2018年5月	ジャン＝フランソワ・パロ駐日スイス大使が来県し、知事を表敬訪問。

●スロバキア共和国との交流

2005年10月	ペテル・ヴァルシヤンスキー駐日大使が来県、副知事を表敬。
2015年11月	ミハル・コットマン特命全権駐日大使が県立芸術文化短期大学公開講座のため来県、知事を表敬訪問。

●チェコ共和国との交流

2004年 3月	カレル・ジェブラコフスキー駐日大使が来県、知事を表敬訪問するとともにウインドアンサンブル荷揚定期演奏会を鑑賞。
4月	愛知万博チェコ共和国政府副代表団が来県、副知事を表敬。
2006年 3月	カレル駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
6月	駐日チェコ大使館 参事官、ジャズ音楽のエミール・ビクリツキートリオー一行が来県、芸術文化短期大学学長と懇談学生とのワークショップを開催。
2007年 2月	クラウスチェコ大統領、クラウソヴァー大統領夫人、シュワルツェンベルグ外務大臣等一行が来県、知事との懇談、APUの留学生等と意見を交換。

4月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、大分・チェコ友好協会設立総会出席のため来県、知事を表敬訪問。
2008年 8月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事を表敬訪問。
2009年 9月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2010年10月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2011年 5月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2012年 2月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2013年 6月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2014年 6月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2014年10月	東京オリンピック金メダリスト、ベラ・チャスラフスカ女史が「ベラ・チャスラフスカさんと語る夕べ」に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2015年6月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2015年11月	駐日チェコ大使館参事官が「チェコを語る夕べ」に出席、講演を行うため来県。
2016年12月	駐日チェコ大使館参事官が来県、「チェコを語る夕べ」に出席。
2017年11月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。
2018年5月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使とミラン・ルーチュカ ホドニン市長が「世界温泉地サミット」に出席、知事を表敬訪問。
2018年11月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。
2019年8月	安東副知事、原田日田市市長、大分チェコ協会がホドニン市を訪問。
2020年10月	マルチン・トムチョ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
2023年7月	マルチン・トムチョ駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事と懇談。

●ドイツ連邦共和国との交流

2004年10月	直入町・ドイツ・バートクロツィンゲン市交流15周年を記念して直入町がドイツに訪問団を派遣。知事の親書を託す。
11月	直入町・ドイツバートクロツィンゲン市交流15周年を記念して直入町で「炭酸泉と温泉フォーラム」を開催。出納長が来賓として出席。
12月	小泉首相とドイツシュレイダー首相が直入町のドイツワインで夕食会の際、乾杯を交わした。
2006年 3月	ドイツ学術交流会の「日本語学習と企業内研修」22期生一行が来県、県内企業を視察。
7月	ゲロルト・アメルンク大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事が来県、知事を表敬。
2020年11月	ドイツ大使館（武官キーゼヴェッター大佐ほか5名）が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、桜の記念植樹等を行うとともに、知事表敬訪問を行った。
2021年10月	ドイツ大使館（武官キーゼヴェッター大佐ほか2名）が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、別府大学での記念講演等を行うとともに、知事表敬訪問を行った。
2022年10月	クレーメンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ大使、武官キーゼヴェッター大佐が来県

	し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、別府大学での記念講演等を行うとともに、知事表敬訪問を行った。
2023年11月	武官ラルフ・ペルジケ大佐が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、知事表敬訪問を行った。

●バチカンとの交流

2014年 7月	ジョセフ・チェノットゥ駐日ローマ法王庁大使が岐部祭出席のため来県し、知事を表敬訪問。
2019年2月	知事がジョセフ・チェノットゥ駐日ローマ法王庁大使を表敬訪問。

●ハンガリーとの交流

2013年10月	イシュトヴァーン・セルダヘイ駐日ハンガリー大使が「大分県・ハンガリー友好の集い」で講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2018年5月	パラノビチ・ノルバート駐日大使が「世界温泉地サミット」に出席、知事を表敬訪問。
2018年11月	知事がパラノビチ・ノルバート駐日大使を表敬訪問。
2019年12月	知事がパラノビチ・ノルバート駐日大使を表敬訪問。
2023年7月	ハンガリー・アメリカ水球代表チームが、福岡県で開催される世界水泳選手権の事前合宿を大分市で行うことに伴い、パラノビチ・ノルバート駐日ハンガリー大使が知事を表敬訪問。

●フランス共和国との交流

2007年12月	ジルダ・ル・リデック駐日大使が大分香りの博物館開館記念行事(別府大学主催)に出席のため来県し、知事を表敬訪問。
2008年10月	アラン・ナウム在大阪・神戸総領事が来県、知事を表敬訪問。
2010年11月	フィリップ・フォール駐日大使が大分香りの博物館3周年記念事業(別府大学主催)で講演するため来県し、知事を表敬訪問。
2011年11月	フィリップ・ジャンヴィエ・カミヤマ在京都フランス総領事が来県、副知事を表敬訪問。
2018年7月	九州地域戦略会議でパリを訪問し、九州合同で観光セミナーやPRを実施。当県からは知事が出席。
2023年 3月	日欧地域間イノベーション協力のプログラムにてヴァルドワーズ県の代表が来県し、県内各所を視察、意見交換会実施。

●ベルギー王国との交流

2024年3月	アントワン・エヴラー駐日大使が県内経済関係者との交流のため来県し、知事を表敬訪問。
---------	---

●ボスニア・ヘルツェゴビナとの交流

2014年10月	スレブレニツァ市、ロガティツァ市、ブラトナツ市より行政官（8名）が地方振興・地方行政研修のため来県し、副知事を表敬訪問。
----------	--

●ルーマニアとの交流

2019年 5月	タティアナ・ヨシペル駐日大使がホストタウン訪問のため来県し、知事を表敬訪問。
----------	--

●ロシアとの交流

2005年 5月	アレクサンダ・ロシュコフ駐日大使が来県、副知事を表敬訪問。
2006年 8月	第8回国民芸術文化祭開幕行事に参加するロシア国立舞台アカデミアバレエ学部長のエフゲニー・P・バルーキン教授が来県、知事を表敬訪問。
9月	第8回国民芸術文化祭開幕行事「ラ・バヤデール」公演のため、バルーキン教授及びボリショイバレエ団来県、企画振興部長を表敬訪問。
2007年12月	アレキサンダ・セドフロシア国立美術館館長及びミハイルM. ベールイ駐日大使が「ロシア国立美術館所蔵 首藤コレクション展」のため来県、知事を表敬訪問。
2009年12月	ミハイルM. ベールイ駐日大使が「エルミタージュ美術館所蔵 エカテリーナ2世の晩餐会」のため来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	グレゴリー・サリシュブイリ経済発展省アジア・アフリカ局長がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 ロシア国立舞台芸術アカデミア・バレエ学部長が芸術文化短期大学長を表敬訪問し、バレエを通じての芸術文化活動について意見交換。県議会議長を訪問。
2010年 2月	ロシアボリショイバレエ劇場の指導者ほか2名が芸術文化短期大学長を表敬訪問。
2014年 5月	エヴゲーニー・ウラジーミロヴィッチ・アフアナシエフ駐日大使が首藤コレクション 顕彰大分県推進協議会総会で講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。

●EUとの交流

2003年 4月	欧州ビジネスマンが来県、出納長を表敬訪問。
6月	大分EU協会総会に出席のため、駐日欧州委員会代表部エティエンヌ・ロイター公使参事官・広報部部長が来県、企画文化部長を表敬訪問。
2004年 3月	欧州ビジネスマンが来県、出納長を表敬訪問。
7月	アン・コフォード駐日欧州委員会代表部広報副部長が企画振興部長を表敬訪問。
2005年 6月	シルビア・コフラ駐日欧州委員会代表部広報部長が企画振興部長を表敬訪問。
2007年 7月	ヒュー・リチャードソン駐日欧州委員会代表部大使が、大分EU協会総会で講演、知事を表敬訪問。
2012年 6月	大分EU協会総会に出席のため、ハンス・ディートマール シュヴァイスグート駐日欧州連合代表部大使が来県し、知事を表敬訪問。

【大洋州】

●オーストラリア連邦との交流

2010年 1月	ウェンディ・ホルデンソン在福岡オーストラリア総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
8月	ビル・ブラミット財務省国際・G20局長がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2013年 4月	トーマス・イエイツ在福岡オーストラリア総領事が来県、知事を表敬訪問。
5月	ブルース・ミラー駐日オーストラリア大使が来県、知事を表敬訪問。
2018年3月	リチャード・コート駐日オーストラリア大使が来県、知事を表敬訪問。
4月	クレア・ウォルシュ駐日オーストラリア首席公使、イアン・ブレイジア在福岡オーストラリア総領事が来県、県参事、企画振興部長を表敬訪問。

●サモア独立国との交流

2016年 6月	ラブチャー・パガイアリイ参事官がトンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使、フィジー共和国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●トンガ王国との交流

2016年 6月	タニア・トゥポウ駐日大使がマーシャル諸島共和国駐日大使、フィジー共和国参事官、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●ニュージーランドとの交流

2004年 8月	ロトルア市長が来県、知事を表敬訪問。
2005年11月	ジョン・マッカーサー駐日大使が来県、出納長を表敬訪問。
2006年 5月	ホール前ロトルア市長が来県、知事を表敬訪問。
2009年 1月	西謙二大分県ニュージーランド友好協会会長がニュージーランド・メリット勲章名誉五等勲士を授与される。
5月	イアン・フォーブス・ケネディー駐日ニュージーランド大使が、西友好協会長の勲章記念祝賀会に参加するため来県し、知事を表敬訪問。
2010年 8月	マーク・ピアソン駐日公使がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2017年10月	ステイーブン・ペイトン駐日ニュージーランド大使がRWC2019大分開催2年前イベント参加のため来県、知事を表敬訪問。
2019年10月	ヘイミッシュ・ネヴィル・フランシス・クーパー大使が着任挨拶及びRWC2019大分開催関係者訪問のため来県、知事を表敬訪問。

●パプアニューギニア独立国との交流

2005年12月	駐日パプアニューギニア大使が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2010年 8月	マシユ・ドリユウェイ駐日参事官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●パラオ共和国との交流

2005年12月	パラオ共和国トミー・レメンゲサウ大統領が来県、知事を表敬訪問。
----------	---------------------------------

●フィジー共和国

2013年 9月	イシケリ・マタイトガ駐日フィジー共和国大使が来県、知事を表敬訪問。
2015年10月	在別府フィジー共和国名誉領事に河村眞實氏が就任。
2016年 6月	ジュリア・コロボウ参事官がトンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
2023年 7月	駐日フィジー共和国大使館フィリモネ・ワガバザ 大使来県、知事を表敬訪問。

●マーシャル諸島との交流

2007年12月	フィリップ・ケラミン・カブア駐日大使がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立南小学校を訪問し、児童と交流。
2016年 6月	トーマス・D・キチナー駐日大使がトンガ王国駐日大使、フィジー共和国参事官、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。

●ミクロネシア連邦との交流

2007年12月	エマニュエル・モリ大統領がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立亀川小学校を訪問し、児童と交流。
----------	--

【中東】

●イスラエルとの交流

2008年 3月	ニシム・ベンシトリット駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	-----------------------------

●イラン・イスラム共和国との交流

2011年 1月	イラン国森林・装置管理プロジェクトＣＰ研修の一行(6名)が来庁(家畜衛生飼料室)し、畜産振興への取組について研修。
----------	---

●トルコ共和国との交流

2011年 1月	JICAトルコ研修員(林業関係の公務員技術者)22名が竹工芸・訓練支援センターを視察訪問。
2月	トルコ国チョルフ川流域修復・統合管理プロジェクト研修の一行(28名)が農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループを訪問し、きのこ研究施設を視察。
2013年 3月	トルコ共和国ゾングルダック県コズル市長が知事を表敬訪問し、地震被災者救援活動中に亡くなった宮崎淳氏の功績をたたえた氏の銅像建設について報告。

●バングラデシュ人民共和国との交流

2017年 9月	ラバブ・ファティマ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	---------------------------

【アフリカ】

●エチオピア連邦民主共和国との交流

2006年12月	外務担当大臣、駐日エチオピア大使が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
----------	--------------------------------------

●カメルーン共和国との交流

2007年 8月	エジョアスポーツ体育省大臣及びエソンバ駐日臨時大使代理が、サッカー「キリンチャレンジカップ」のため来県、知事を表敬訪問。
2008年12月	ピエール・ンジェンゲ駐日大使が着任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2017年 8月	大分ーカメルーン共和国友好協会設立。
2017年 8月	レイモンド・カムガ臨時大使が副知事を表敬訪問。大分ーカメルーン共和国友好協会の設立を報告。
2018年 5月	ピエール・ゼンゲ駐日大使がカメルーンナショナルデー、カメルーン文化紹介展示会の大分開催のため来県、知事を表敬訪問。
2018年11月	カメルーン企業団が来県、副知事を表敬訪問。
2019年 6月	ピエール・ゼンゲ駐日大使・カメルーン企業団代表が、県内企業とのビジネスミーティングのため来県、知事を表敬訪問。

●ジンバブエ共和国との交流

2005年 6月	スチュアート・ハロルド・ゴンバーバッチ駐日特命全権大使が来県、出納長を表敬訪問。
----------	--

●タンザニアとの交流

2013年11月	「タンザニア地方政府改革プログラム」研修員が来県、副知事を表敬訪問。
2016年11月	「タンザニア地方政府改革プログラム」研修員が来県、熊本地震の義援金を贈呈。

●チュニジア共和国との交流

2004年 7月	モハメド・ジュイニ国際協力開発大臣が知事を表敬訪問。
2006年10月	J I C Aチュニジア研修団一行が来県産業科学技術センターを視察。

●ボツワナ共和国との交流

2004年10月	オテン・ジェナモ・テバベ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
2013年11月	ジェイコブ・ディキエ・ンカテ駐日ボツワナ共和国大使が来県、副知事を表敬訪問。

●マラウイ共和国との交流

2003年 9月	マラウイ共和国バキリ・ムルジ大統領一行が来県、知事と会見するとともに県内を視察。
2004年11月	マラウイ共和国外務次官が来県、出納長を表敬訪問。
2005年 8月	ルーズベルト・ラストン・ゴンドゥエ駐日マラウイ共和国特命全権大使が来県、知事を表敬訪問。

●南アフリカ共和国との交流

2008年10月	ボールドウィン・シポ・ングバネ駐日大使、クワズール・ナタール州健康局長一行が地域医療支援調査のため来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●ケニア共和国との交流

2014年 8月	ケニア共和国地方政府幹部15名が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
----------	----------------------------------

15 多様な分野での国際交流の状況

① 芸術・文化交流

県民の芸術鑑賞機会の充実を図り、芸術文化活動を更に促進するため、国際的な催事を実施している。

・別府アルゲリッチ音楽祭（企画振興部芸術文化振興課）

平成10年から、世界最高峰の音楽家の招へい等により優れたクラシック音楽を享受する機会を県民に提供するとともに、海外からも鑑賞のために来県する方がいるなど、日本を代表する国際音楽祭との高い評価を受けており、大分から全国・世界に向けた芸術文化の情報発信を行っている。

事業主体：公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

内 容：世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチを総監督に世界から一流の演奏家や大分県出身の若手演奏家等を招いた音楽祭を開催

別府アルゲリッチ音楽祭における海外出演者（単位：人）

回	出身国数	人数
第1回（H10）	7か国	8
第2回（H11）	6か国	7
第3回（H13）	11か国	17
第4回（H14）	7か国	7
第5回（H15）	7か国	10
第6回（H16）	9か国	9
第7回（H17）	8か国	10
第8回（H18）	4か国	7
第9回（H19）	5か国	6
第10回（H20）	3か国	4
第11回（H21）	6か国	8
第12回（H22）	5か国	7
第13回（H23）	4か国	14
第14回（H24）	5か国	5
第15回（H25）	6か国	6
第16回（H26）	6か国	6
第17回（H27）	4か国	4
第18回（H28）	3か国	3
第19回（H29）	5か国	10
第20回（H30）	10か国	11
第21回（H31）	7か国	11
第22回（R2）	—	—
第23回（R3）	—	—
第24回（R4）	5か国	5
第25回（R5）	5か国	5

※第22回（R2）・第23回（R3）は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

・大分アジア彫刻展（企画振興部芸術文化振興課）

平成4年から、ビエンナーレ（2年に1回）で開催。近代日本彫塑の基礎を築き、東京美術学校や「朝倉塾」で後進の育成に努めた本県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門としての才能の発掘及び国際公募展を豊後大野市と共同で開催している。

事業主体：大分県、豊後大野市、大分アジア彫刻展実行委員会

内 容：国内大学や美術館、海外美術館等の協力のもと、作品を公募。開会式やレセプション等には、海外受賞者も参加し、地元市民と交流を深めている。

大分アジア彫刻展応募者

(単位：人)

回	募集対象国	応募者数
第1回 (H4～5)	日本、韓国	145
第2回 (H6～7)	日本、韓国、マレーシア	219
第3回 (H8～9)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン	248
第4回 (H10)	作家5人による竹を素材にした滞在制作	—
第5回 (H11～12)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン、中国	353
第6回 (H13～14)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン、中国	355
第7回 (H15～16)	アジア全域	418
第8回 (H17～18)	アジア全域	459
第9回 (H19～20)	アジア全域	311
第10回 (H21～22)	アジア全域	431
第11回 (H23～24)	アジア全域	246
第12回 (H25～26)	アジア全域	262
第13回 (H27～28)	アジア全域	411
第14回 (H29～30)	アジア全域	318
第15回 (R1～R2)	アジア全域	311
第16回 (R3～R4)	アジア全域	172
第17回 (R3～R4)	アジア全域	209

・ 青少年の芸術・文化交流（教育庁文化課）

年 度	事 業 名
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第8回高校生日韓文化活動交流 ・ 中国歴代王朝展 ・ バウハウス・デザイン展 ・ 首藤コレクション プレゼンテーションとパネルディスカッション
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第9回高校生日韓文化活動交流 ・ 北京故宫博物院展 ・ 世界ナスカ展
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第10回高校生日韓文化活動交流 ・ ロシア国立東洋美術館所蔵「首藤コレクション展」 ・ 20世紀の巨匠ルオー「ミセーレ」の世界展 ・ 美術鑑賞講座「インド美術紀行」
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第11回高校生日韓文化活動交流 ・ 没後50年モーリス・ド・ヴラマンク展 ・ セルビアのナイーヴ・アート展 ・ 吉村作治の新発見！エジプト展
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第12回高校生日韓文化活動交流 ・ エルミタージュ美術館所蔵「エカテリーナ2世の晩餐会」
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第13回高校生日韓文化活動交流 ・ 世界遺産アンコールワット展
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第14回高校生日韓文化活動交流
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第15回高校生日韓文化活動交流
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第16回高校生日韓文化活動交流
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第17回高校生日韓文化活動交流
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第18回高校生日韓文化活動交流
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第19回高校生日韓文化活動交流
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第20回高校生日韓文化活動交流
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第21回高校生日韓文化活動交流
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第22回高校生日韓文化活動交流（中止）

令和2年度	・第23回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和3年度	・第24回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和4年度	・第25回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和5年度	・第26回高校生日韓文化活動交流（中止）

②スポーツ交流

・日独スポーツ少年団交流事業（教育庁体育保健課）

（公財）日本スポーツ協会が実施する本事業を大分県スポーツ協会が受託し、スポーツ少年団の指導者及びリーダーをドイツへ派遣するとともに、ドイツ・スポーツ・ユースを迎えて、指導者、リーダー及び団員の交流を行い、両国の友好親善を図る。

（県スポーツ協会）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
派遣	人数	1人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	中止	中止	中止	2人
	期間	18日				19日						
受入	人数	9人	9人	9人	8人	9人	8人	8人	中止	中止	中止	5人
	期間	5日				3日※						

※台風のため5日→3日に短縮

・高校生日韓スポーツ活動交流事業

本県高校生のスポーツ活動を充実・発展させるため、本県と大韓民国忠清南道の高校生のスポーツ交流（隔年で派遣・招へい）を行い、日韓友好の心情を培い、相互理解を深めるとともに両国のスポーツ活動の振興に寄与した。

（体育保健課）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
派遣	人数	—	—	中止	—	20人	—	中止	中止	中止	中止	中止
	期間	—	—		—	4日	—					
受入	人数	—	25人	—	中止	—	20人	中止	中止	中止	中止	中止
	期間	—	4日	—		—	4日					

※R2～R4は新型コロナウイルス感染症の影響による中止

※R5は社会情勢の影響による中止

・大分国際車いすマラソン大会

国内及び外国・地域の身体障がい者が車いすマラソンを通じて、社会に参加する意欲を高めるとともに、県民の身体障がい者に対する理解を深めることを目的として開催している。（障害者社会参加推進室）

大分国際車いすマラソン大会開催状況（出走者数）

		2013年 第33回	2014年 第34回	2015年 第35回	2016年 第36回	2017年 第37回	2018年 第38回	2019年 第39回	2020年 —	2021年 第40回	2022年 第41回	2023年 第42回
外国・地域	教	15	13	14	14	15	15	17	—	3	12	15
	選手人数	47	42	42	44	55	45	48	—	4	25	45
日本	都道府県	33	32	32	31	31	29	29	23	26	30	29
	選手人数	200	191	190	186	169	178	162	99	127	133	145
選手人数合計		247	233	232	230	224	223	210	99	131	158	190

※第37回大会はレース中止により受付数を掲載

※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、国内選手限定の「大分車いすマラソン2020」を開催したため、外国選手の参加実績なし

③教育・学術交流等

・高校生の海外留学等

高校生の受入れ、派遣については、AFS、YFUやロータリークラブ、ライオンズクラブ等の仲介による交換留学が中心である。なお、県内の公立高校の留学生について見ると、特に英語圏との留学交流が盛んである。(高校教育課)

* 海外留学状況 (公立高校生)

留 学 先	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	2年	3年	4年
アメリカ	13	9	4		5	3	3	3	5	1	1		3	2	1	1
カナダ	3	3	1			1	1			1	2	1	2		2	1
オーストラリア	6	5	1						1							1
ニュージーランド	2	14					1		1	1						1
イギリス		4	6													
コスタリカ	1															
ドイツ												1	1	2	1	1
ブラジル																
ハンガリー																
フィリピン																
フランス		1	1									1	1	1		
タイ																
中国		2														
インドネシア																
カンボジア	1	1														
オランダ						1										
フィンランド								1								1
スイス								1				1				
イタリア									1		1	1				
チェコ												1				
韓国												1				
計	26人	39人	13人	—	5人	5人	5人	5人	8人	3人	5人	6人	7人	4人	4人	11人

* 外国人留学生受入状況 (公立高校)

国 籍	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年	2年	3年	4年
カナダ																1
ドイツ	2											2				1
フランス		1										1	1			
フィリピン																
フィンランド			1													
スウェーデン																
ノルウェー					1	1		1								
タイ		1	1		1			1	1	1	1		1			
インドネシア					1											
チリ	1															
スイス			1													
マレーシア		1														
シンガポール																
ベトナム																
ボリビア																
アルゼンチン																
カンボジア																
ラオス																
コスタリカ	1															
メキシコ	1				1											
ブラジル							1			1						
アメリカ	2	1	3		1	1	1				1	3				
中国		1	1						1							
オーストラリア			1			1				1						
オーストリア					1											
チェコ						1	1						1			
ペルー										1						
グアテマラ											1					
計	7人	6人	8人	—	6人	4人	3人	2人	2人	4人	3人	6人	3人	0人	0人	2人

・教職員の海外派遣

優秀な教員を対象として諸外国の教育、文化及び社会等の諸事情を視察させる短期派遣を実施したほか、日本人学校などの在外教育施設への教員派遣や、マレーシア政府派遣留学生に対する予備教育派遣、スポーツ競技力向上のためのトップコーチ派遣を実施した。

(教育人事課) (トップコーチ派遣：体育保健課)

教員海外派遣者数 (人)

年度	短期派遣	長期派遣	若手派遣	日米国民交流	在外教育施設への教員派遣	マレーシア政府派遣留学生予備教育派遣	トップコーチ派遣	派遣者合計
H16	-	-	-	-	13	2	2	17
H17	3	1	-	-	15	0	2	21
H18	4	1	-	-	16	1	2	24
H19	3	-	-	-	17	3	3	26
H20	3	-	-	-	20	3	3	29
H21	3	-	-	-	22	2	2	29
H22	3	-	-	-	22	1	1	27
H23	3	-	-	-	20	2	2	27
H24	3	-	-	-	16	1	2	22
H25	0	-	-	-	13	0	2	15
H26	0	-	1	-	12	0	2	15
H27	0	-	-	-	8	0	2	10
H28	0	-	-	-	9	0	2	11
H29	0	-	-	-	7	0	-	7
H30	0	-	-	-	8	0	-	8
R 1	0	-	-	-	8	1	-	9
R 2	0	-	-	-	8	1	-	9
R 3	0	-	-	-	4	0	-	4
R 4	0	-	-	-	3	0	-	3
R 5	0	-	-	-	1	0	-	1

④青少年交流

訪日教育旅行に伴う学校交流等

中国や台湾など海外からの教育旅行団が県内学校等を訪問し、双方の児童生徒が様々な交流を行った。学校交流は、未来を担う若い世代が異文化相互理解を深めて国際感覚を養う良い機会となっている。

※訪日教育旅行については、国・地域によって様々な実施形態がある。日本の修学旅行とは異なり、希望者を集めた団体旅行であることが多く、規模も数名から数十名程度で、学校ではなく青少年団体が主催となる場合もあるなど、必ずしも学校行事の一環として実施されるものではない。

年度		R1		R2		R3		R4		R5	
国・地域	団体内訳	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
中国	大学	5	40	0	0	0	0	0	0	1	38
	高校	0	0	0	0	0	0	0	0	4	36
	中学校	4	75	0	0	0	0	0	0	3	79
	小学校	4	109	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14	249	0	0	0	0	0	0	8	153
韓国	大学	7	55	0	0	0	0	2	22	4	22
	高校	1	20	0	0	0	0	0	0	4	48
	中学校	0	0	0	0	0	0	1	5	1	22
	小学校	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	21	0	0	0	0	1	6	0	0
	小計	11	113	0	0	0	0	4	33	9	92
台湾	大学	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校	14	337	0	0	0	0	1	4	6	237
	中学校	1	21	0	0	0	0	0	0	2	47
	小学校	1	20	0	0	0	0	0	0	2	75
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	17	390	0	0	0	0	1	4	10	359
タイ	大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校	5	78	0	0	0	0	2	30	3	82
	中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5	78	0	0	0	0	2	30	3	82
その他	大学	4	59	0	0	0	0	2	48	6	70
	高校	16	331	0	0	0	0	0	0	4	31
	中学校	2	54	0	0	0	0	0	0	2	32
	小学校	1	38	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	3	18	0	0	0	0	0	0	15	143
	小計	26	500	0	0	0	0	2	48	27	276
合計	大学	17	166	0	0	0	0	4	70	11	130
	高校	36	766	0	0	0	0	3	34	21	434
	中学校	7	150	0	0	0	0	1	5	8	180
	小学校	7	184	0	0	0	0	0	0	2	75
	その他	6	64	0	0	0	0	1	6	15	143
	計	73	1330	0	0	0	0	9	115	57	962

国際協力・国際貢献の状況

16 独立行政法人 国際協力機構（JICA）事業の状況

「JICAボランティア事業」は、日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣される。

活動分野は農林水産、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政など多岐にわたり、自分の持っている知識、技術、経験などを生かせるのがJICAボランティアの特徴である。

（国際政策課）

JICAボランティア派遣実績（令和5年10月末現在、大分県出身者のみ）

青年海外協力隊	累計555人、77カ国	昭和40年以降
シニア海外ボランティア	累計56人、31カ国	
日系社会青年ボランティア	累計11人、4カ国	昭和61年以降
日系社会シニアボランティア	累計4人、2カ国	

青年海外協力隊

アジア		アフリカ	
インドネシア	4	マリ	1
マレーシア	22	モザンビーク	4
フィリピン	30	ニジェール	7
タイ	9	ルワンダ	6
カンボジア	4	セネガル	15
ラオス	15	小計 23カ国	172人
ベトナム	3	北米中南米	
中国	14	ベリーズ	2
モンゴル	6	コスタリカ	8
ブータン	11	ドミニカ共和国	8
バングラデシュ	17	エルサルバドル	4
インド	6	グアテマラ	8
モルディブ	3	ホンジュラス	15
ネパール	11	ジャマイカ	8
スリランカ	8	メキシコ	2
キルギス	2	ニカラグア	16
ウズベキスタン	2	パナマ	4
小計 17カ国	167人	セントルシア	1
中東		セントビンセント	1
ヨルダン	8	ボリビア	21
イエメン	1	チリ	3
エジプト	2	コロンビア	1
モロッコ	7	エクアドル	9
チュニジア	3	パラグアイ	19
小計 5カ国	21人	ペルー	14
アフリカ		ベネズエラ	2
ボツワナ	2	小計 19カ国	146人
エチオピア	4	大洋州	
ガーナ	21	フィジー	9
ケニア	12	マーシャル	2
リベリア	1	ミクロネシア	2
マラウイ	24	パプアニューギニア	4
ナミビア	2	ソロモン	1
ウガンダ	5	トンガ	5
タンザニア	22	バヌアツ	2
ザンビア	18	サモア	8
ジンバブエ	5	パラオ	5
ベナン	6	小計 9カ国	38人
ブルキナファソ	6	欧州	
カメルーン	3	ブルガリア	6
コートジボワール	1	ルーマニア	3
ジブチ	3	ハンガリー	1
ガボン	1	ポーランド	1
マダガスカル	3	小計 4カ国	11人
		累計 77カ国	555人

シニア海外ボランティア

インドネシア	1
マレーシア	5
カンボジア	1
ラオス	3
ベトナム	3
モンゴル	1
ブータン	1
スリランカ	1
ウズベキスタン	2
ジョージア	1
ヨルダン	2
チュニジア	2
エチオピア	2
コスタリカ	3
ドミニカ共和国	1
グアテマラ	1
メキシコ	1
パナマ	3
セントルシア	1
アルゼンチン	3
ボリビア	1
チリ	2
エクアドル	1
パラグアイ	4
ペルー	1
マーシャル	2
ミクロネシア	1
パプアニューギニア	2
トンガ	1
サモア	2
パラオ	1
累計 31カ国	56人

日系社会青年ボランティア

メキシコ	1
アルゼンチン	2
ブラジル	5
パラグアイ	3
累計 4カ国	11人

日系社会シニアボランティア

アルゼンチン	1
ブラジル	3
累計 2カ国	4人

（単位：人）

青年海外協力隊(現在派遣中)

アフリカ	
ガーナ	2
ケニア	1
ジブチ	1
小計 3カ国	4
北米中南米	
ベリーズ	1
ボリビア	1
小計 2カ国	2
大洋州	
ソロモン	1
パラオ	1
小計 2カ国	2
合計 7カ国	8

(単位:人)

シニア海外ボランティア(現在派遣中)

アジア	
マレーシア	1
ラオス	1
ジョージア	1
小計 3カ国	3
大洋州	
マーシャル	1
小計 1カ国	1
合計 4カ国	4

(単位:人)

令和5年10月末現在

産業・経済交流の状況

17 貿易の状況

令和5年の本県の貿易額は、通関実績（確々報値）によると、輸出9,950億円（前年比109.7%、約876億円増）、輸入20,315億円（対前年比85.2%、約3,533億円減）となっている。

（門司税関貿易統計より）

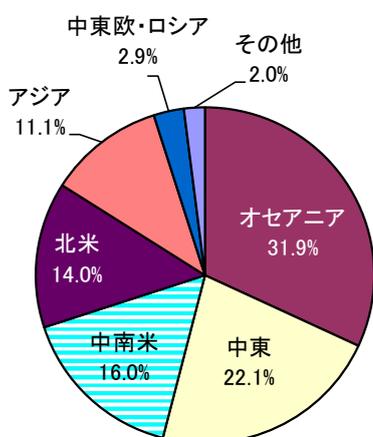
	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
輸出額	995,022	907,378	859,139	603,417	742,144
輸入額	2,031,591	2,384,857	1,467,090	972,972	1,166,395

（百万円）

① 輸入

地域別輸入額構成割合

令和5年輸入額 20,315億9,100万円

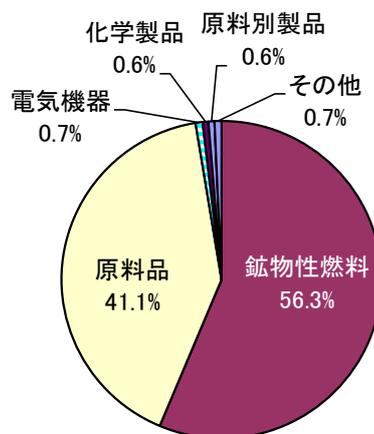


輸入上位5カ国

- ①オーストラリア
- ②アラブ首長国連邦
- ③カナダ
- ④チリ
- ⑤サウジアラビア

品目別輸入構成割合

令和5年輸入額 20,315億9,100万円



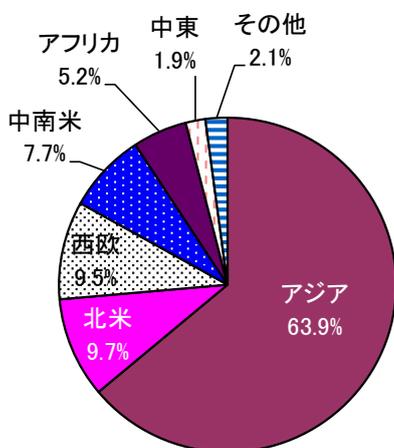
輸入上位5品目

- ①非鉄金属鉱
- ②石炭
- ③鉄鉱石
- ④原油及び粗油
- ⑤石油製品

② 輸出

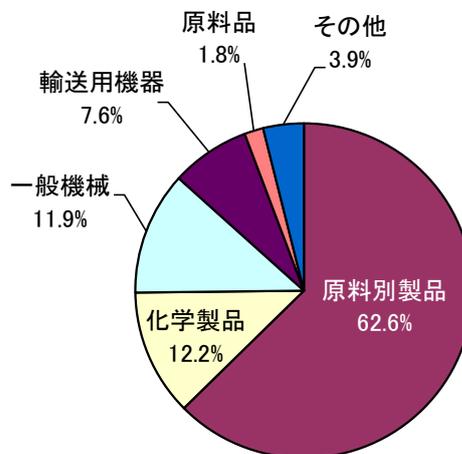
地域別輸出額構成割合

令和5年輸出額 9,950億2,200万円



品目別輸出構成割合

令和5年輸出額 9,950億2,200万円



輸出上位10カ国(最近10年)

(百万円)

年順位	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1	中国 180,553	中国 174,538	中国 137,817	中国 159,438	中国 179,286	中国 157,296	中国 147,073	中国 175,531	中国 167,459	中国 192,293
2	韓国 119,296	韓国 80,617	韓国 66,862	アメリカ 88,800	アメリカ 89,323	アメリカ 77,613	アメリカ 56,591	タイ 119,554	タイ 120,825	タイ 110,995
3	タイ 78,973	オランダ 70,100	オランダ 59,793	韓国 82,341	オランダ 83,636	韓国 69,735	韓国 50,972	韓国 73,359	韓国 98,065	韓国 104,919
4	オランダ 65,475	タイ 54,570	アメリカ 57,808	オランダ 70,049	タイ 71,605	オランダ 57,246	タイ 39,724	アメリカ 70,112	アメリカ 67,056	アメリカ 95,858
5	アメリカ 47,239	アメリカ 43,443	タイ 43,779	タイ 61,367	韓国 66,649	タイ 51,830	オランダ 37,135	台湾 44,778	台湾 56,557	台湾 67,608
6	パナマ 35,269	台湾 29,076	台湾 28,918	台湾 37,819	台湾 45,059	インド 49,261	台湾 30,385	オランダ 39,079	イタリア 29,247	インド 36,644
7	台湾 26,690	パナマ 24,219	パナマ 16,014	パナマ 26,890	パナマ 43,945	台湾 37,944	ベトナム 24,047	インドネシア 22,222	インドネシア 27,136	オランダ 28,493
8	シンガポール 20,610	メキシコ 20,310	インドネシア 15,834	シンガポール 24,879	シンガポール 32,336	パナマ 30,650	パナマ 23,789	ベトナム 19,509	オランダ 26,769	マレーシア 26,892
9	インドネシア 17,242	インドネシア 20,011	シンガポール 15,577	ベトナム 20,351	インド 30,032	シンガポール 21,076	インド 15,372	パナマ 18,317	シンガポール 24,415	シンガポール 25,713
10	サウジアラビア 15,535	サウジアラビア 16,863	マレーシア 15,561	マレーシア 17,647	ベトナム 22,391	ベトナム 18,126	シンガポール 13,976	メキシコ 16,294	ベトナム 23,414	パナマ 23,268

輸出上位10品目(最近10年)

(百万円)

年順位	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1	鉄鋼 250,622	鉄鋼 231,893	鉄鋼 177,808	鉄鋼 218,748	鉄鋼 233,854	鉄鋼 223,689	鉄鋼 207,426	鉄鋼 387,872	鉄鋼 407,133	鉄鋼 397,399
2	有機化合物 119,789	有機化合物 116,676	銅及び同合金 90,819	事務用機器 111,719	銅及び同合金 124,382	銅及び同合金 117,901	銅及び同合金 125,088	銅及び同合金 163,383	銅及び同合金 161,763	銅及び同合金 207,697
3	銅及び同合金 115,600	銅及び同合金 102,888	事務用機器 89,274	有機化合物 102,988	映像機器 112,393	有機化合物 113,984	事務用機器 84,983	事務用機器 94,219	有機化合物 83,116	有機化合物 105,859
4	事務用機器 90,091	事務用機器 88,879	有機化合物 81,658	銅及び同合金 92,382	事務用機器 108,028	事務用機器 95,622	有機化合物 62,636	有機化合物 65,788	事務用機器 81,180	事務用機器 94,381
5	船舶 49,785	船舶 56,964	船舶 65,828	船舶 67,225	有機化合物 94,470	映像機器 55,683	船舶 54,727	船舶 50,472	船舶 66,347	船舶 75,519
6	映像機器 28,159	映像機器 22,845	映像機器 20,930	映像機器 61,280	船舶 64,017	船舶 52,053	荷役機械 10,562	荷役機械 19,374	石油製品 16,740	荷役機械 22,887
7	プラスチック 13,281	石油製品 19,122	荷役機械 17,052	石油製品 18,881	荷役機械 13,697	荷役機械 16,250	映像機器 8,500	セメント 9,507	荷役機械 13,616	映像機器 14,645
8	荷役機械 12,137	荷役機械 15,987	セメント 9,604	荷役機械 14,700	石油製品 11,948	石油製品 9,981	セメント 8,082	合成ゴム 8,064	セメント 12,962	セメント 11,429
9	合成ゴム 8,811	プラスチック 11,051	石油製品 8,798	合成ゴム 9,573	合成ゴム 8,381	合成ゴム 8,236	合成ゴム 6,408	プラスチック 7,076	無機化合物 12,552	石油製品 10,551
10	セメント 6,748	セメント 8,651	プラスチック 8,561	プラスチック 9,093	プラスチック 7,491	プラスチック 6,145	プラスチック 5,285	石油製品 6,053	合成ゴム 9,102	合成ゴム 9,412

③ 国際見本市への参加

県内優良中小企業の製品紹介や県内特産品の紹介、宣伝及び海外市場開拓を目的に国際見本市等へ参加している。

(商業・サービス業振興課)

事業名	実施期間	開催場所	出展品目数
ANUGA 2009	平成21年10月10日～14日	ドイツケルンメッセ	6社10品目
SIAL 2010	平成22年10月17日～21日	フランスパリ	2社2品目
KOREA FOOD EXPO 2011	平成23年11月9日～12日	韓国ソウル COEX	3社13品目
2012 日本商品直送in中国	平成24年3月2日～4日	上海展覽センター	4社22品目
香港 FOOD EXPO 2012	平成24年8月16日～18日	香港コンベンション&エキシビションセンター	8社10品目
KOREA FOOD WEEK 2012	平成24年11月6日～9日	韓国ソウル COEX	2社9品目
第10回日本商品直送in大上海	平成25年1月16日～20日	上海市メトロシティ	9社26品目
大分県産酒輸出プロモーションin韓国・ソウル	平成25年3月12日～13日	韓国ソウル COEX ほか	2社10品目
日本の観光・物産博2013	平成25年5月17日～19日	台北駅	5社6品目
香港 FOOD EXPO 2013	平成25年8月15日～17日	香港コンベンション&エキシビションセンター	6社14品目
シンガポール「大分県銘品」フェア	平成25年10月4日～8日	リャンコート ショッピングセンター	2社201品目
FHC CHINA 2013	平成25年11月13日～15日	上海新国際博覧中心	7社12品目
ユニー香港「日本食品祭」	平成26年5月8日～12日	香港ユニー太古城店	8社36品目
マカオ ニューヤオハン「日本食品フェア」	平成26年7月28日～8月10日	マカオ ニューヤオハン	7社70品目
香港 FOOD EXPO 2014	平成26年8月14日～16日	香港コンベンション&エキシビションセンター	4社39品目
北京イトーヨーカドー「九州うまかもんフェア」	平成27年1月24日～2月1日	北京イトーヨーカドー三里屯店	8社49品目
第9回中国中部投資貿易博覧会	平成27年5月18日～20日	武漢国際博覧センター	1社230品目
フード台北2015	平成27年6月24日～27日	台北世界貿易センター	1社24品目
マカオフランチャイズエキスポ2015	平成27年7月3日～5日	マカオベネチアンホテル	10社34品目
香港 FOOD EXPO 2015	平成27年8月13日～15日	香港コンベンション&エキシビションセンター	8社49品目
日本商品大連地区巡回展	平成28年6月9日～12日	大連市西岗区オリムピック広場	7社26品目
香港 FOOD EXPO 2016	平成28年8月11日～13日	香港コンベンション&エキシビションセンター	6社39品目
中国国際漁業博覧会	平成28年11月2日～4日	青島国際博覧中心	4社21品目
台北国際酒展	平成28年11月18日～20日	台北南港展覽館	6社25品目
香港 FOOD EXPO 2017	平成29年8月17日～19日	香港コンベンション&エキシビションセンター	4社20品目
FOOD JAPAN 2017	平成29年10月26日～28日	カンテック・シンガポール国際会議展示場	3社10品目
ユニー香港「ジャパンフェア」	平成29年11月1日～7日	香港ユニー太古城店	1社31品目
台湾 新光三越「日本商品展」	平成29年9月30日～12月17日	新光三越台北南西店等	6社24品目
香港 FOOD EXPO 2018	平成30年8月17日～19日	香港コンベンション&エキシビションセンター	4社22品目
台北国際酒展	平成30年11月16日～19日	台北南港展覽館	5社
Food&Hotel Thailand	平成30年9月5日～8日	Bangkok International Trade Exhibition Center	1社5品目
FHC CHINA 2018	平成30年11月12日～15日	上海市	4社
SIAL CHINA 2018	平成30年5月16日～18日	上海新国際博覧中心	4社
中国国際輸入博覧会	平成30年11月5日～10日	上海市	7社
SIAL CHINA 2019	令和元年5月14日～16日	上海新国際博覧中心	1社5品目
中国国際輸入博覧会	令和元年11月5日～10日	上海市	5社
中国国際輸入博覧会	令和2年11月5日～10日	上海市	9社
中国国際輸入博覧会	令和3年11月5日～10日	上海市	1社
Gulfood	令和4年2月13日～17日	ドバイ	2社
中国国際輸入博覧会	令和4年11月5日～10日	上海市	6社

大分県内の海外展開企業数

(国際政策課)

年度	中国	その他アジア	アジア以外	計
2018	39	61	12	112
2019	46	62	11	119
2020	40	68	13	121
2021	36	66	9	111
2022	41	70	12	123
2023	42	77	15	134

18 産業技術交流の状況

① 海外技術・文化研修員受入事業等

県では、開発途上国に対する技術協力の一環として、昭和53年度から海外技術研修員受入事業を実施した。
また、平成25年度から、ブラジル大分県人会子弟を対象とした日本語研修を実施している。

(国際政策課)

(単位：人)

国名	H24 以前	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	計
ブラジル連邦共和国	118	2	1	2	2		2	2			1	2	132
フィリピン共和国	25												25
マレーシア	19												19
ボリビア共和国	9												9
ペルー共和国	9												9
アルゼンチン共和国	9												9
パラグアイ共和国	6												6
ネパール共和国	3												3
ホンジュラス共和国	4												4
バングラデシュ人民共和国	2												2
タンザニア連邦共和国	2												2
スリランカ民主主義共和国	2												2
インドネシア共和国	21												21
中華人民共和国	22												22
タイ王国	1												1
マラウイ共和国	1												1
コスタリカ共和国	2												2
モンゴル	8												8
カンボディア王国	2												2
ドイツ連邦共和国	1												1
ミャンマー連邦	1												1
合 計	267	2	1	2	2	-	2	2	-	-	1	2	281

※令和2年～4年は新型コロナウイルス感染症の国際的な拡大に伴う入国制限措置により、受入を中止

② 自治体職員協力交流事業

年度	研修員名	性別	派遣元	受入期間
H16	張雪蓮	女	中国上海市人民対外友好協会	5.25～11.25
17	殷蘭	女	中国浙江省嘉興市嘉興経済開発区	5.22～3.21
18	毛曉旦	男	中国江蘇省無錫市錫山経済開発区	5.21～11.21
25	李新華	女	中国湖北省恩施土家族苗族自治州	5.19～11.24
26	熊婧	女	中国湖北省咸寧市	5.18～11.23
27	陳瑾	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.17～11.22
28	謝芳	女	中国湖北省宜昌市	5.15～11.20
29	戴立君	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.21～11.26
30	陳娟	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.20～11.20
R1	李婷	女	中国湖北下陸長樂山工業園区管理委員会	5.19～11.20
2			※受入実績なし	
3			※受入実績なし	
4			※受入実績なし	
5	劉雪原	男	湖北省人民政府外事弁公室 アジア処	5.21～11.20

③ 海外派遣事業（農業関係）

農業の国際化・自由化に対応した、農業・農村の確立普及を図るため、農業大生を派遣している。

（新規就業・経営体支援課）

（単位：人）

事業名	派遣先	派遣区分	派遣年度別人数													計		
			H22迄	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4		5	
海外農業体験研修事業	アメリカ カリフォルニア州	農業大生 2年生	435															435
	オランダ・ドイツ		354															354
	ドイツ		62	29	37	40	28	33										229
	オーストラリア								38	29	34	37	0	0	0	0		138
	小計		851	29	37	40	28	33	38	29	34	37	0	0	0	0		1,156

19 観光の状況

① 外国人宿泊客数の動向

令和5年の外国人宿泊客数は令和4年と比べて670.5%増加、コロナ禍前の令和元年と比較しても8.3%増加した。

(観光局)

外国人宿泊客数(観光庁宿泊旅行統計調査)

単位:人

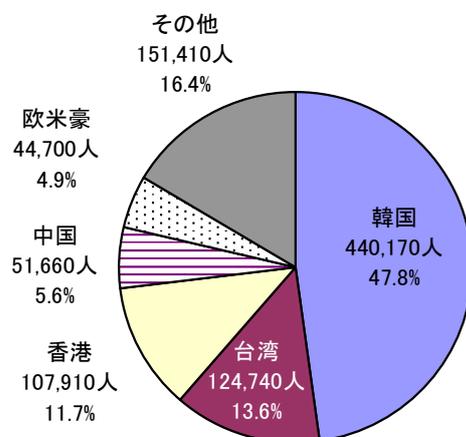
国・地域	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5
韓国	648,850	651,370	410,760	28,810	890	64,170	440,170
台湾	118,180	129,720	145,230	22,450	50	5,040	124,740
香港	81,260	103,140	99,890	15,730	70	7,120	107,910
中国	79,140	97,840	99,790	13,040	1,170	2,430	51,660
欧米豪	20,070	27,250	63,570	5,030	1,750	6,290	44,700
その他外国	76,030	81,160	103,680	25,650	12,350	38,310	151,410
外国人延べ宿泊者数	1,386,930	1,442,210	1,206,780	162,050	25,010	169,630	1,306,940

【国・地域別出典：参考第1表(従業者数10人以上の施設)】

【外国人延べ宿泊客数出典：推移表 3-1. 都道府県別 外国人延べ宿泊者数 推移表(年計)】

※ 欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、イタリア、スペイン(国籍(出身地)(21区分))

令和5年 国地域別外国人宿泊者数比率
(参考第1表 従業者数10人以上の施設)



② 旅券発行・海外渡航

大分県における旅券の発行件数は、海外渡航者の増加とともに平成7年に初めて4万件を超え、10年旅券の発行開始や高校生の海外修学旅行が大幅に増加したことなどにより、平成12年には過去最高の46,677件の発行件数を記録した。

その後、平成13年の米国同時多発テロ、平成15年のイラク戦争やSARSの流行により海外渡航者数・旅券発行件数は全国的に激減した。SARSの終息と共に平成16年は増加に転じ、以後増減を繰り返してきた。

しかし、平成25年には、円安や中国、韓国との歴史問題等を背景に海外渡航者数が減少し、旅券発行数も大きな減少となり、この傾向は平成27年まで続いた。

平成28年は、平成7年に発行開始された10年旅券の2回目の切替発給の年にあつたことから増加した。平成29年から海外渡航者数が引き続き増加し、特に令和元年は5月が長期連休になったことなどから、旅券発行件数が平成25年以降、最高の件数になった。しかし、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、各国で入国制限措置が取られ海外渡航者数が大幅に減少したことから、旅券発行件数も減少した。令和4年までその影響が続いたが、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、5月から8月にかけて2,000件前後、9月以降は1,500件前後で推移し、令和5年は18,901件まで回復した。

(国際政策課パスポート班)

(単位：件、人)

年 別	旅券発行件数 (A)				海外渡航者数 (B)				$\frac{(B)}{(A)}$	
	全 国		大 分 県		全 国		大 分 県		全 国	大分県
	件 数	増加率	件 数	増加率	人 数	増加率	人 数	増加率		
20	3,801,384	5.2	23,794	△ 11.9	15,987,250	△ 8.1	68,663	△ 18.6	4.21	2.89
21	4,015,470	5.6	25,091	5.5	15,445,684	△ 3.4	67,788	△ 1.3	3.85	2.70
22	4,185,080	4.2	26,108	4.1	16,637,224	7.7	72,741	7.3	3.98	2.79
23	3,961,382	△ 5.3	27,292	4.5	16,994,200	2.1	76,286	4.9	4.29	2.80
24	3,924,008	△ 0.9	28,162	3.2	18,490,657	8.8	84,061	10.2	4.71	2.98
25	3,296,805	△ 16.0	20,688	△ 26.5	17,472,748	△ 5.5	71,918	△ 14.4	5.30	3.48
26	3,210,844	△ 2.6	20,169	△ 2.5	16,903,388	△ 3.3	67,721	△ 5.8	5.26	3.36
27	3,249,593	1.2	17,773	△ 11.9	16,213,789	△ 4.1	61,142	△ 9.7	4.99	3.44
28	3,738,380	15.0	20,566	15.7	17,116,420	5.6	65,213	6.7	4.58	3.17
29	3,959,468	5.9	22,193	7.9	17,889,292	4.5	69,085	5.9	4.52	3.11
30	4,182,207	5.6	25,472	14.8	18,954,031	6.0	77,567	12.3	4.53	3.05
R1	4,365,290	4.4	26,651	4.6	20,080,669	5.9	84,294	8.7	4.60	3.16
2	1,234,928	△ 71.7	6,128	△ 77.0	3,174,219	△ 84.2	11,899	△ 85.9	2.57	1.94
3	513,943	△ 58.4	1,998	△ 67.4	512,244	△ 83.9	1,079	△ 90.9	1.00	0.54
4	1,218,692	137.1	5,280	164.3	2,771,770	441.1	7,334	579.7	2.27	1.39
5	3,401,533	179.1	18,901	258.0	9,624,158	247.2	37,630	413.1	2.83	1.99

(注) (B)は出入国管理統計年報(法務省発行(毎年7月公開))による。

年代別旅券発行件数

(単位：件)

令和3年

年代別	性別		男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	163	8.2	155	7.8	318	15.9		
20～29	175	3.3	175	8.8	350	17.5		
30～39	148	7.3	102	5.1	250	12.5		
40～49	178	3.4	95	4.8	273	13.7		
50～59	174	3.3	146	7.3	320	12.0		
60～69	137	2.6	132	6.5	269	13.5		
70～79	86	1.6	93	4.6	179	9.0		
80歳以上	20	0.4	19	1.0	39	2.0		
計	1,081	54.1	917	45.9	1,998	100.0		

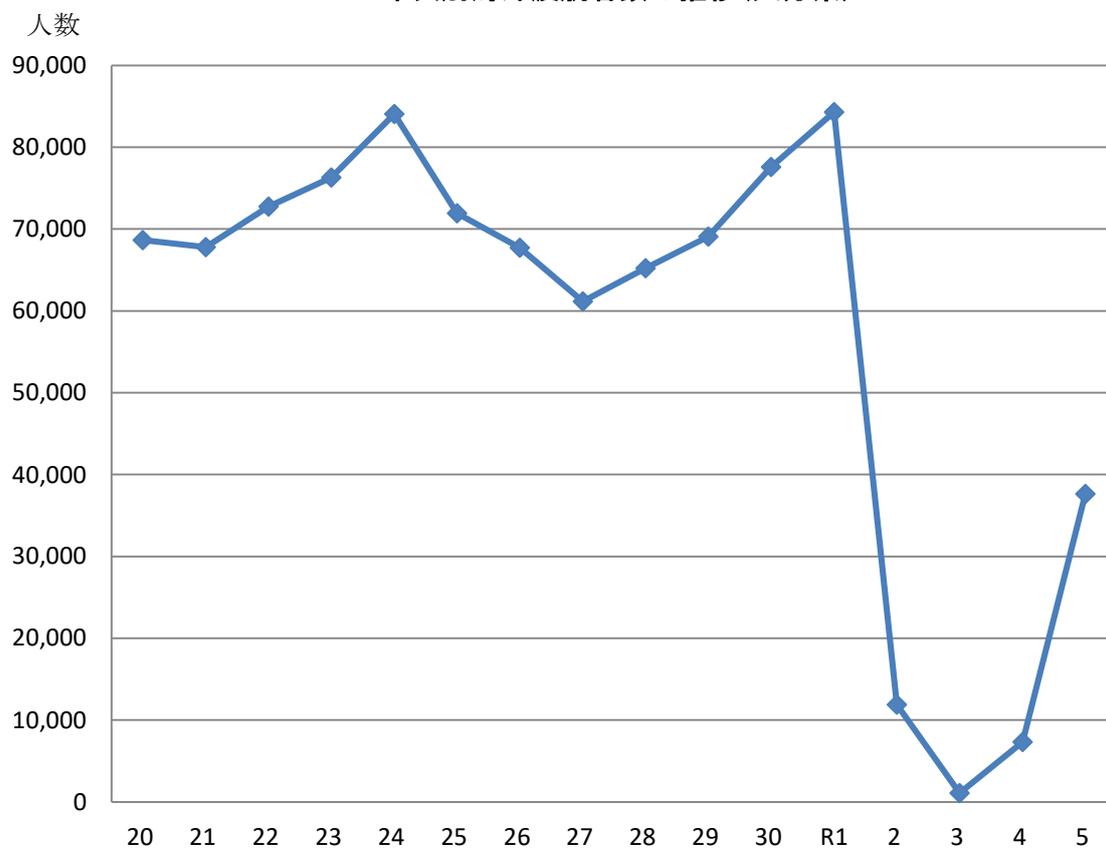
令和4年

年代別	性別		男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	501	9.5	606	11.5	1,107	21.0		
20～29	497	9.4	696	13.2	1,193	22.6		
30～39	343	7.3	300	5.7	643	12.2		
40～49	374	7.1	313	5.9	687	13.0		
50～59	383	7.3	309	5.9	692	12.0		
60～69	300	5.7	266	6.5	566	10.7		
70～79	171	3.2	163	4.6	334	6.3		
80歳以上	25	0.5	33	0.6	58	1.1		
計	2,594	49.1	2,686	50.9	5,280	100.0		

令和5年

年代別	性別		男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	1,552	8.2	2,058	10.9	3,610	19.1		
20～29	1,714	9.1	2,899	15.3	4,613	24.4		
30～39	1,042	5.5	1,118	5.9	2,160	11.4		
40～49	1,214	6.4	1,309	6.9	2,523	13.3		
50～59	1,166	6.2	1,410	7.5	2,576	13.6		
60～69	968	5.1	1,129	6.0	2,097	11.1		
70～79	526	2.8	577	3.1	1,103	5.8		
80歳以上	90	0.5	129	0.7	219	1.2		
計	8,272	43.8	10,629	56.2	18,901	100.0		

年次別海外渡航者数の推移(大分県)



付 属 資 料

1 国際交流関係機関等

① 国等の国際交流関係機関

機 関 名	電話・FAX番号	所在地・業務内容・HPアドレス
総務省	(代)03-5253-5111	東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館(〒100-8926)
自治行政局国際室	(直)03-5253-5527	地域レベルの国際化、外国青年招致事業
外務省	(代)03-3580-3311	東京都千代田区霞が関2-2-1(〒100-8919)
大臣官房総務課地方連携推進室	内線 4410	地方と外務省との連携の推進、地方自治体からの各種照会等の窓口業務
領事局政策課	内線 2333	安全な海外渡航、海外生活における福利増進に関する総合的な政策及び移住者の定着安定に関する政策
領事局海外邦人安全課	内線 2851	海外における日本人の安全対策や保護
領事局邦人テロ対策室	内線 3047	海外でのテロ・誘拐事件に関する日本人の安全対策や保護
領事局旅券課	内線 2313・4949	旅券(パスポート)に関する事務 [パスポートA to Z] http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/index.html
領事局外国人課	内線 5049	査証(ビザ)に関する事務及び在日外国人に関する外交政策 [日本国査証案内] http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/index.html
領事局領事サービスセンター 証明班	内線 2308・2855	公印確認証明及びアポストイユ証明等 [公印確認・アポストイユ] https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/shomei/index.html
領事局領事サービスセンター 海外安全相談班	内線 2902・2903	海外安全情報の提供 [海外安全ホームページ] http://www.anzen.mofa.go.jp/
経済局政策課	内線 2505	主要国首脳会議(サミット)をはじめとした対外経済関係に関する外交政策
国際協力局政策課	内線 3900	ODA関係全般、独立行政法人国際協力機構の組織・運営一般
国際文化交流審議官人物交流室	内線 2391	人物交流事業の促進(国費留学生、JETプログラム、スポーツ交流など)
文部科学省	(代)03-5253-4111	東京都千代田区霞が関3-2-2(〒100-8959)
高等教育局学生支援課留学生交流室	(代)03-5253-4111	留学生交流の推進 [ホームページ] http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/main4_a3.htm
法務省出入国在留管理庁	(代)03-3580-4111	東京都千代田区霞が関1-1-1(〒100-8973)
福岡出入国在留管理局	(代)092-717-5420 (FAX)092-717-5425	福岡県福岡市中央区舞鶴3-5-25 福岡第1法務総合庁舎 (〒810-0073) (入国・在留等の手続き)
外国人在留総合インフォメーションセンター	(直)0570-013904	福岡出入国在留管理局内 (日本語、英、韓、中、スペイン語等に対応可)
福岡出入国在留管理局大分出張所	(代)097-536-5006 (FAX)097-536-5030	大分県大分市荷揚町7-5 大分法務総合庁舎1階(〒870-8521)
(一財)自治体国際化協会(CLAIR)	(代)03-5213-1730 (FAX)03-5213-1741	東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6,7階(〒102-0083)
JETプログラム事業部	(代)03-5213-1733 (FAX)03-5213-1743	外国青年招致事業
国際協力機構(JICA)	(代)03-5226-6660	東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル(〒102-8012)
九州センター(JICA九州)	(代)093-671-6311 (FAX)093-671-0979	北九州市八幡東区平野2-2-1(〒805-8505)
日本貿易振興機構(JETRO)大分貿易情報センター	(代)097-513-1868 (FAX)097-513-1881	大分市東春日町17-19(〒870-0037) 大分ソフィアプラザビル4階
日本学生支援機構(JASSO)(本部)	(直)045-924-0812	神奈川県横浜市緑区長津田町4259 S-3 (東京工業大学すずかけ台キャンパス内)
国際交流基金(本部)	(直)03-5369-6075 (FAX)03-5369-6044	東京都新宿区四谷1-6-4 四谷クルーセ1~3階 (「コモレ四谷」内)(〒160-0004)
(公財)海外日系人協会	(代)045-211-1780 (FAX)045-211-1781	神奈川県横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜2階(〒231-0001)
(公財)国際人材協力機構(JITCO)	(代)03-4306-1100 (FAX)03-4306-1112	東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング11階(〒108-0023)

②県内市町村の国際交流担当課

市町村名		担当課	電話番号	FAX
大 分 市		国際課	097-537-5719	536-4044
別 府 市		文化国際課	0977-21-1131	22-1919
中 津 市		総合政策課	0979-22-1111	24-7522
日 田 市		観光課	0973-22-8210	22-8328
佐 伯 市		観光・国際交流課	0972-22-4623	22-0025
臼 杵 市		秘書・総合政策課	0972-86-2720	64-0136
津 久 見 市		経営政策課	0972-82-9510	82-9520
竹 田 市		商工観光課	0974-63-4807	63-0701
豊 後 高 田 市		地域活力創造課	0978-25-6392	22-2725
杵 築 市		企画財政課	0978-62-1804	62-3293
宇 佐 市		秘書広報課	0978-27-8240	32-1138
豊 後 大 野 市		まちづくり推進課	0974-22-1042	22-3361
由 布 市		総合政策課	097-582-1111	582-3971
国 東 市		まちづくり推進課	0978-72-5186	72-9002
東国東郡	姫 島 村	企画振興課	0978-87-2282	87-3629
速 見 郡	日 出 町	まちづくり推進課	0977-73-3158	73-0843
玖 珠 郡	九 重 町	社会教育課	0973-76-3888	76-3877
	玖 珠 町	みらい創生課	0973-72-1151	72-0810

③ 県内国際交流団体（令和6年3月時点）

【県・市町村・JICA等】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分県青年海外協力協会	会長 長岡 健朗	事務局員 吉田 雅子	879-1507 速見郡日出町豊岡 3228-8	青年海外協力隊事業への参加経験を生かし、国際親善と世界平和に寄与すること	JICAボランティア事業、主に青年海外協力隊事業への支援、刊行物の発行、在大分県研修生、留学生との交流等	TEL:0977-72-5497 FAX:0977-72-5497	nkenno@ctb.ne.jp
大分県ユネスコ協会連盟	会長 丸尾 直彦	事務局員 橋口 大祐	870-8503 大分市府内町3丁目10 大分県教育庁文 化課内	ユネスコ憲章にのっとり、大分県におけるユネスコ活動を推進することを目的とする。	研修会の実施(大分県高等学校ユネスコクラブ等交流研修会)、募金活動の開催(ユネスコ「一杯のスポーツプログラム」街頭募金活動等)、世界寺子屋運動への参加(書きそんじハガキ回収運動)、日本ユネスコ協会連盟等主催行事への参加	TEL:097-506-5499 FAX:097-506-1811	a31700@pref.ofta.lg.jp
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団(おおいわ国際交流プラザ)	所長 岡本 天津男	国際交流課 小林 幾世	870-0029 大分市高砂町2-33 ichiko総合文化センター 内(B1F)	県民と在住外国人の相互理解と国内外の団体との交流促進	① 県民、在住外国人に広く開放された国際交流の拠点づくりの事業 ② 在住外国人の生活支援や県民、在住外国人への情報発信の事業 ③ 国内外の国際交流団体との交流・連携と国際人材の育成の事業	TEL:097-533-4021 FAX:097-533-4052	in@emo.or.jp
JICAチラスク大分	独立行政法人国際協力機構九州センター(JICA九州)所長 後藤 光	独立行政法人国際協力機構九州センター(JICA九州)国際協力推進員(大分県) 渡邊了孔	870-0029 大分市高砂町2-33 ichiko総合文化センター (B1F)	「地域のJICA窓口」として、JICAの国際協力事業の支援、広報啓発活動の推進及び地方自治体・地域国際化協会等が行う国際協力事業との連携促進等を担う。地域とJICA、地域と世界を結ぶパイプ役として活動する。	① 地方自治体、地域国際化協会等と連携した国際協力事業の広報啓発活動の推進 ② 地方自治体、地域国際化協会、大学、NGO及び企業等が行う国際協力事業との連携推進 ③ 機構の別業教育(国際理解教育)支援業務の促進 ④ 機構の直営技術協力事業及び民間連携事業の推進 ⑤ 機構のボランティア事業への参加促進、応募相談及び帰国ボランティアの社会還元活動支援 ⑥ その他、機構の事業支援	TEL:097-533-4021 090-7167-4235 FAX:097-533-4052	jicaodp-desk- oitaken@jica.go.jp
別府市国際交流推進協議会	会長 長野 恭敏	事務局員 森重 亜由美	874-8511 別府市上野口町1-15	別府市との間に姉妹都市等を提携している都市との交流をはじめ、その他の外国との交流を推進するとともに、留学生を総合的に支援し、別府市の国際化に寄与することを目的とする。	設立目的の実現を目指して、自治体交流をはじめ他国の人々との親交を深め、相互理解を促進することにより、市民の国際理解と国際認識を高めることと、市内在住外国人を支援し、併せて、国際観光温泉文化都市別府市におけるグローバル化を目指して事業を展開している。	TEL:0977-21-1131 FAX:0977-22-1919	int-ma@city.beppu.lg.jp
公益社団法人 ツーリズムおおいた	会長 幸重 綱二	海外誘致営業課長 眞村 純一	〒870-0029 大分県大分市高砂町2番50号 OASISひろば21(3F)	大分県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて健全な観光旅行の普及発達と国際観光の権興を促し、もって県民の生活、文化及び経済の向上発展に寄与するとともに、国際親善に寄与することを目的とする。	国内外への観光情報発信、観光客の誘致、受入態勢整備 等	TEL:097-536-6250 FAX:097-536-6251	Tourism@owe-love- ofta.or.jp

【経済団体等】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
一般社団法人 大分県貿易協会	理事長 正田 智昭	事務局長 伊藤 理砂	870-0266 大分市大字大在6番地 大分国際貿易センター ビル4階	大分県の貿易を振興し、もって本県産業の発展と経済の国際化に寄与する。	①貿易に関する相談及び斡旋 ②貿易に関する情報の収集及び提供 ③貿易に関する各種調査及び研究 ④貿易に関する実務講習会、講演会、研修会等の開催 ⑤海外経済調査団の派遣及び受け入れ等	TEL:097-592-5832 FAX:097-593-3338	info@oita-fta.jp
大分県経営者協会	会長 杉原 正晴	専務理事 藤野 久信	870-0026 大分市金池町2丁目3番 4号 九州電力大分支店 本館4階	会員相互の連絡提携により、企業経営の合理化、労使の安定を図り、かつ産業平和を確立し、地方経済の発展に寄与すること。	1. 例会、研究会等の開催 2. 労務相談 3. 調査・情報提供 4. 経済団体としての諸活動	TEL:097-532-4745 FAX:097-536-3012	oita-keikyo@nby.plala.or.jp
大分県商工会連合会	会長 首藤 文彦	総務課 都留 祐也	870-0026 大分市金池町3丁目1-64	地区内における商工会の健全な発達を図り、もって商工業の振興に寄与することを目的とする。	県内17商工会と連携して、小規模事業者の経営支援活動や地域振興活動を実施。	TEL:097-534-9507 FAX:097-537-0613	shokoren@oita-shokokai.or.jp
大分県中小企業団体中央会	会長 戸高 有基	総務課長 藤田 里美	870-0026 大分市金池町三丁目1番64号	地区内における中小企業等協同組合、企業組合、協業組合、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合及び商店街振興組合連合会、生活衛生同業組合、共同出資会社、中小企業者が関係する社団法人、財団法人、LLP、任意グループ、新連携等(以下「組合等」という。)の組織、事業及び経営の指導並びに連絡その他、組合の健全な発達を図るために必要な事業を行い、併せて中小企業の振興を図るために必要な事業を行うことを目的とする。	(1)組合等の組織、事業及び経営の指導並びに連絡、(2)組合等の設立指導、(3)組合等の監査、(4)組合等の指導者の養成、(5)講習会、研究会及び講演会の開催、(6)情報の提供、(7)調査及び研究、(8)表彰、(9)図書、機関紙及び資料の刊行	TEL:097-536-6331 FAX:097-537-2644	http://www.chuokai-oita.or.jp

【二ヶ国間交流】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
大分・カンボジア(シエムリアップ)協会	会長 梶原 九州男	-	870-0846 大分市花園14組5	大分県とカンボジア王国および、同国シエムリアップ州との友好親善を図ることを目的とする。	①大分県とカンボジア王国および同国シエムリアップ州との友好を促進する活動を行う団体・個人への支援 ②認定NPO 法人SOSHEC 大分県支部の活動への支援 ③大分県在住のカンボジア留学生への支援 ④親善訪問団の編成・派遣 ⑤委員相互の輪廻 ⑥本会目的達成のために必要と認める事業	TEL: 097-545-8060 FAX: 097-545-8060	3001kajiwara@gmail.com
大分華僑華人会	会長 黄 梅雄	事務局長 里中 玉佳	870-0018 大分市豊海3丁目2番1号 タイコー青果(株)内	大分県に在住している華僑華人の社会的価値を高めるために、活動を行う非営利組織である。	2014年2月(第1回)春節祭inおおい 2015年2月(第2回)春節祭inおおい 2016年1月(第3回)春節祭inおおい 2017年2月(第4回)春節祭inおおい 2018年2月(第5回)春節祭inおおい 2019年1月(第6回)春節祭inおおい 2020年2月(第7回)武漢チャリティ〜春節祭inおおい 2017年6月に大分中文学堂設立 毎週大分国際交流協会(別府京町)に主に小学生向け、聞く、話す、読む、書くすべての言語能力を遊びの要素を取り入れながら、中国語の運用スキルを向上させることに重点をおく。毎年学習の発表会や中国語スピーチ大会などにチャレンジしている。また、中国の上海、厦門、香港、瀋陽、長春の大学機関等と連携をとり、県内在住の華僑華人子女を引率し、中国への短期留学を実施している。さらに、ポラチア中国語教員を育成するため、中国「北京外国語学院」、「暨南大学」などの大学に中国語教員を派遣している。コロナ禍のため、現在、オンライン講義の準備やオンラインによる「九州杯青少年中国語スピーチコンテスト」運営及び実施に携わる協力団体として参加している。	TEL: 097-533-3168 FAX: 097-533-3225	ysatonaka@hm.nicobe.ac.jp
大分県インドネシア友好協会		中野 潤也	870-0021 大分市府内町3丁目3-13 サッテージャワ	本会の目的は、日本-インドネシア両国民相互の理解を深め、更に友好親善を図りつつ、文化・芸術・経済・その他、各方面における交流に努める。	・大分県在住インドネシアの人々との友好親善、交流 ・インドネシア留学生、研修生、技能実習生との交流 ・インドネシア、日本両国料理教室の開催 ・インドネシア大使及び政府経済界要人との懇談会 ・インドネシア友好親善の旅 ・APUインドネシア留学生との諸行事参加、交流 ・大分県内各種国際イベントへの参加	TEL: 097-536-3515 FAX: 097-536-3315	krellhts@gmail.com
大分県日華親善協会	会長 福島 知克	理事 河野 聡	874-0828 別府市北的ヶ浜町5番25号	日華両国民の理解と友好を深め、経済・文化の交流と相互の繁栄に寄与することを目的とする。	①協会の日常活動の推進 ②日華両国民の人的・物的交流の促進 ③台北駐福岡経済文化辦事處との連携 ④全国連合会並びに九州各県・大分県の日華親善協会との連携 ⑤二重日華親善協会、大分県日華友好協議員連盟との協力・連携 ⑥大分県及び県内国際交流機関との連携	TEL: 0977-21-2860 FAX: 0977-26-1408	scoumu@ojtagas.com

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
大分県日中友好協会	会長 釘宮 馨	事務局長 樋口 秀吉	870-0024 大分市錦町1丁目2番2号	①日本と中国両国民の相互理解と友好親善を深め、世界の平和と繁栄に貢献すること。 ②目的の実現のため、会報の発行、各種行事の推進	①中国事情と文化の研究と紹介並びに日本及び大分県の事情と文化の中国への紹介 ②産業・経済・文化・芸術・体育・学術・技術・教育など各分野にわたる、日中青少年友好交流の促進 ③各市町村と中国の各都市間の交流の促進 ④在日中国領事館との連携 ⑤国際交流協会の主催 ⑥中国語教室、スピーチコンテスト、人民中国の普及、大規模の普及及び中国語研修など中国関連の諸活動の普及促進 ⑦各種研修生、留学生の紹介 ⑧スポンサー文化交流事業 ⑨中国出版物の販売	TEL:080-1759-5642 FAX:097-576-7083	ota-chu@b04.plala.or.jp
大分県ニューージーランド友好協会	会長 西 謙二	-	874-0848 別府市大畑1組2 (ニューージーランドハウス 内)	ニューージーランドとの一層の友好親善を深めるため、民間レベルでの各分野にわたる交流を積極的に促進し、地域国際化の推進に寄与するとともに、両国間の相互理解と国際交流、国際親善に貢献するための多面的な事業活動を展開することを目的とする。	①交換留学生及び青少年等の相互交流の推進と支援・協力(ホームステイ等) ②ニューージーランドの姉妹校との交流促進支援・協力 ③国内におけるニューージーランド姉妹都市との情報交換・交流の促進 ④ニューージーランドに関する各種情報資料等の提供・協力 ⑤ロトルア市からのホームステイ等受け入れの支援・協力 ⑥その他本友好協会の事業目的を達成する為に必要な事業	TEL:0977-21-2141 FAX:0977-23-1471	knishi@lme.ocn.ne.jp
大分県フィリピン友好協会	会長 吉武 ロドラ	書記 川辺 レア	874-0919 別府市石垣東1-1-2-2 501号室	①県内、国内に在住するフィリピン人によって困っている人を助けること ②県内、国内に在住するフィリピン人でお互いを支えること ③祖国の貧しい所に自立支援をする ④日本で外国人でも社会貢献できるよう努力する	交流会を開いたり、交流、相談などの在日フィリピン人の支援活動。 毎月会合あり、12月にクリスマス会。	TEL:070-2811-7805	success8life@yahoo.co.jp
大分日独協会	-	-	878-0011 竹田市大雲会々々2250番 地1 竹田温泉「花水月」内	文化、芸術、学問を通じ、日独両国民の相互理解を深め、友好親善を図る	1 語学教室の開催(竹田市、大分市) 2 全国日独協会連合事業への参加・協力	TEL:0974-63-4807 FAX:0974-63-0701	kanko@city.taketa.lg.jp
大分日仏協会	会長 立木 翔子	事務局長 萩野 敬	870-0833 大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大 学美術科 萩野研究室内	この会は日仏両国民の理解と親善をはかり、文化と経済の交流に寄与することを目的とする。	1. フランスの国情および文化の紹介 2. 日仏両国の学術・文芸および産業に関する資料の交換 3. フランス語講習会、講演会、映画会、美術展、音楽会等の開催、服飾、料理等の紹介 4. その他この会の目的を達成するために必要な事業	TEL:097-545-4465	sfo_tate@yahoo.co.jp
大分日本ポルトガル協会	会長 杉村 忠彦	事務局長 渡邊 裕美	870-8504 大分市荷締町2番31号 大 分市役所国際課	本会は、日本、ポルトガル両国民の親善に寄与し、文化及び経済の交流を促進することを目的とする。	・「ポルトガルワインのタベ」 会員に料理とポルトガルワインを提供し、会員相互の親睦を図り、ポルトガルワインや文化に対する理解を深めてもらう。 ・「オプリガータポルトガル」(協会会報誌)の発行 年に一度、当協会の活動や、ポルトガルの最新のニュースなどの情報を会報誌に掲載し、報告する。	TEL:097-537-5719 FAX:097-536-4044	kokusai@city.ofta.ofta.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
特定非営利活動法人 大分市中友好協会	会長 佐藤 日出美	事務局長 森 哲也	870-0024 大分市錦町1丁目2番2号	日本中国両国民の相互理解と友好を深め、世界の平和と繁栄に貢献すること。 そのため、各分野において具体的な活動の推進。	①中国事情と文化の研究と紹介並びに大分県・大分市の事情と文化の中国への紹介 ②産業・経済・文化・芸術・体育・学術・技術・教育など各分野にわたる友好姉妹都市間の交流の促進 ③日中青少年友好交流の促進 ④中国帰国者との交流 ⑤中国留学生との交流 ⑥中国語教室・スピーチコンテストへの参加・本郷拳の普及及び中国料理教室など中国関連の諸活動の普及促進 ⑦各種研修生・留学生の紹介 ⑧文化交流事業の促進 ⑨各種国際交流事業への参加	TEL:080-1759-5642 FAX:097-576-9540	ota-chu@bz04.plala.or.jp
特定非営利活動法人 大分パヤンホンゴル交流協会	理事長 亀山 哲	事務局長 福崎 智幸	879-7901 大分市大字竹中上長谷613-1 やすらぎ重園内	大分県民とモンゴル総合生協学校児童生徒およびパヤンホンゴル県との相互交流に関する事業を行い、両国児童生徒の健全育成と両国県民の友好運を深めることを目的とする。	①モンゴル、パヤンホンゴル県と大分県の児童生徒の相互交流 ②モンゴル総合生協学校の支援 ③モンゴルおよび大分県の伝統芸能などのPR ④大分県へのモンゴル留学生との交流	TEL:097-598-0100 FAX:097-598-0101	y-info@vasuzaga-training.jp
中津市日韓親善協会	代表 中野 登	事務局長 伊藤 敏宏	871-0058 中津市豊田町3丁目2番地21 清羅館	○日本と韓国両国民の相互理解と友好をより一層深めるとともに、スポーツをはじめとし、経済・文化交流・相互繁栄を期して、「世界平和」に寄与すること。 ○大分県日韓親善協会の事業(例、韓国語スピーチ大会他)の協賛 ○中津青年会議所と韓国青年会議所との交流支援活動 ○豊州市私立聖明女子高等学校ハルビン市私立東九州産業高等学校ハルビン市の応援・交流支援 ○茶道の交流支援 ○韓国と中津市交流の訪韓事業並びに地元企業との交流支援 ○韓国との交流親善・功績のあった方の推薦及び発展等への招待 ○豊州市名誉市民祝賀式、豊州市日韓親善協会会員の奉仕活動(豊州市名誉市民祝賀式、豊州市日韓親善協会会員の奉仕活動) ○以上、本会の目的・事業等を点検・推進・進捗等の確認のために総会(年1回)理事会(年4回)の開催	TEL:0979-22-2222 FAX:0979-22-2222	and02222@ep.bbci.jp	
日本ベトナム友好協会大分県支部	会長 賀賀 忠夫	事務局長 甲斐 武夫	870-0921 大分市萩原3-1-15	友好協会は、「日本とベトナムとの親善友好を深め、経済・文化、科学技術の交流をはかり、アジアおよび世界の繁栄と平和に寄与すること」を目的としています。	①ベトナム人留学生との交流「お花見会」「ベトナム料理を楽しむ会」「焼肉・ソテー・流し」学習交流 ②明日香日本語学校「入学・卒業式」出席 ③ベトナム大使館・福岡総領事館との交流等 ④留学生の訪世話、引越手伝い、バイト紹介、生活用品調達等	TEL:090-3604-4424 FAX:090-560-3003	tk1234@eri.bbci.jp
大分日米協会	会長 姫野 清高	事務局長 福田 健二	870-0023 大分市長浜町2丁目7-22 株式会社マイダスココミュニケーションズ内	日米両国民の相互理解を深め、文化・経済・教育の交流など国際友好の増進を図り、大分県の発展に寄与することを目的とする。	本協会は非営利とし、目的達成のために次のような事業を予定している。 1. 大分県に在住する米国人との交流を図る 2. 来日した米国人名士と意見交換の場を設け交流を図る 3. 米国の文化、経済を学ぶ理解を深めるための講演会、懇談会を開催する 4. 本協会と目的を同じくする日米両国の諸団体と連携し、友好関係を促進する 5. その他本協会の目的達成のために必要とする事業	TEL:097-536-2677 FAX:097-536-2678	ajiso@midas-net.co.jp
大分 カメルーン共和国友好協会	会長 横山 朋樹	会長 横山 朋樹	870-0138 大分市原川13丁目2番29号 (麻3和フレシア内)	大分県、カメルーン共和国両者の親善に寄与し、文化及び経済の交流を促進することを目的とする。	ヒジンスミス・テーティングの開催 企業のカメルーン進出支援	TEL:097-558-8368 FAX:097-552-4704	tomoki-sp@beach.ocn.ne.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
一般社団法人 大分ネパール友好協会	共同代表 宮崎 省三	共同代表 バスコタ ローナク	874-0834 大分県別府市駅前本町1-4	一般社団法人 大分ネパール友好協会は、大分とネパールの発展と友情を永続的に支援することと日本とネパールの友好の懸け橋となるよう努めます。	数人の日本人とネパール人の間で大分ネパール友好協会 (ONFA) は、2020年任意団体として始まりました。その後お互いに交流を深めていくにつれ仲間も増え、今の友好的な関係を継続的にさらに発展させるため2022年7月一般社団法人として出資することとなりました。	TEL: 0977-23-1100 FAX: 0977-23-1100	info@oitanepal.com
大分県日韓親善協会	会長 橋本 均	事務局員 印 成銀	870-0832 大分市真浜1-8-3 大分韓国会館2F	日本と韓国国民の理解と友好を深め、経済・文化の交流と総合の繁栄を期して、世界平和に寄与する。	①姉妹協会：韓国蔚山広域市韓日親善協会2001.5(刷印)との総合訪問、文化交流等を通じ、日韓交流の拡大推進 ②韓国語とヒナチ大委主催(1回/年)、韓国語の普及、異文化理解 ③余暇一衣帯水を発行し、情報の伝達と広報 ④支部協会(大分、別府、中津)の事業の支援 ⑤県下各交流団体・グループの事業後援・支援	TEL: 097-553-1870 FAX: 097-553-1870	korian631@gmail.com
NPO法人 日韓芸術文化交流会	理事長 印 成銀	理事長 印 成銀	870-0826 大分市北下郡11-7 野田ビル201号	市民が自発的に参加する民間非営利団体 (Non-Profit organization) である。積極的な文化交流活動を行い、日本と韓国の文化・歴史・芸術・芸能・風俗・スポーツなどを通じて豊かなコミュニケーションを市民レベルで行うことにより、日・韓両国の真の相互理解と信頼を築くことを目的に活動する特定非営利活動法人である。	①映画祭等開催事業 ②日韓学生交流事業 ③JAPU KOREAN WEEK 支援事業 ④市民交流事業(日韓友好のつどいin OITA開催) ⑤土曜映画上映会の事業 ⑥韓国映画評論家協会とのエンターテインメント交流事業 ⑦食文化交流事業 ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業	TEL: 090-4992-6743	inse7178@gmail.com
スリランカ親日協会	会長 クラトウンダ アサント	会長 クラトウンダ アサント	874-0819 大分県別府市石垣東8丁目5-30	スリランカと大分・別府の友好の懸け橋	①県民、在住外国人に広く開放された国際交流の拠点づくり事業 ②在住外国人の生活支援や県民、在住外国人への情報発信事業 ③国内外の国際交流団体との交流・連携と国際人材の育成事業 ④お互いの観光客への行き来しやすくし、互いの観光や文化や歴史について情報発信窓口開設 ⑤留学生向け授業料ローンプロジェクト	TEL: 0977-85-8423 FAX: 0977-85-8879	sriankashinmchikyukai@gmail.com
NPO法人 遊鳳国際文化交流協会	代表者 矢野 麻理	代表者 矢野 麻理	870-0816 大分市田舎町9-80-110	大分・武漢・上海の作品を展示する美術展の開催、子供たちを対象とした人材育成、九州の自然・観光・産業・伝統文化等に関する情報発信など、中国との市民レベルでの芸術文化交流を行い、友好発展に寄与する。更に、芸術文化交流をアジア諸国へ広げていくことで、新しい芸術文化の創造を図るとともに、地域間の国際交流の発展と、友情・平和の促進に寄与することを目的とする。	①中国との芸術文化に関する国際交流事業 ②日本の自然、文化等の情報発信及びそれに関連する事業 ③芸術文化の推進及び人材育成事業 ④芸術文化に関するワークショップ事業	TEL: 097-9481-1057 FAX: 097-544-5841	shenlu6@yahoo.co.jp
在大分県ベトナム人協会	会長 PHAN TRUNG PHUC (フアン チュン フック)	副会長 TRAN TUAN ANH (チャントゥアン アン)	874-0842 別府市千代町11-25	大分県に在住しているベトナム人のサポート及び交流促進を目的としています。	①県民と在住ベトナム人の交流の拠点づくり ②在住ベトナム人の生活支援や県民、在住ベトナム人への情報発信 ③日本語及び日本文化・法律等の勉強会	TEL: 0977-75-8145	oitavietnamesesassociation@gmail.com

【国際交流一般】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
NPO法人 大分県国際交流団体 地球人倶楽部	理事長 河野 祐治	事務局長 北山 雅俊	870-0024 大分市錦町2丁目6番3 2号	大分県内に在住又は、滞在する外国人若しくは日本国籍を有する外国 出身者に対し、地域との結びつきに関する支援や相互交流、日本語指 導等に関する事業を実施することによって、相互の異文化理解を図り、 もって日本と諸外国との友好関係の発展と公益の増進に寄与すること。	①県内の外国人等を対象に、日本語学習の機会を提供する事業 ②県民と県内の外国人等との相互交流を推進する事業 ③県民と県内の外国人等の異文化理解を推進する事業 ④県内で開催される国際的なイベントに協力する事業	TEL: 097-534-5627 FAX: 097-534-6627	miyase@oct-net.ne.jp
NPO法人 ベっぷふ未来塾	代表理事 川浪 佳恵	代表理事 川浪 佳恵	870-0920 別府市北浜1丁目1-1 6	「ほんとうに、いきごころのいいべっぷふ」ノーマライゼーションが図られた 地域社会を築き、別府を知る機会の場を提供し、人と出会う、学び、 気づき、知る、の喜びを多くし、個人がよりよくなる、周囲社会もより 良くなる、を実現したい、実践の継続を図るため、また行政、地方自治 との協働を求め、NPO法人を設立。	地域における生活情報、歴史、文化等を学び知るための事業や、 ユニバーサルデザイン思考の普及を図る事業などを行う。●保健、 医療または福祉の増進●社会教育の推進●まちづくりの推進●職 光復興●地域安全活動●学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ●環境の保全●人権の擁護又は平和の推進●国際協力●男女 共同参加社会の形成の促進●子どもの健全育成●経済活動の活 性化 上記活動を推進するため、別府市街地、商店街内に「多機能拠点 ベっぷふ未来わくわくセンター」(Voiva)を建設し、コミュニケーション センター(キヤリアー・セミナー)、軽印刷、まちなか活性化支 援業務を展開している。(2018年2月～)	TEL: 090-2399-9382	beppuvoiva@gmail.com
大分国際車いすマラソン通訳ボラ ンティア Can-do	後藤 恵子	国際渉外 衛藤 千乃	870-1136 大分市光吉台4-233	車いすマラソンに参加される外国人選手と、日本選手や地元の小・中学生 との交流、パラ・スポーツの普及、気持ちよく変われば、周囲社会もより 良くなる、を実現したい、実践の継続を図るため、また行政、地方自治 との協働を求め、NPO法人を設立。	パラ・スポーツ(特に車いす)に関する知識を機やするため月に1回の 研修会、外国選手が大会に入つて来たら、送迎、ホテル滞在中 の車いすメンテ、食事、閉・開会式、受付、記者会見、メディア取材 の通訳、レース全般にわたる文書の翻訳、挨拶のアナウンス、各 学校、施設訪問の支援、他 県内イベント(ラグビー等)のボランティア 要請。	TEL: 097-568-1888 FAX: 097-568-1888	chino.feb6@gmail.com
外国人 Life Support	代表 松下 清高	事務局 原田 みゆき	871-0112 中津市三光田木925番 地	日本に在留する外国人が抱える様々な問題(身分関係、相続関係、雇 用、近隣関係、民事関係等)の解決を助ける。	1. 毎週土曜日の午後1時より4時まで無料相談を行っております。 2. 研修による相談員のスキルアップ。 3. 国際交流団体等との協力、共同。	FAX: 0979-43-5586	tutenur- miyuki@w8.dion.ne.jp
公益財団法人 AFS日本協会大 分中部支部	支部長 志賀 志保子	経理 小加部 聖子	870-0874 大分市にしが丘3-17 17-11-402	公正で平和な世界の realization に必要な知識・能力・理解力育成のための異 文化体験の場を提供するため。	海外からの高校生の為に 1)ホストスクーラー関係 2)ホストファミリー探し 3)留学生滞在中 のサポート、日本から海外に留学を目指す高校生のために 4)派遣 テストの会場設定、の4点を主軸にしている。	TEL: 097-546-1377 FAX: 097-546-1377	s-shiga@afs.or.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
公益社団法人 ガールスカウト大分県連盟	連盟長 工藤 喜賀	事務局長 石井 奈緒美	870-0938 大分市今津留2丁目12番1-6	少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人を育てる。	「自己開発」「人とのまじわり」「自然ととも」の3つを教育のポイントとし、少女たちの実行力、コミュニケーション能力、責任感を身につける活動をしている。	TEL: 097-556-6808 FAX: 097-556-6849	gsjota@estate.ocn.ne.jp
さくら日本語教室	川野 慶子	川野 慶子	住所非公開	国際交流を推進してゆくため	①在住外国人に日本語教育の支援をする ②会員に日本語教育の方法を教える	TEL: 097-526-1865 090-7163-4969	-
多文化こどもネットワークいろは	立山 愛	立山 愛	874-0839 別府市南立石1区1組5番1-1307	外国にルーツをもつ子どもたちに対する学校内での日本語支援の取り組みを整っていないため、そうした子どもたちの弱体化・課題の解決に向けて、日本語支援に取り組むことを目的として設立	・外国にルーツをもつ子どもたちに対する小・中学校内での日本語指導やレハルチェック ・日本語指導に必要なテキスト、教材、指導方法の紹介 ・小・中学校内での異文化理解ワークショップ ・年4回のネットワーク会(勉強会・研修会)	TEL: 080-2720-5151	mkidsiroha@gmail.com
特定非営利活動法人 おおいVtN PO子デザインセンター	代表理事 山下 壺三	山下 壺三	870-0844 大分市古国府四丁目9番24号 コーポふしの101号室	新しい市民社会の実現に向けて、あらゆる分野や地域で活動するNP O・ボランティア団体等の公益的団体の活動基盤強化や育成することにより、又は自ら活動し、国、地方公共団体、企業、NPO等との連携協働によって、地域社会がかかえる諸問題の解決や私たちの暮らし(文化・経済・環境・教育など)の維持発展に寄与することを目的に設立。	1) NPOの活動及び運営に係る相談・助言、または推進するためのコンサルティング及びコーディネート ★事務局支援活動(NPO法人事業承継支援プロジェクト、など) (2) NPO基盤整備のための情報発信・調査研究、政策提言及び研修等企画実践事業 ★NPO法人会誌発刊準備 / おおいVtNPO情報交換会 / 事務力アップセミナー＆鑑定、など (3) 地域の活性化や課題解決のために地域の経営者資源等を活用して行う事業 ★コミュニケーションハウス創設事業、など	TEL: 097-574-5258 FAX: 097-574-5258	oitanpoesign@gmail.com
特定非営利活動法人 大分県海外教育支援機構	理事長 三宮 康司	-	870-0034 大分市都町1丁目3番19号 大分中央ビル7F	将来、アジアと日本、韓国と九州の経済文化交流の橋渡し役となる次世代の子供達を育成する。	毎年、韓国・濟州島にて現地の高校生を対象とした「日本語スピーチコンテスト」を在濟州日本国総領事館が主催、済州特別自治道韓日親善協会と当機構が共催。本コンテストで特別賞を受賞した学生を「九州体験学習ツアー」に招待。ホームステイ、学校訪問、観光等を企画。	TEL: 097-534-2277 FAX: 097-515-7878	-
特定非営利活動法人 鶴崎文化研究会	理事長 野村 廣幸	事務局長 安東 忠則	870-0106 大分市鶴崎500番地	この会は、会員の友愛をもとに、相互の親睦を深めつつ、毛利空桑記念館の維持、運営と鶴崎小学校区及びその周辺6小学校区を中心とするおおいの歴史的文化、芸術、史跡を発掘、探求し維持する事を目的としている。	1、毛利空桑記念館の維持、運営、管理する活動 2、鶴崎の歴史、文化、芸術、史跡を掘り起こし、維持する活動 3、地域の芸術文化を形成する担い手を育成する活動 4、鶴崎を訪れる人のおもてなしガイド、案内をする活動 5、地域の偉人を顕彰し、伝統文化を後世に残していく活動 6、ボランティア観光ガイドを養成する活動	TEL: 097-527-3343 FAX: 097-527-3343	hiro1938@ooc-net.ne.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
特定非営利活動法人 森と海の共生ネットワーク	会長 誠本 信義	事務局長 谷口 世志子	877-1222 日田市小河内町2951番	地球環境の保全を図り、森や海の自然と共生している人々に対して豊かな自然環境と調和した地域開発に関する事業を行い、豊かな森と豊かな生活を創り守ることに寄与する。	・フルボ酸飲食物の研究及び実証実験 ・サクラのツングス集病に関する調査 ・地域環境の美化活動	TEL: 0973-24-9547 FAX: 0973-24-9547	isamoto@hita-net.jp
日本語ボランティア ひまわり	代表 深田 美春	代表 深田 美春	870-0108 大分市三佐987-2	大分在住の外国人に日本語支援をすることで、日本文化を理解させ、彼らの生活が円滑にいこうサポートし、多文化共生社会に貢献する	〈日本語教室〉 各教室で日本語指導 月4回(土) 10:00~11:30 月4回(水) 14:00~15:30 ・鶴崎教室(鶴崎公民館) ・明野教室(明治明野公民館) ・年少者教室(学校内) ・こども日本語教室(コンパルホール) 毎(土)14:00~15:40	TEL: 097-527-2614 FAX: 097-527-2614	nihongo_himawari_oita@yahoo.co.jp
HAPPY LINK	代表 森川 寿子	森川 寿子	〒879-3105 大分県佐田市	多文化共生、国際交流、協力、異文化理解、地域活性化、地域交流などを目的とし、各種イベントや研修会、勉強会、WSなどを不定期で開催。	①国際協力 ・使用済みトナー・インクカートリッジ、ベルマーク、書き損じはがき、古本、CD等の回収。 NPO法人シャラニール(市民による海外協力の会)への寄付 ②イベント企画 ・交流会、講演会、上映会、音楽会など様々なイベントを不定期で開催 ③勉強会 ・国際理解や地域の課題、社会問題など幅広く学び合う ④その他 ・他団体のサポート等	TEL: 090-4510-7909	ketobuki214@hotmail.co.jp
フレンドシップフォーラス 大分	会長 田部 明二	事務局長 志賀 喜久美	878-0011 竹田市会々1636-23	クラブ相互のホームステイや受け入れ(世界50ヶ国「550クラブ」~原則1週) これらの交換を通じて 国際親善及び民間平和外交の促進を図ることを目的とする。	・世界550クラブとの交流を行う。基本一年受け入れ1クラブ(1週間)、渡航(クラブ以上(1週間以上)~終着は個人持ち。 ・諸外国に組織されているフレンドシップフォーラス(略称FF)のクラブとの交流を目的に旅航し、メンバー宅にホームステイし、交流する。 ・国内のFFメンバーの会員相互の親睦を図る。 ・FFメンバー間の相互理解及び国際親善に役立つ事業を行う。 ・その他、会の目的による事業及び活動をする。	TEL: 0974-62-4783 FAX: 0974-62-4783	tomochan@spice.ocn.ne.jp
べっはち Beppu Rainbow Society	代表 神 智子	代表 神 智子	大分県別府市	多様性を認め合い、多文化交流の輪を広げることが目的として設立。	1月:新春カルタ取り、福笑い大会 2月:節分 3月:ひな祭り 4月:お花見 7月:七夕 9月:運動会 その他:料理教室など	TEL: 070-6595-4466	beppu8rainbow@gmail.com
一般社団法人 外国人留学就労支援協会	代表理事 松見俊信	代表理事 松見俊信	870-0021 大分市府内町丁目6番 27号 府内中央ビル303号	外国人の留学と就労を支援する	①介護福祉留学生の受け入れ紹介活動 ②外国人介護人材受入・定着支援事業 ③受け入れ国との交流並びに受け入れ外国人の支援	TEL: 097-578-6460 FAX: 097-578-6460	ays.matsumi@gmail.com

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長/担当	所在				
よのうづ国際交流の会	会長 渡邊 正太郎	佐伯市あまべ商工会 米水津支所 谷口 里美	876-1401 佐伯市米水津大字浦代浦 1239-2 佐伯市あまべ商工会米水 津支所内	米水津地区住民と外国人との交流を図り、米水津地区の振興に資する活動を行うことを目的とする。	(1) 地域住民と外国人の交流活動 (2) 外国人の日本語能力向上のための講習会 (3) その他目的達成のための事業	TEL: 0972-35-6119 FAX: 0972-35-6110	yonouzu.kokusaike@gmail.com
NPO法人 ネットシステム 外国人支援部 クレンダ	理事長 武石 好春	理事 甲斐 しのぶ	874-0025 大分県別府市大字亀川 1140番地21	在住外国人の日常生活支援を行い生活の安定化を図る	①日常生活支援(ソート・ジャルワーク支援) ②医療通訳(英語のみ) ③ホームステイ/異文化交流 ④観光案内	TEL: 0977-75-6053	maonet@mac-n.or.jp
NPO法人 福祉コミュニケーションKOUZAKI	稲生 亨	宮崎 義光	879-2111 大分市大字本神崎697番 地4	本神崎地区住民(大分市民)に対して、環境保全・美化・住民相互の支え合い、子どもと若い親世代の参加による活動を通じ、楽しく遊べ、安心して暮らすことができ、子どもたちの声が響きわたる地域社会の実現に寄与することを目的とする。	神崎(こうさき)海岸の清掃活動(毎月第4日曜日)ほか各種環境活動、安全安心の地域づくり、交流拠点「みんなの家」運営、認知症カフェ「ハマニュー」、キッズカフェ「コナドリ」、「男が誇る夕暮会」等交流活動事業、技能実習生を対象とした日本語教室、こうさき自然海浜公園運営活動事業。	TEL: 097-576-0053 FAX: 097-576-0053	t-inao@hyper.ocn.ne.jp

2 大分県海外戦略（2022～2024）【抜粋】

第1章 大分県海外戦略（2022～2024）の策定について

1 戦略策定の趣旨等

(1) 戦略策定の趣旨

本県では、長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」（平成17年11月策定、平成24年1月改定）に基づき、本県の海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤として、平成23年5月に「大分県海外戦略」を策定しました。

その後、平成27年10月に「大分県海外戦略（2015～2018）」を、平成31年3月に「大分県海外戦略（2019～2021）」を策定しましたが、この度、戦略の計画期間が最終年度を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症が国内外の経済に及ぼす影響や経済連携協定の形成等によるグローバル化の進展、在留外国人の増加等国内外の環境変化を見定め、県内外の新たな要素についても考慮のうえ、次期戦略「大分県海外戦略（2022～2024）」を策定することとしました。

(2) 戦略の性格・役割

この戦略は、「海外の成長を取り込みつつ共に発展する」という基本的理念のもと、「海外の活力を取り込む」、「海外の人材・技術を取り込む」など5つの基本戦略からなるものであり、戦略の役割としては、次の事項に基づく、県の海外施策の羅針盤となるものです。

- ①県の海外施策を体系的かつ有機的なものとして構築するための方針
- ②毎年度の県の海外施策の大まかな実施基準
- ③海外情勢に詳しい企業経営者や独立行政法人日本貿易振興機構（以下「ジェトロ」という。）等の有識者の意見を十分に取り入れた戦略
- ④変化の激しい海外情勢に柔軟に対応できるよう幅を持った戦略

(3) 計画期間

計画期間は2022年度から2024年度までとします。

2 現状分析（大分県を取り巻く国内外の状況）

(1) 新型コロナウイルス感染症の世界的流行等

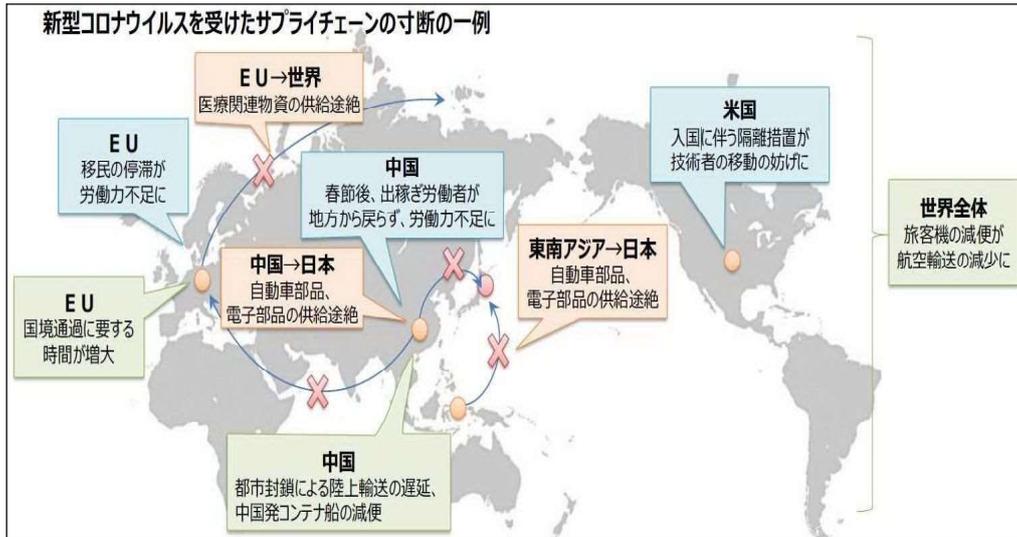
新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、国際的な人の移動制限による経済活動の縮小、サプライチェーンの脆弱性の露見など、世界経済に大きな影響を与えてきました。一方で、デジタル化やデータ活用の進展に伴うデジタルトランスフォーメーション（DX）や電子商取引（EC取引）の拡大、テレワークやオンライン会議・商談の普及など、今後数年かけて起こるとみられていた変化が、コロナ禍の中、急速に起きています。

加えて、2022年2月に起きたロシアによるウクライナ侵略は、政治・経済等多方面に大きな影響を与えており、今後の動向を注視していく必要があります。

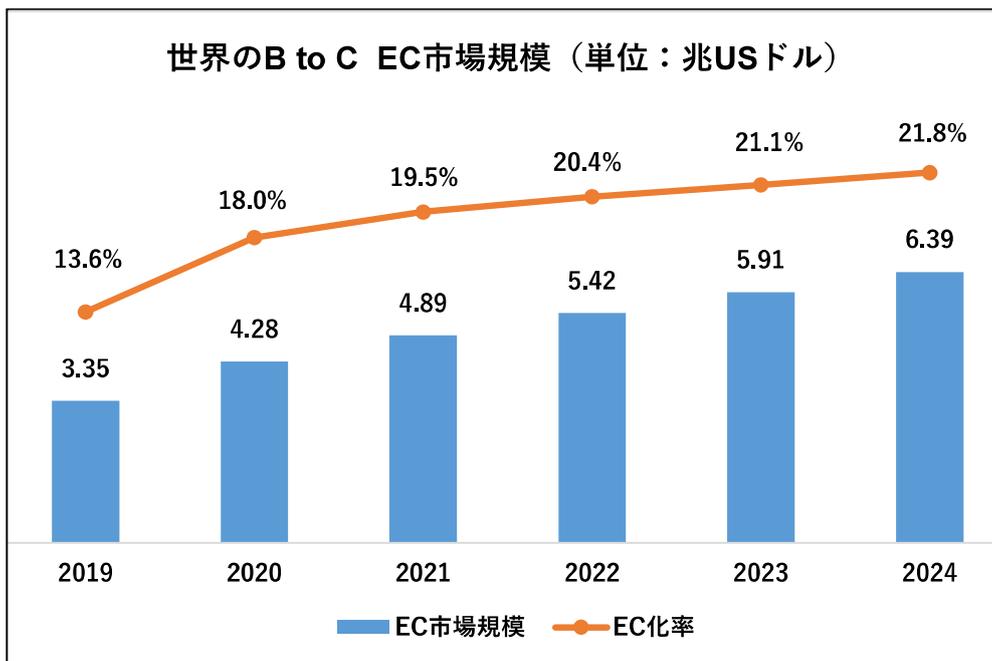
実質GDP成長率の国・地域予測 (%)

	2020	2021	2022	2023
世界	-3.1	5.9	4.4	3.8
先進国	-4.5	5.0	3.9	2.6
アメリカ	-3.4	5.6	4.0	2.6
日本	-4.5	1.6	3.3	1.8
アジア新興国・発展途上国	-0.9	7.2	5.9	5.8
中国	-2.3	8.1	4.8	5.2
インド	-7.3	9.0	9.0	7.1

出典：IMF（国際通貨基金）「World Economic Outlook」



出典：経済産業省通商政策局・貿易経済協力局
「コロナ危機を踏まえた今後の対外経済政策のあり方について」

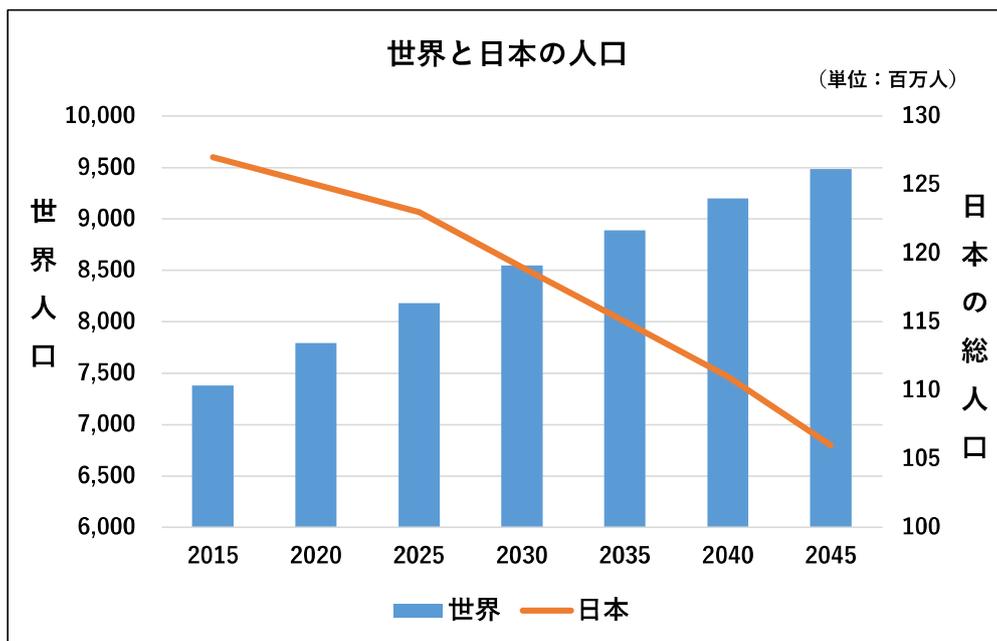


出典：経済産業省 商務情報政策局 情報経済課「電子商取引に関する市場調査」

(2) 国内における人口減少と世界人口の増加

国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が平成29年に公表した推計によると、日本の総人口は減少を続け、2053年(令和35年)には1億人を切り、今世紀末には6千万人を下回るとされています。また、社人研が平成30年に公表した推計において、大分県の人口は2045年(令和27年)には、89万7千人に減少するとされています。人口が減るということは消費が減ることにつながり、今後国内市場は全体として縮小すると見込まれています。

翻って世界に目を向けると、アジアやアフリカを中心に世界人口は今後も増加を続け、2021年に約78億人の世界人口が2050年には97億人、2100年には109億人となると予想され、世界規模では市場が拡大していきます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」
国際連合「World Population Prospect」

(3) 経済・社会のグローバル化

一部の国において保護主義的な動きが見られるものの、世界経済は、TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定、日英EPA、RCEP(地域的な包括的経済連携協定)など、新たな自由貿易の枠組みが形成されてきており、ヒト・モノ・情報・資本等が国境を越えて移動するグローバル化の流れは、今後も拡大すると見込まれます。

一方で、半導体等をはじめとした産業基盤の強化や重要技術の流出防止等、経済安全保障の必要性が高まっており、これらの動向も同時に注視していく必要があります。

加えて、企業活動のグローバル化、多様化に伴い、国際社会は企業に対し、外国人労働者や国内外のサプライチェーンにおける人権尊重の取組を求めており、この点にも留意する必要があります。

主な経済連携協定

協定名	発効日	意義
TPP11 ※日本、カナダ、メキシコ、ペルー、チリ、ベトナム、ブルネイ、マレーシア、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド	2018.12	・日本の実質GDPを1.5%（8兆円）押し上げ、雇用0.7%（46万人）増加
日EU・EPA	2019.2	・日本の実質GDPを1%（5兆円）押し上げ、雇用0.5%（29万人）増加
日米貿易協定	2020.1	・GDP押し上げ約0.8%（4兆円）
日英EPA	2021.1	・EU離脱後の英国との、日EU・EPAに代わる新たな貿易・投資の枠組み
RCEP （地域的な包括的経済連携協定） ※ASEAN10カ国、日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド	2022.1	・世界のGDP、貿易総額及び人口の3割、日本の貿易総額の5割を占める

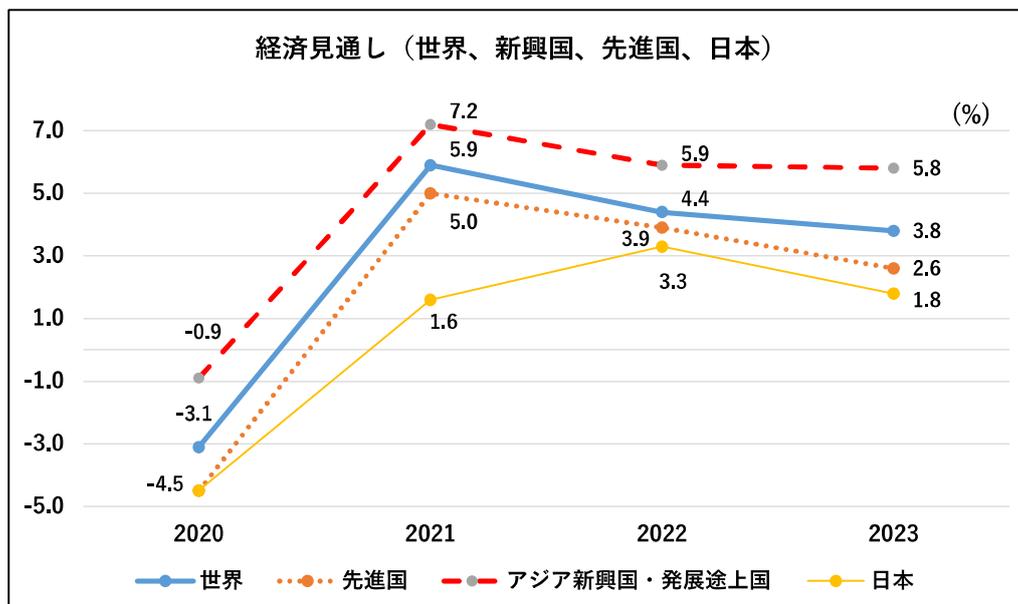
出典：外務省資料を基に作成

※ASEAN（アセアン：東南アジア諸国連合）加盟国
インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス

（４）ASEAN諸国等を中心とした高い経済成長

新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界経済は一時的に停滞したものの、ワクチン接種の普及等により回復に向かうことが期待されています。ポストコロナの時代においても、アジアを中心とした新興国では引き続き高い経済成長が見込まれます。特に東南アジア10カ国から形成され、6億人超の人口を抱えるASEAN諸国における消費市場、生産拠点としての魅力は依然高く、日本企業による投資額では中国を上回る規模で推移しています。

また、ASEAN地域では2015年に経済共同体（AEC）が設立されたことから、域内のヒト・モノ・サービスの自由化のさらなる進展が見込まれます。



出典：IMF「World Economic Outlook」

アジアにおける日本の対外直接投資

(単位:億円)

国・地域名	2017	2018	2019	2020
ASEAN	25,323	35,308	37,334	22,906
中国	13,915	12,354	13,561	12,865
インド	1,825	3,480	4,517	2,027

出典：ジェトロ資料を基に作成

(5) 都市（圏）における所得・人口の顕著な増加

アジアを中心とした新興国においては、とりわけ都市部の人口が多く、1千万人を超える都市も珍しくありません。また一人当たりGDPは国平均より高く、2倍以上の都市も多く見られ、購買力も旺盛です。企業が輸出等の海外展開を行う場合は、国というよりはむしろ、都市（圏）をターゲットに絞り込むなどの効果的な取組が重要です。

主要都市（圏）の一人当たりGDP（推計）

国	都市	人口 (万人)	一人当たりGDP (USドル)	国全体
中国	北京市	1,861	19,935	10,242
	上海市	2,415	19,571	
	天津市	1,208	18,382	
	深セン市	1,259	27,184	
	広州市	1,531	22,317	
	武漢市	1,089	18,340	
	江蘇省	7,866	16,560	
	浙江省	5,443	14,227	
	湖北省	5,724	9,303	
タイ	バンコク	1,703	14,601	6,820
マレーシア	クアラルンプール	838	20,575	12,063
インドネシア	ジャカルタ	3,774	7,812	4,702
フィリピン	マニラ	3,157	7,838	4,366
ベトナム	ハノイ	842	4,145	2,593
	ホーチミン	1,295	5,101	
日本	-	12,622	40,048	-

出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング、ジェトロ資料等を基に作成

タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムについては2020年推定値

(6) 技術革新の進展

19世紀初頭にかけて起きた第一次産業革命においては、蒸気機関の発明により、軽工業の機械化が実現しました。その後、19世紀後半の第二次産業革命では、電力や内燃機関の発明により大量生産が可能となり、20世紀後半の第三次産業革命では、コンピューターの登場でデジタルの世界が到来し、IT・コンピューター・産業用ロボット等による生産の自動化・効率化が進展しました。そして、21世紀の第四次産業革命においては、デジタル技術の進展、IoTやAI、ビッグデータ、ロボットの活用、宇宙開発の進展といったことが急速に進み、新たな経済発展や社会構造の変化を誘発するとみられています。また、カーボンニュートラル（脱炭素）に向けた要請が世界的に高まる中、再生可能エネルギー等の導入も進んでいます。

企業においてはこの変化の波を捉え、自社の事業領域の明確化、強み・弱みの把握、外部環境分析、資源の適正配分等を行いつつ、イノベーションの視点を忘れることなく、経営戦略を明確にした上で、海外展開に目を向ける重要性が高まっています。

第一次産業革命 (18~19世紀初頭)	第二次産業革命 (19世紀後半)	第三次産業革命 (20世紀後半)	第四次産業革命 (21世紀)
蒸気機関、紡績機の機械化など軽工業中心の発展	石油、電力、重工業の発展、大量生産、大量輸送	インターネットの出現、ICTの急速な普及、自動化促進	デジタル技術の進展(IoT、AI、DX、ビッグデータ等)

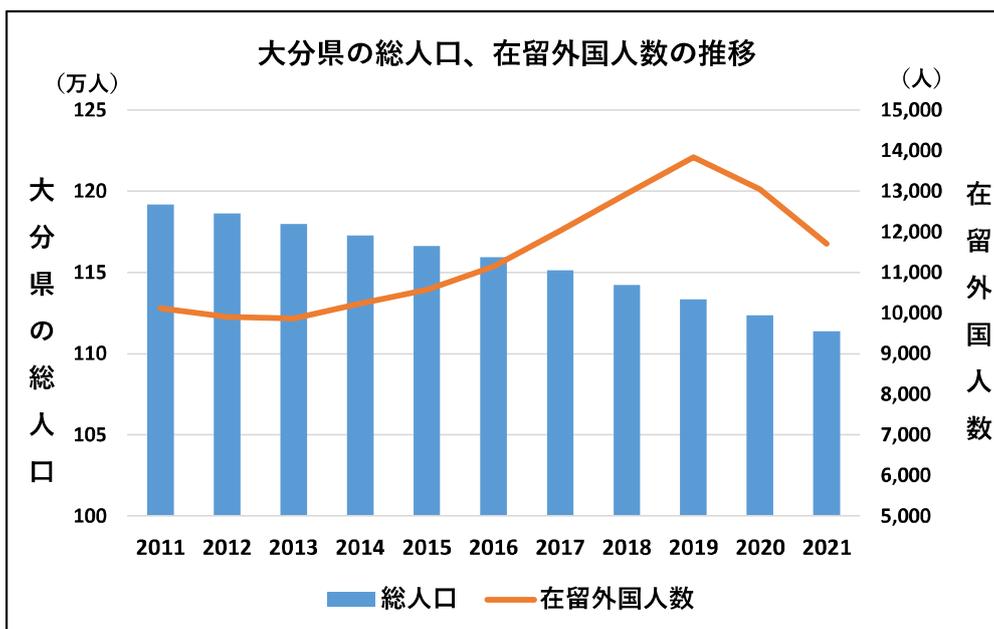
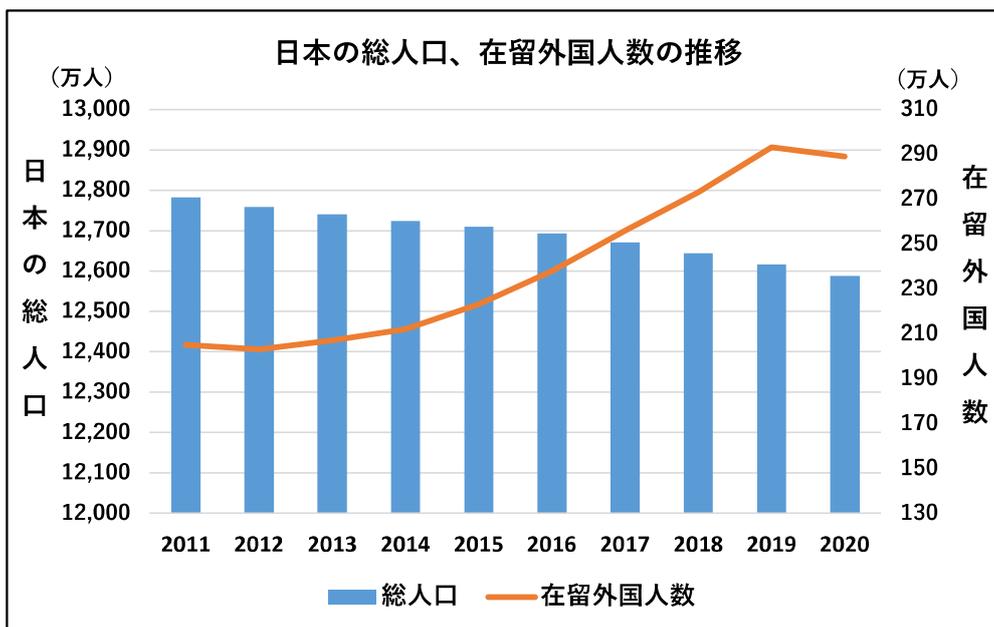
出典：内閣府「情報通信白書」等を基に作成

(7) 国内における在留外国人の増加

国内人口は減少を続けていますが、一方で国内に在留する外国人は増加しています。2020年12月現在の在留外国人数は約289万人となっており、総人口の2.3%を占め、10年前と比べ約80万人増加しています。このうち、外国人労働者は約172万人にのぼり、人口減少社会において重要な役割を担っています。

このような中、総務省は、在留資格「特定技能」の創設、多様性・包摂性のある社会実現の動き、デジタル化の進展など多様な情勢の変化を踏まえ、令和2年10月に多文化共生プランの改訂を行いました。

大分県においては、在留外国人は2021年12月末現在11,697人で人口の約1%を占め、新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限のため一時的に減少はみられるものの、10年前と比べ約1,500人の増加となっています。国際通貨基金(IMF)の調査によると、自国のGDPが7千ドルを超えると、日本等先進国へ行き働く魅力が薄れるとされています。加えて、我が国の近隣諸国の経済発展は著しく、今後、人材の送出し国が受入れ国に転じることが見込まれ、日本を選ぶ外国人が減少する可能性もあります。このような中、外国人材に選ばれる大分県になるためにも、多文化共生の地域づくりの重要性が高まっています。



出典：総務省人口統計、在留外国人統計、大分県人口統計等を基に作成

(8) 持続可能な社会 (SDGs) への関心の高まり

2015年(平成27年)9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなすSDGs(持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals)は、持続可能な世界を実現するための17ゴールと169のターゲットで構成される国際目標であり、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題を不可分なものとして統合的に解決することを目指しています。

日本においても、「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」に基づき、誰一人取り残さない、多様で包摂性のある社会の実現に向け、取組が進められています。



3 策定の主なポイント

今回の海外戦略において新規及び拡充する取組は以下のとおりです。

- ① **県産品の輸出強化**
 - ・春節期の贈答需要など海外ニーズに対応した農林水産物の輸出産地づくりを行います。
 - ・食品企業等の海外展開の段階やニーズに応じた支援や新市場の開拓支援を行います。
- ② **海外誘客（インバウンド）の推進**
 - ・コロナ拡大以降の変化に対応した誘客の促進とデジタルマーケティングの推進を行います。
 - ・東アジア文化都市 2022 を契機とした誘客促進を図ります。
 - ・国内唯一のホーバークラフトによる海上アクセス導入を追い風にした国際線の誘致促進を行います。
- ③ **府間連携等を基軸とした新たな海外展開支援**
 - ・民間事業者等のニーズを踏まえ、海外政府機関等とのMOU（Memorandum of Understanding：覚書のこと。以下同じ。）等を通じ、海外事業展開をバックアップします。
- ④ **留学生等に対する支援と県内定着促進**
 - ・おおいた留学生ビジネスセンターを拠点とした就職・起業促進を行います。（就職先の企業開拓強化とインターンシップの更なる促進）
- ⑤ **技術等の交流**
 - ・宇宙港の実現に向けた、米国企業等と連携した取組を推進します。
- ⑥ **外国人材の適正・円滑な受入れの促進**
 - ・外国人材の受入れを希望する企業を対象にセミナーを実施するなど、外国人労働者の受入環境を整備します。
- ⑦ **多文化共生の推進**
 - ・市町村や企業への日本語教室設置支援、コーディネーター設置等による日本語教育環境の整備を行います。
 - ・外国人総合相談センターを核とした相談体制の充実を図ります。
 - ・災害用電話相談窓口を設置（多言語通訳サービス）するとともに、災害時外国人支援セミナーを実施します。
 - ・国際交流団体のネットワーク化を行い、事例やノウハウを共有することによる支援体制の強化を図ります。
- ⑧ **芸術文化交流の促進**
 - ・東アジア文化都市 2022 の実施を通じて、県内各地の様々な芸術文化の更なる発展、芸術文化の力を観光や産業にも活かす創造的な地域づくり、日中韓の国際交流を通じた芸術文化の共有による相互理解の深化を図ります。
- ⑨ **スポーツ交流の促進**
 - ・国際的なサイクルロードレース「ツール・ド・九州」の実施に向け、おんせん県おおいたの魅力を国内外に発信するとともに、県内各地で開催されているサイクルイベントと連携し、自転車による地域活性化を図ります。
- ⑩ **グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成**
 - ・海外大学、国際系大学等と連携したオンライン講座を開設します。
 - ・国内外の教育機関等との国際交流を行います。
 - ・県立高校のオンライン・スピーキング・レッスンを実施します。
- ⑪ **県内企業の国際人材の育成・活用**
 - ・海外企業との連携による次世代経営人材の育成を行います。

4 目指すべき将来像

「海外の成長を取り込みつつ共に発展する」大分県として、以下のような将来像を目指します。

- ◎グローバルなものづくり産業の拠点となり、県産品の輸出やインバウンドの増加を通じ、県内産業の発展や地方創生につながる好循環を生み出す大分県
- ◎留学生や技能実習生等から働く場所として選ばれるとともに、海外企業との人材・技術の交流を通じて発展する大分県
- ◎日本人と外国人が互いの文化的違いを認め合い、お互いを尊重し、対等な関係を築きながら共生する大分県
- ◎国際交流や国際的な芸術文化イベント、スポーツイベントが活発に行われる大分県
- ◎青少年が異文化を直接体験し、国際感覚を養うことができ、また海外展開を図る中小企業の人材が育ち、グローバル人材が活躍する大分県

5 海外戦略の柱と体系

(1) 海外戦略の柱

戦略の策定にあたっては、「海外の成長を取り込みつつ共に発展する」という基本的理念と、海外の活力や人材を取り込むとともに、多文化共生を推進するなどの5つの柱に基づいて「海外に開かれた、飛躍する大分県」を実現していきます。

- | | |
|------|---------------|
| 戦略 1 | 海外の活力を取り込む |
| 戦略 2 | 海外の人材・技術を取り込む |
| 戦略 3 | 多文化共生の推進 |
| 戦略 4 | 国際交流・国際貢献の推進 |
| 戦略 5 | 国際人材の育成・活用 |

(2) 海外戦略の体系

戦略 1 海外の活力を取り込む

- (1) グローバルなものづくり産業の拠点づくりと海外展開支援
- (2) サービス産業の海外展開支援
- (3) 県産品の輸出強化
 - ① 農産物
 - ② 畜産物
 - ③ 林産物
 - ④ 水産物
 - ⑤ 酒類・加工品
 - ⑥ 工芸品
- (4) 海外誘客（インバウンド）の推進
 - ① 誘客・情報発信の充実
 - ② 国・地域別の戦略
 - ③ 団体誘客の促進
 - ④ 外国人観光客に対するおもてなしの向上
 - ⑤ 国際線の誘致
 - ⑥ 羽田・成田空港を活用した国際線との接続性向上
- (5) 企業の海外展開支援とリスク対応
 - ① 関係機関等と連携した事業展開支援
 - ② 情報支援・リスク対応と金融支援
- (6) 政府間連携等を基軸とした新たな海外展開支援
- (7) 海外広報の強化
- (8) 国際物流の強化
 - ① 港湾施設の整備・利活用の促進
 - ② 道路整備

戦略2 海外の人材・技術を取り込む

- (1) 留学生等に対する支援と県内定着促進
 - ① 留学生に対する支援と地域活動の促進
 - ② 留学生等の県内定着促進
- (2) 技術等の交流
- (3) 外国人材の適正・円滑な受入れの促進
- (4) 海外ネットワークづくり

戦略3 多文化共生の推進

- (1) コミュニケーション支援
- (2) 生活支援
 - ① 外国人児童生徒の教育環境の充実
 - ② 災害時の支援体制の整備
 - ③ 医療対応の円滑化
- (3) 地域社会への意識啓発

戦略4 国際交流・国際貢献の推進

- (1) 国際交流・国際貢献の推進
- (2) 芸術文化交流の促進
 - ① 県立美術館と県立総合文化センター
 - ② 地域に根ざし世界に発信する芸術文化イベント
- (3) スポーツ交流の促進
 - ① 大分国際車いすマラソン
 - ② 別府大分毎日マラソン大会
 - ③ ツール・ド・九州
- (4) 国東半島宇佐地域の世界農業遺産を通じた国際交流
- (5) その他国際機関等との連携

戦略5 国際人材の育成・活用

- (1) グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成
- (2) 大学における国際人材の育成
 - ① 県立看護科学大学
 - ② 県立芸術文化短期大学
- (3) 県内企業の国際人材の育成・活用
- (4) 職員の人材育成・活用

大分県の国際交流・協力の現状

令和5年度版

編集・発行 大分県企画振興部国際政策課

〒870-8501 大分市大手町3丁目1-1

Tel: 097-506-2046 Fax: 097-506-1723

e-mail: a10140@pref.oita.lg.jp